

工事特記仕様書		章 項目 特記事項		章 項目 特記事項		章 項目 特記事項		章 項目 特記事項			
<p>工事場所 上北郡下田町中下田125-2地内。</p> <p>地域指定 用途地域 住居地域</p> <p>敷地面積 防火 その他 8,143.825㎡</p> <p>延床面積 3,142.460㎡</p> <p>建ぺい率 % 法定建ぺい率 %</p> <p>容積率 % 法定容積率 %</p>		<p>1章 一般共通事項</p> <p>①凡 例</p> <p>(1) 項目欄は番号に○印のついたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項欄は○印のついたものを適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の()内表示番号は建築工事共通仕様書の当該項目または当該表を示す。</p> <p>②特記仕様書に記載外のとり扱い</p> <p>③設計図書の内容に相違があった場合</p> <p>④現場事務所に着用すべき図書</p> <p>⑤監理者用備品</p> <p>⑥下請業者の承認</p> <p>⑦設備工事との取合い</p> <p>⑧施工図作成及び施工図作成員の現場常駐</p> <p>⑨手 続 き</p> <p>⑩保 証</p> <p>⑪竣 工 検 査</p> <p>⑫工事記録写真</p>		<p>2章 一般共通事項</p> <p>15.発生材の処理</p> <p>①監理者事務所</p> <p>②工 事 用 水</p> <p>③工 事 用 電 力</p> <p>④仮 設 計 画 書</p> <p>①根 切 り</p> <p>②埋めもどし及び盛土</p> <p>③残 土 処 分</p> <p>④敷 地</p> <p>⑤山 止 め</p> <p>1.地耐力試験</p> <p>②試験ぐい</p> <p>③ぐい地業</p> <p>④ぐい願処理</p> <p>5.割り石地業</p>		<p>3章 一般共通事項</p> <p>⑥砂利地業</p> <p>⑦捨てコンクリート地業</p> <p>①鉄筋の種類</p> <p>②溶接金鋼</p> <p>③鉄筋の継手</p> <p>④フープの溶接</p> <p>①1階柱のコンクリート打設について</p> <p>②レデミキストコンクリートの種類</p> <p>③セメントの種類</p> <p>④混和材料</p> <p>⑤普通コンクリートの割合</p> <p>⑥細骨材の塩分</p> <p>⑦軽量コンクリートの割合</p> <p>8.中コンクリート</p> <p>⑨無筋コンクリート</p> <p>10.工事現場練りコンクリート</p> <p>⑪床コンクリートにて仕上げ</p>		<p>4章 一般共通事項</p> <p>12.水雷コンクリート</p> <p>⑬漏水試験</p> <p>⑭打放し仕上げの種類</p> <p>⑮プレストレストコンクリート</p> <p>⑯断熱スリット</p> <p>①鋼材の種類</p> <p>②高カボルト</p> <p>③溶接部の検査</p> <p>④アンカーボルトの保持及び埋込み工法</p> <p>⑤柱底ならしモルタル</p> <p>⑥鉄骨の素地ごしらえと防錆</p> <p>⑦鉄骨加工工場</p>		<p>5章 一般共通事項</p> <p>①空胴コンクリートブロック</p> <p>2.押出成形セメント板</p> <p>3.ALCパネル</p> <p>4.プレキャストコンクリート</p> <p>5.木片セメント板</p> <p>①アスファルト防水</p> <p>②立上りのコンクリート</p> <p>3.伸縮目地</p> <p>4.合成高分子ルーフィング防水</p> <p>⑤塗膜防水</p> <p>⑥モルタル防水</p> <p>⑦水張り試験</p> <p>⑧シーリング用材ガラス蓄材</p>	

建築工事写真作成要領

建築工事写真撮影対象及撮影枚数の標準

1. 目的 この要領は、工事に適用し設計図書に準拠して工事写真の撮影及び保管が円滑に取り扱われることを目的とする。
2. 写真の分類 工事写真は工事着工前および工事期間中の写真という。
3. 工事写真撮影要領
- (1) 写真撮影者
請負者は写真撮影者を定め監督員に届け出て撮影及び記録を行なう。
- (2) 撮影箇所
工事写真は主として工事の不可視部分及び施工の状況を撮影するものとし別表を標準とする。なお写真は施工が適切であることを証明できるものでなければならない。設計変更部分及び請負者に代行させる認定部分の撮影については監督員の指示による。
- (3) 撮影方法
a 写真には工事名及び撮影対象の位置、寸法等を記入した小黒板を入れる。(略図で示しても良い)
b 撮影対象には、必要に応じ基準線及び主要寸法が読み取れる目盛りを入れる。又材質の確認としてラベル、JISマーク等を貼って撮影する。
4. 写真の大きさ
工事写真は原則としてモノクロームの手札版(原画は24mm×36mm)とする。
5. 編集
アルバムはハッチ規定様式を使用し表紙には工事名称、工期、施工業者名等を記入する。又写真の下には必要な説明を付ける。
4. 提出時期
請負者は工事写真用アルバムを1部監督員事務所に常備し撮影の都度整理する。又工事完了後はすみやかに工事写真用アルバムと原画を提出する。
7. 提出部数
施主及び設計事務所へ建築、電気、機械、その他を各1部ずつ提出する。

項目	撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数
1 着工前	着工前の敷地	・敷地の状況を示す。 ・建築物等の状況を示す。	見通しのきく場合 5枚 見通しのきかない場合 10枚
2 仮設工事	仮設道路	・仮設道路の敷砂、砕石厚さの状況(当初施工時) ・仮設道路の補修の状況(各施工月日を黒板にて記入)	100~150m毎に 1枚 100~150m毎に 1枚
	品質管理等	・舗装のコア一抜き取り等は資料にNOを附して整備を1枚の写真に撮影する。	必要枚数 1枚
3 土工	山留工法	・矢板、土羽打ち等を示す。又概要の判定のできるもの	工種 } 毎に 1枚 個所 }
	根切りの出来形	・根切り深さ及び巾を示す。 (設計の深さ及び巾(設計変更の対象となる部分は別に撮影する))	広い場合は4方向 細長い場合は1方向 1枚
4 地業工事	排水設備	・排水溝、集水坑、ポンプ等	工種ごとに 1枚
	くい打工法 くい継手の工法 ヤットコ	・くい打機械を入れて撮影する。 ・主として溶接の状況を示す。 ・ヤットコを使ったくい打込の状況を示す。 ・根切底又は地表面との関連を示す。	工種ごとに 1枚 棟ごとに 1枚 棟ごとに 1枚
5 鉄筋工事	くい頭の処理	・割棄、玉石張りとの関連及びくい間隔を示す。	棟ごとに 1枚
	その他の地業の工法	・各地業の張り立て及び突き固めの状況を示す。 (設計変更の対象となる部分は別に撮影する)	棟及工種毎に1枚
6 コンクリート工事	鉄筋の組み立て	・鉄筋組み立ての状況及びスベークサーを示す	コンクリート打設ごとに 基礎 1枚 柱 1枚 梁 1枚 柱梁定着部分 1枚 床版 1枚 壁 1枚 開口部補強 1枚 庇 1枚 階段 1枚
	型枠の組み立て 基礎の出来形 土間コンクリートの出来形 コンクリートの養生	・内法寸法及断熱材の張付け状況を示す。 ・主要寸法及GLからの深さを示す。 ・厚さを示す。 ・保温の状況を示す。 (寒中コンクリート施工の場合に限る)	コンクリート打設ごとに 床版 1枚 壁 1枚 コンクリート打設ごとに 2枚 " 1枚 " 1枚

項目	撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数
7 鉄骨工事	アンカーボルト埋込み	・アンカープレート、ねじ山保護の状況を示す。 ・ならし仕上げの種類を示す。	棟又は基礎20ヶ所ごとに 1枚 " 1枚
	柱底ならし仕上げ		
	鉄骨建て方	・建て方の機械を入れて撮影する。	階ごとに 1枚
	高力ボルト検査 現場溶接工法	・締め付け検査の状況を示す。 ・溶接機を入れて撮影する。 ・鉄骨及鉄筋の組み立ての状況を示す。 S R C造の場合 S造の場合	階ごとに 1枚 棟ごとに 1枚 棟ごとに 2枚 棟ごとに 2枚
8 ブロック及ALCパネル工事	コンクリートブロック積み工法 壁まぐさ	・鉄筋の位置及モルタルてん充の状況を示す。 ・主要部分を示す。型枠、鉄筋の組立て及スベークサーを示す。 ・取り付け状況を示す。	階ごとに 1枚 階ごとに 1枚 工種ごとに 1枚
	プレキャストコンクリートALCパネル	・取り付け状況を示す。 ・開口部補強金物を示す。	工種ごとに 1枚 階及タイプごとに 1枚
9 防水工事	防水層の下地	・下地の平坦度及びすみ角部の丸面を示す。	屋内外防水箇所毎に1枚 屋外防水面積500㎡ごとに 1枚
	防水材料の継手	・継手及重ね長さを材料ごとに示す。 ・増し張り及コーキングの状況を示す。 ・塗布の状況を示す。	屋内外防水箇所かつ材種ごとに 1枚 屋外500㎡かつ材質ごとに 1枚 棟ごとに 1枚
10 石工事	取付け金物 モルタルてん充	・鉄筋、緊結線及び引き金物を示す。 ・目地の養生及びつぎとりの状況を示す。	箇所ごとに 2枚 箇所ごとに 2枚
11 タイル工事	接着剤試験	・試験の状況を示す。	棟ごとに 2枚
12 木工事	床組 窓、出入口、その他	・継手、仕口及組立ての状況を示す。 ・わく、その他の取付け状況を示す。	棟ごとに 2枚 階ごとに 2枚
13 屋根及とい工事	ふきかた	・つり子の状況を示す。	棟ごとに 1枚
14 金属工事	壁、下地	・下地組の状況を示す。	床面積500㎡ごとに 1枚 棟ごとに 2枚
	天井、下地	・出入口補強。 ・下地組の状況を示す。 ・開口部補強	面積500㎡ごとに 1枚 開口面積ごとに 1枚
15 左官工事	亀裂防止の処置 吹付仕上 塗床	・平ラシ張りの状況を示す。 ・下地処理等 ・塗厚及工程	箇所ごとに 1枚 工種ごとに 1枚 工種ごとに 1枚

項目	撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数
16 建具工事	木製建具	・フラッシュドアの骨組を示す。	1枚
	取付工法 枠まわり、モルタルてん充	・取付の状況を示す。 ・モルタルてん充の状況を示す。	材種ごとに 2枚 材種ごとに 2枚
17 塗装工事			
18 内装工事	材種	・施工中	材種ごとに 1枚
	路床の転圧 路盤の転圧 路盤の厚さ 表層の施工	・基準面からの深さ、転圧の状況等を示す。 ・転圧、機械、転圧の状況等を示す。 ・路盤の厚さ及基準面との関係を示す。 ・施工の状況を示す。	舗装面積500㎡ごとに 1枚 舗装面積500㎡ごとに 1枚 舗装面積500㎡ごとに 1枚 舗装面積500㎡ごとに 1枚
19 舗装工事			
20 排水工事	排水管の出来形	・排水管の径、埋込み深さ及継手の状況及基礎工が判明できるもの。	延長50mごとに 1枚
21 植栽工事	客土	・客土の厚さを示す。	面積300㎡ごとに 1枚
	樹木又は芝付等		面積300㎡ごとに 1枚
22 雑工事	種目別	・施工中	材種ごとに 1枚
その他	断熱工事	断熱材の補修 ・窓及電気ボックスまわりの補修状況を示す。	箇所ごとに 1枚
	試験・調査	地耐力試験 くい載荷試験	・試験の状況を示す。 ・試験の状況を示す。

備考

整理番号

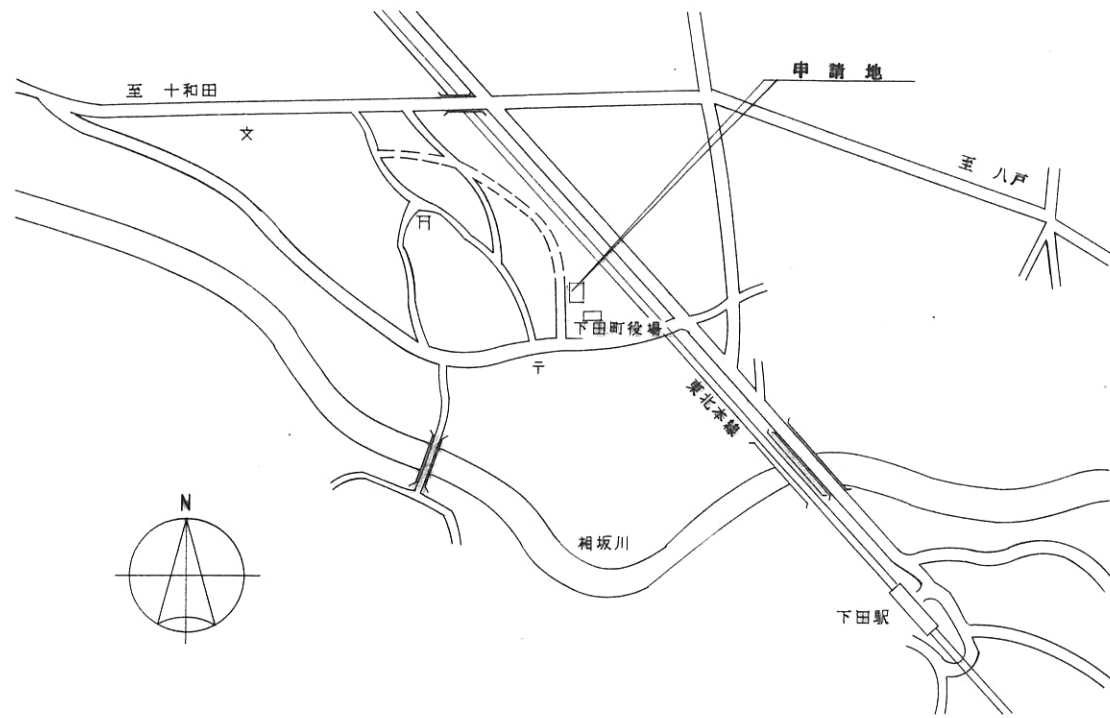
設計年月日
89.3.

全葉
53

No.
4

工事名 下田町民交流センター(仮称) 工事

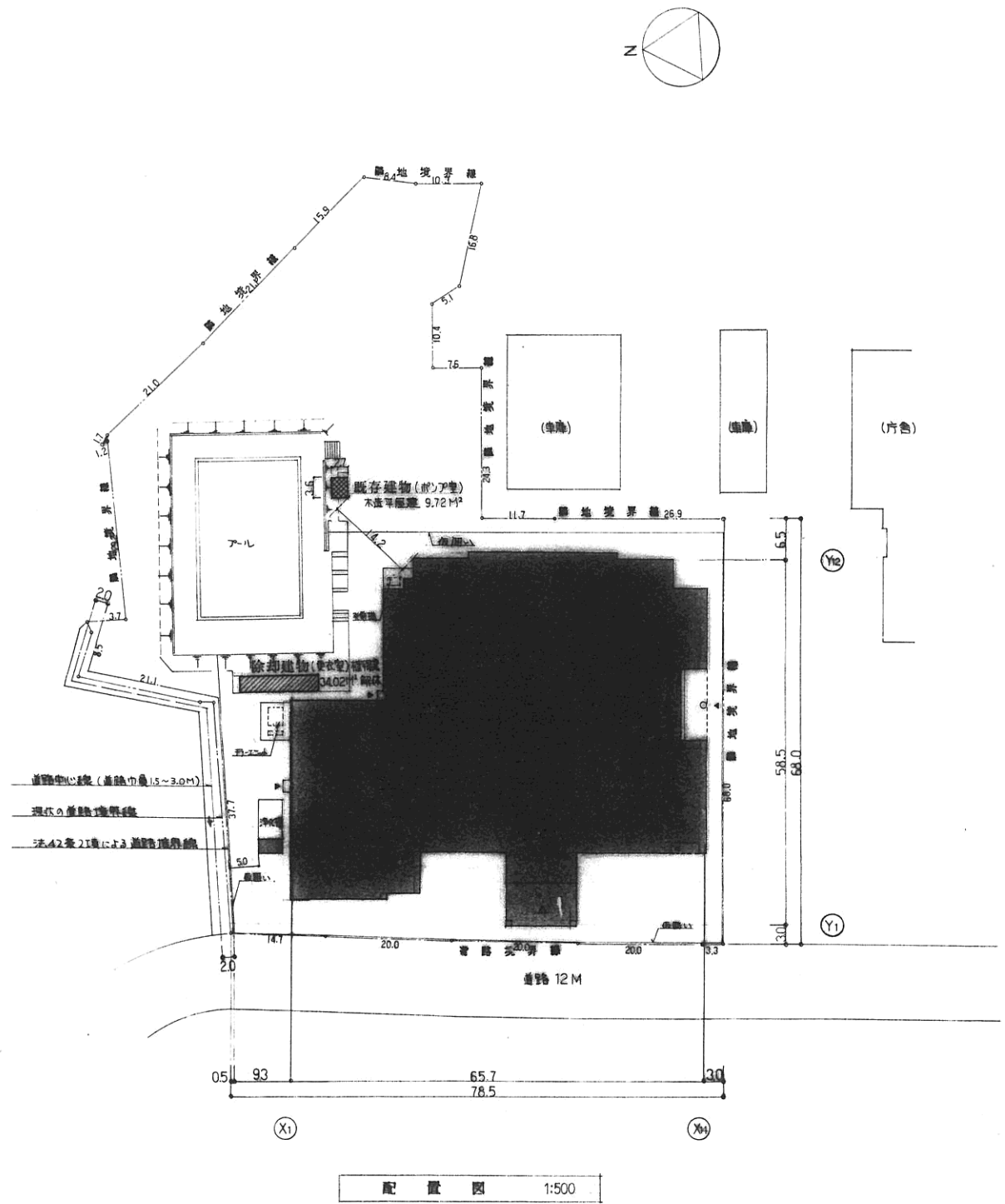
図面名称 建築工事写真作成要領 Scale 1/1



案内図 1:10000

建築設計概要

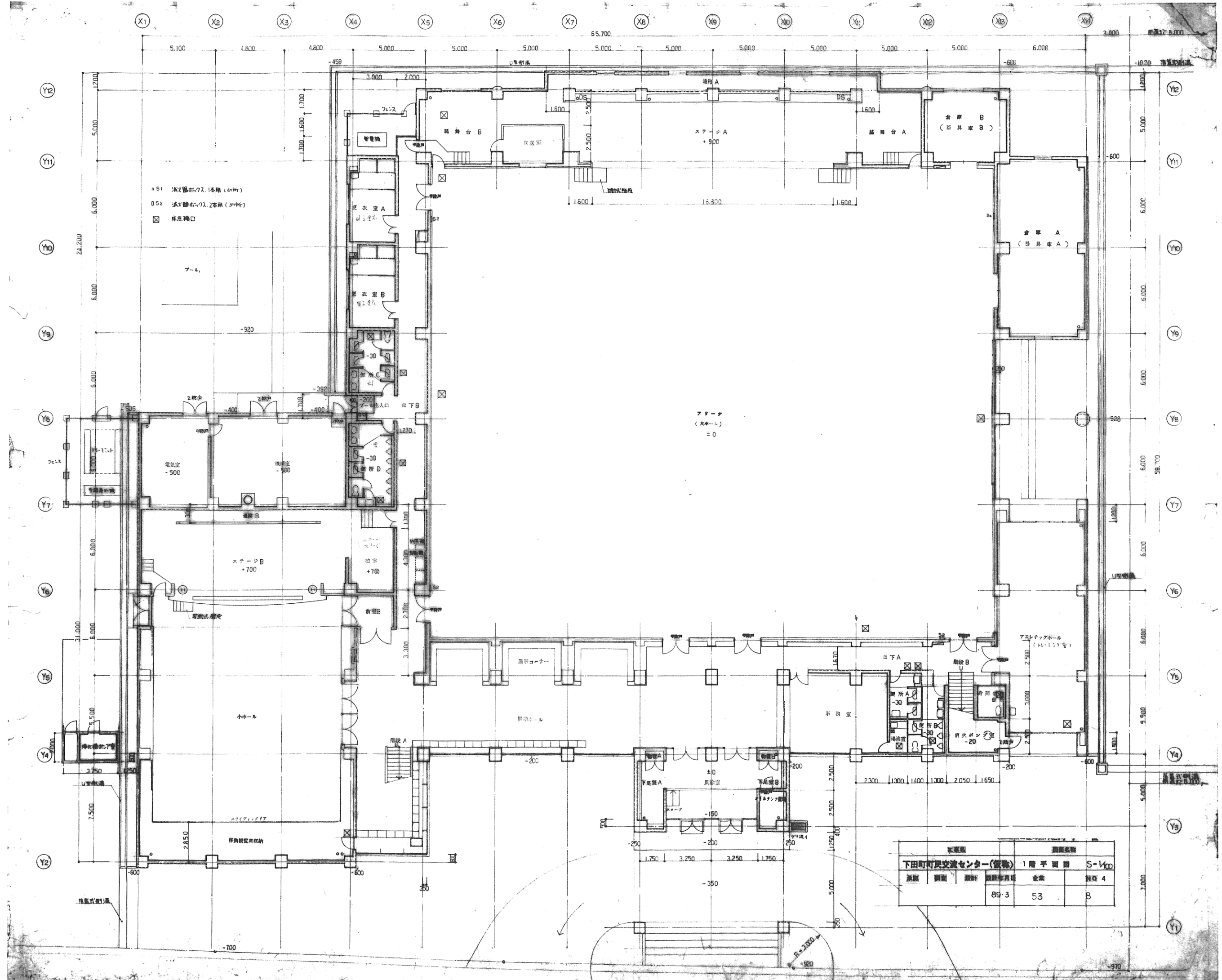
地名地番	高森町上北郡下田町字中下田 125-2		
地権指定	住居地域		
防火地域	指定なし		
敷地面積	8086.655	M ²	
建ぺい率	36.39	%	
容積率	38.95	%	
建築面積	2943.166	M ²	
床面積	(交流センター) (計画中心) (合計)		
1 階	2818.298	7.5	2825.798
2 階	324.162		324.162
延床面積	3142.460	7.5	3149.960 M ²



配置図 1:500

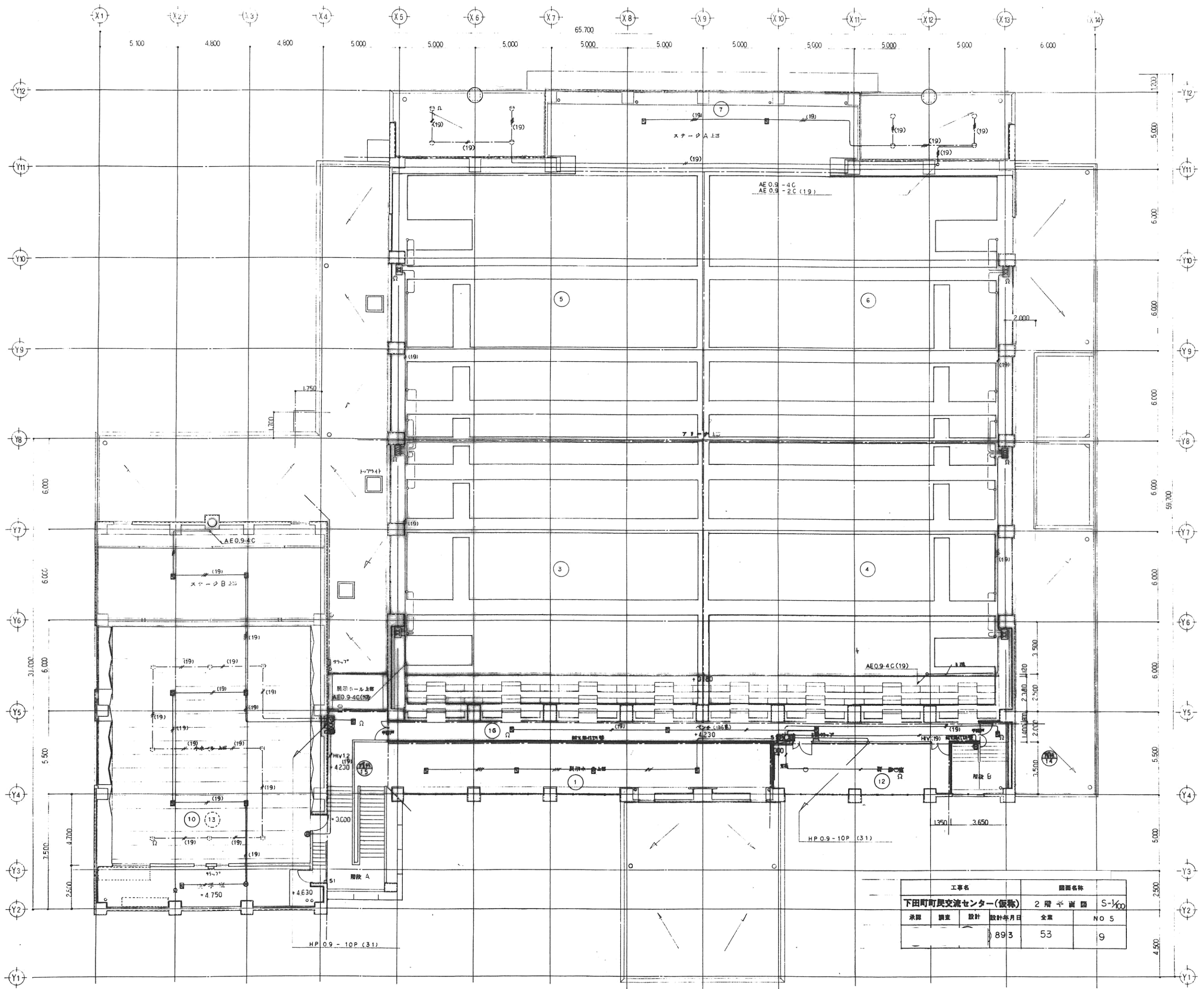
備考

整理番号

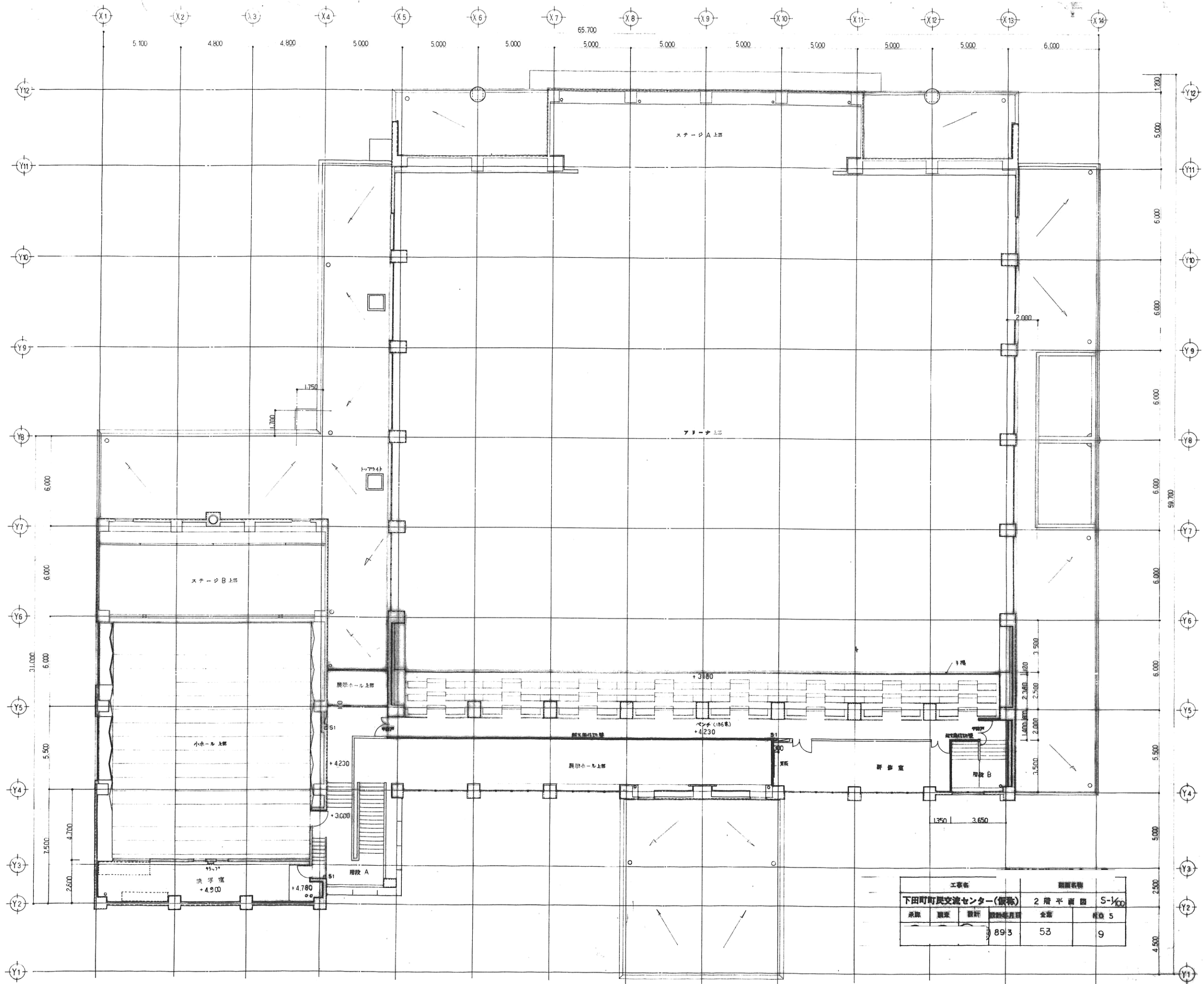


- S1 消火器-72.1本組 (4+1)
- S2 消火器-72.2本組 (3+1)
- ☒ 床点検口

概要欄		計画名	
名称	下田町町民交流センター(仮称)	1階平面図	S-V100
図番	89-3	全案	図4
設計	53		8



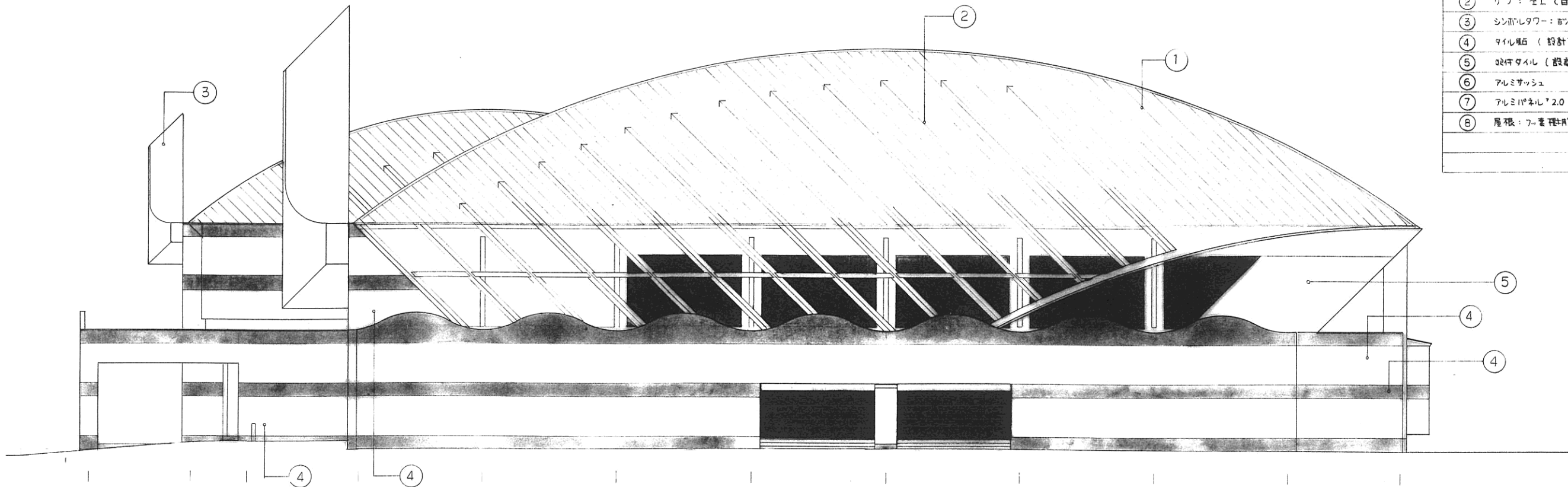
工事名			図面名称		
下田町町民交流センター(仮称)			2 階 平 面 図 S-1/100		
承認	調査	設計	設計年月日	全業	NO 5
			89.3	53	9



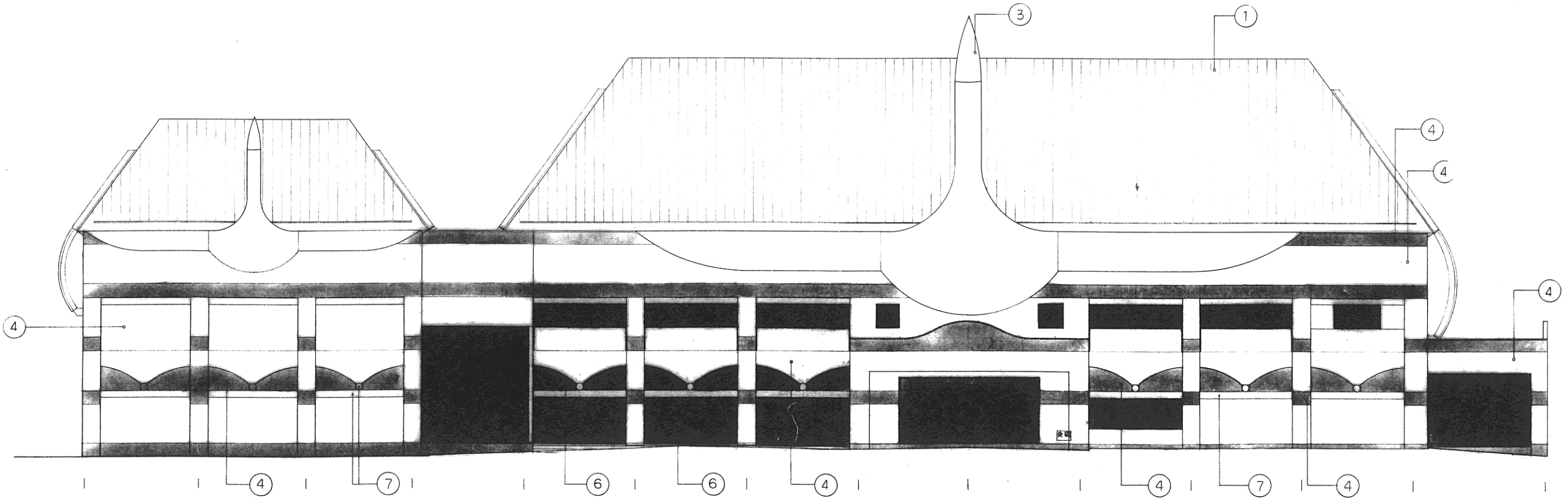
工事名				階層名称		
下田町町民交流センター(仮称)				2階平面図		
承認	職業	設計	設計年月日	全室	枚数 5	
			89.3	53	9	

1/25

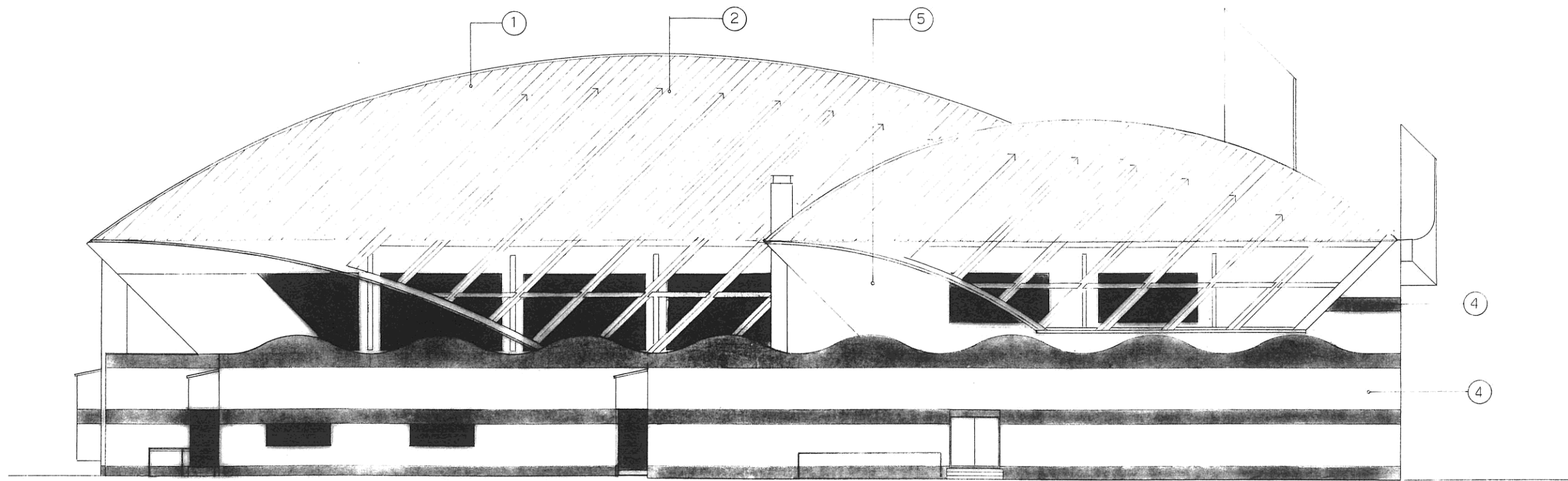
- ① 屋根：フッ素樹脂鋼板²0.4 及降蓋（白）
- ② リーフ：全上（白）
- ③ シンボルタワー：ステンレス鋼板²16フッ素樹脂（白）
- ④ タイル貼（設計変更）
- ⑤ 0.24タイル（設計変更）
- ⑥ アルミサッシュ
- ⑦ アルミパネル²2.0
- ⑧ 屋根：フッ素樹脂鋼板²0.4 立平蓋（白）



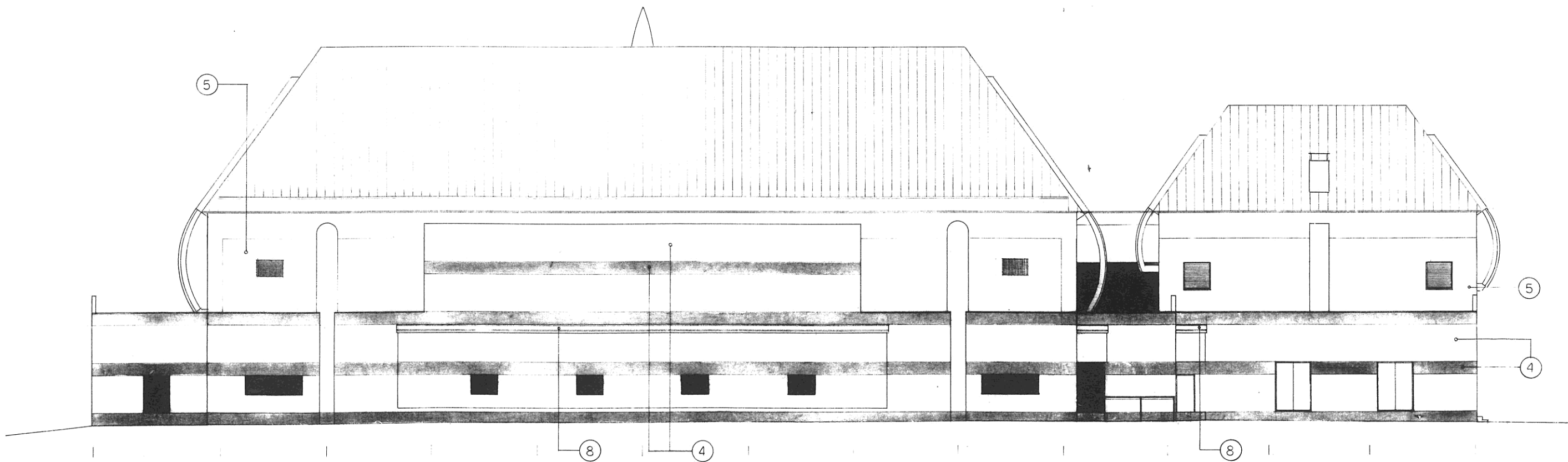
南立面図



西立面図



北立面圖



東立面圖

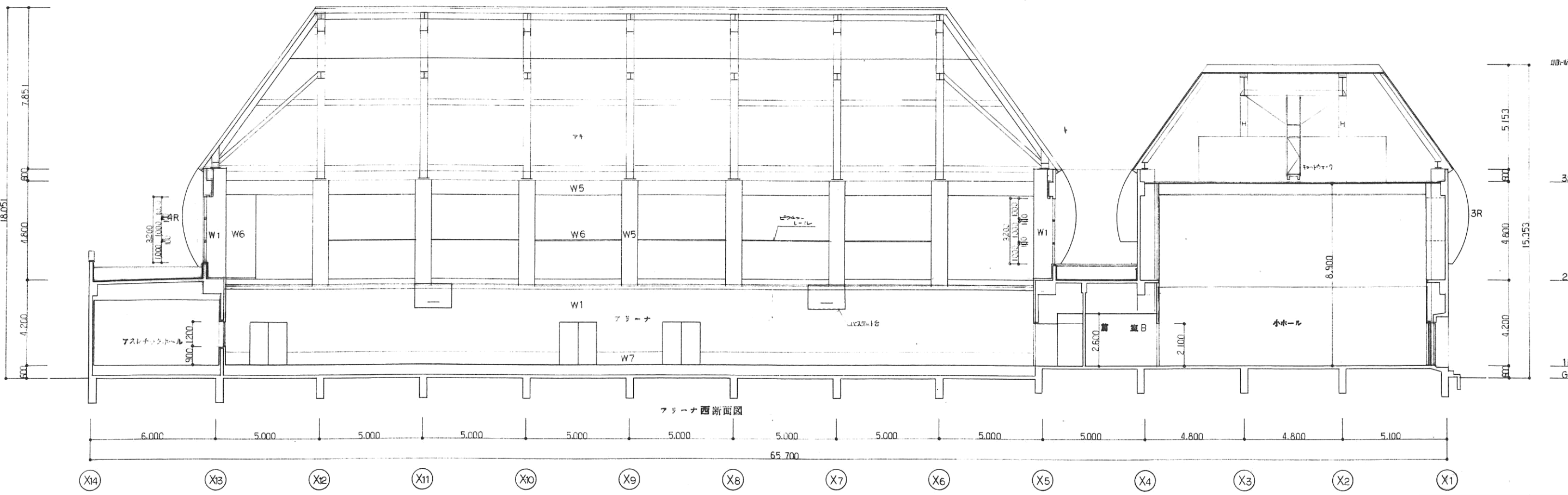
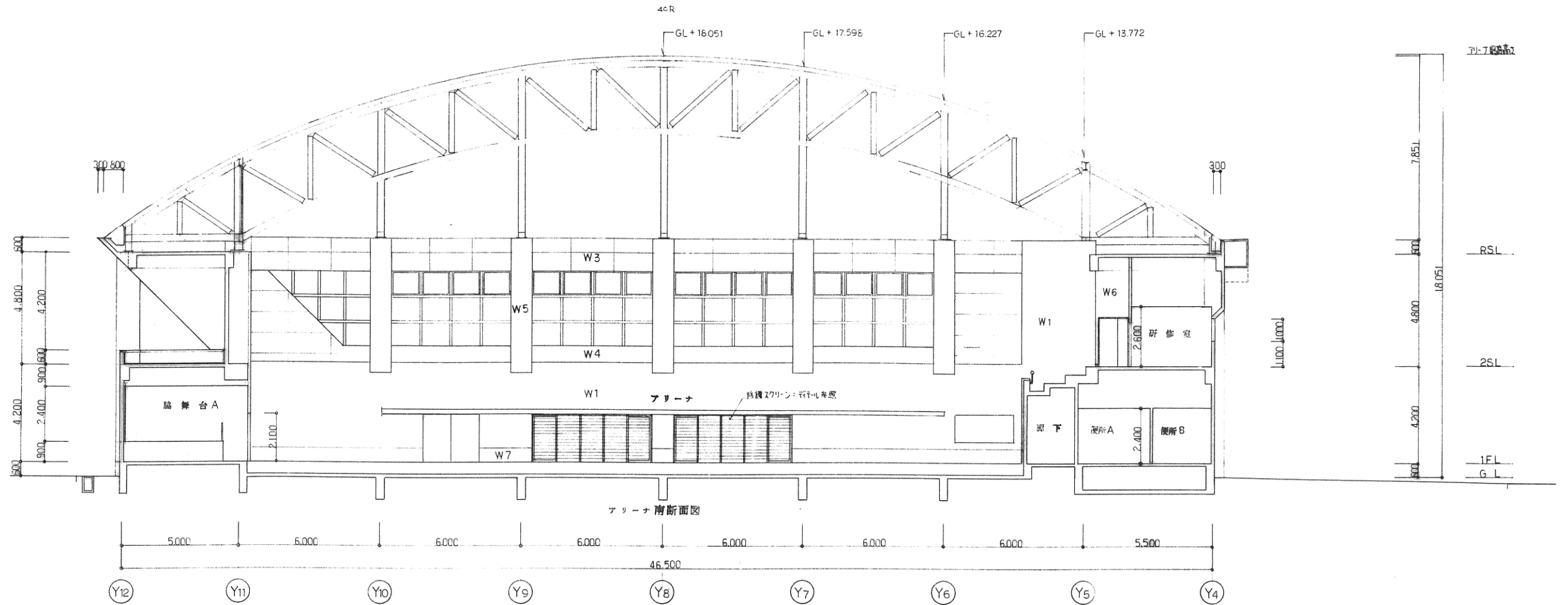
備考 _____

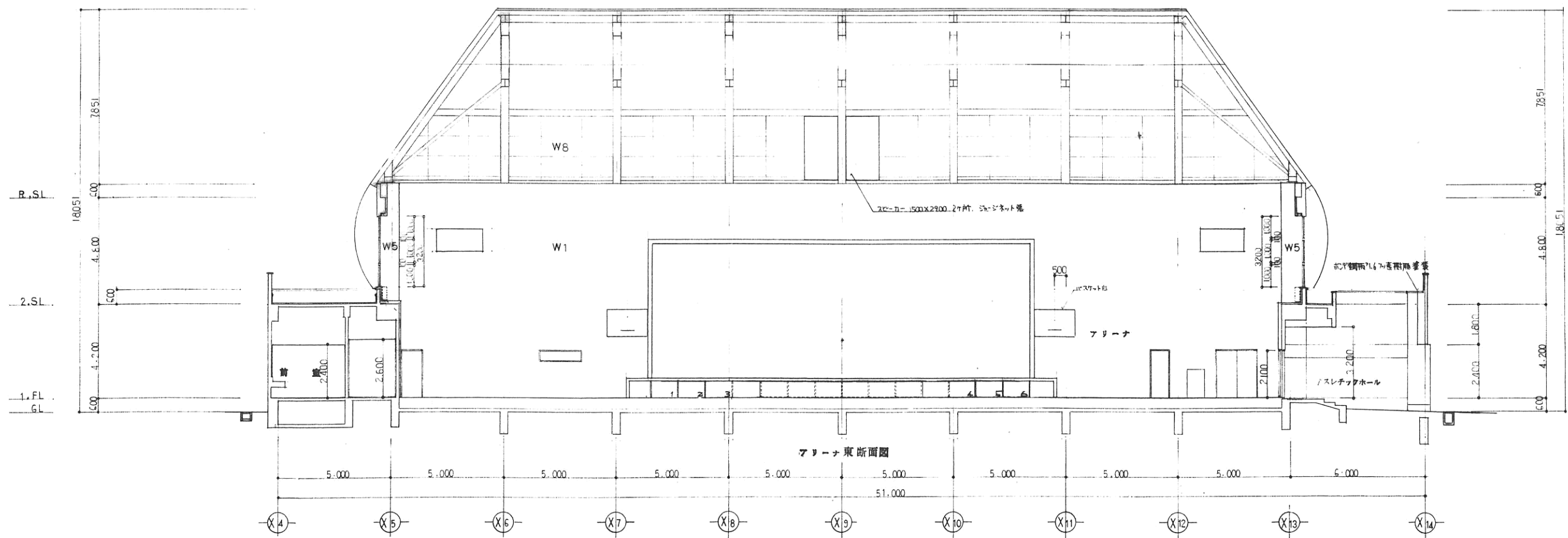
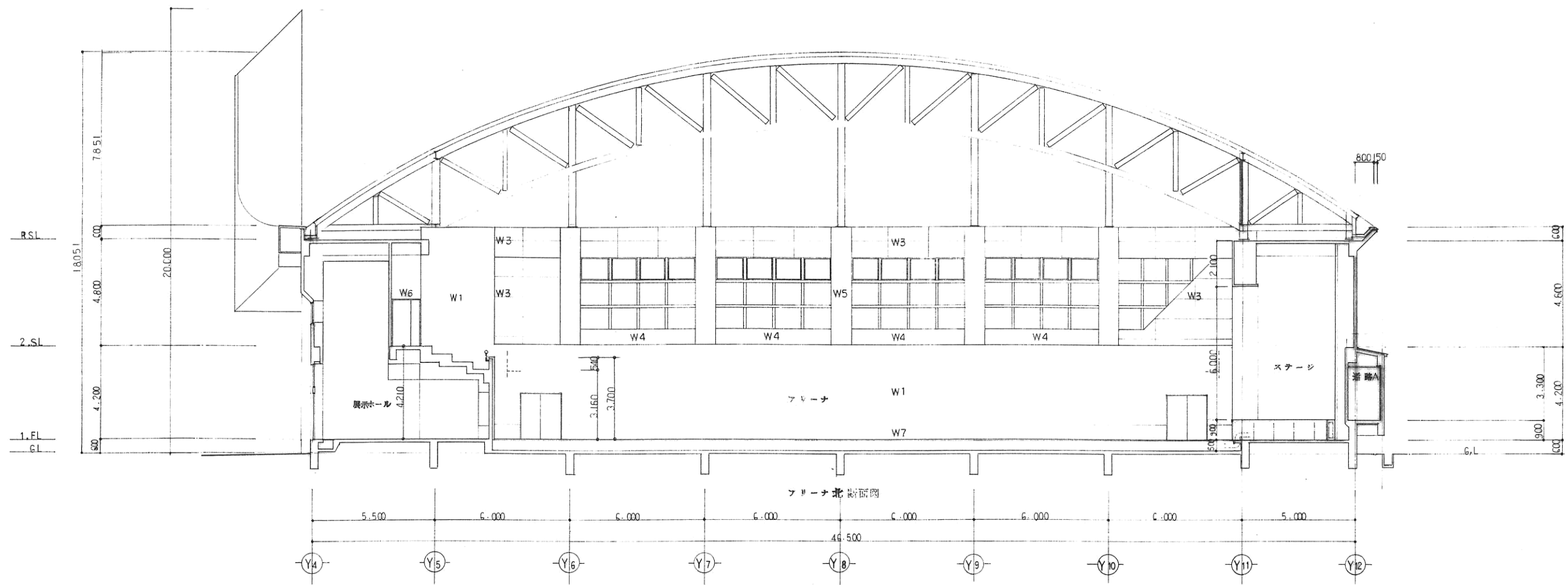
整理番号

設計年月日	全葉	No. 8	工事名	下田町町民交流センター(仮称)	工事
89-3	53	12	図面名称	立面圖(2)	Scale 1/100

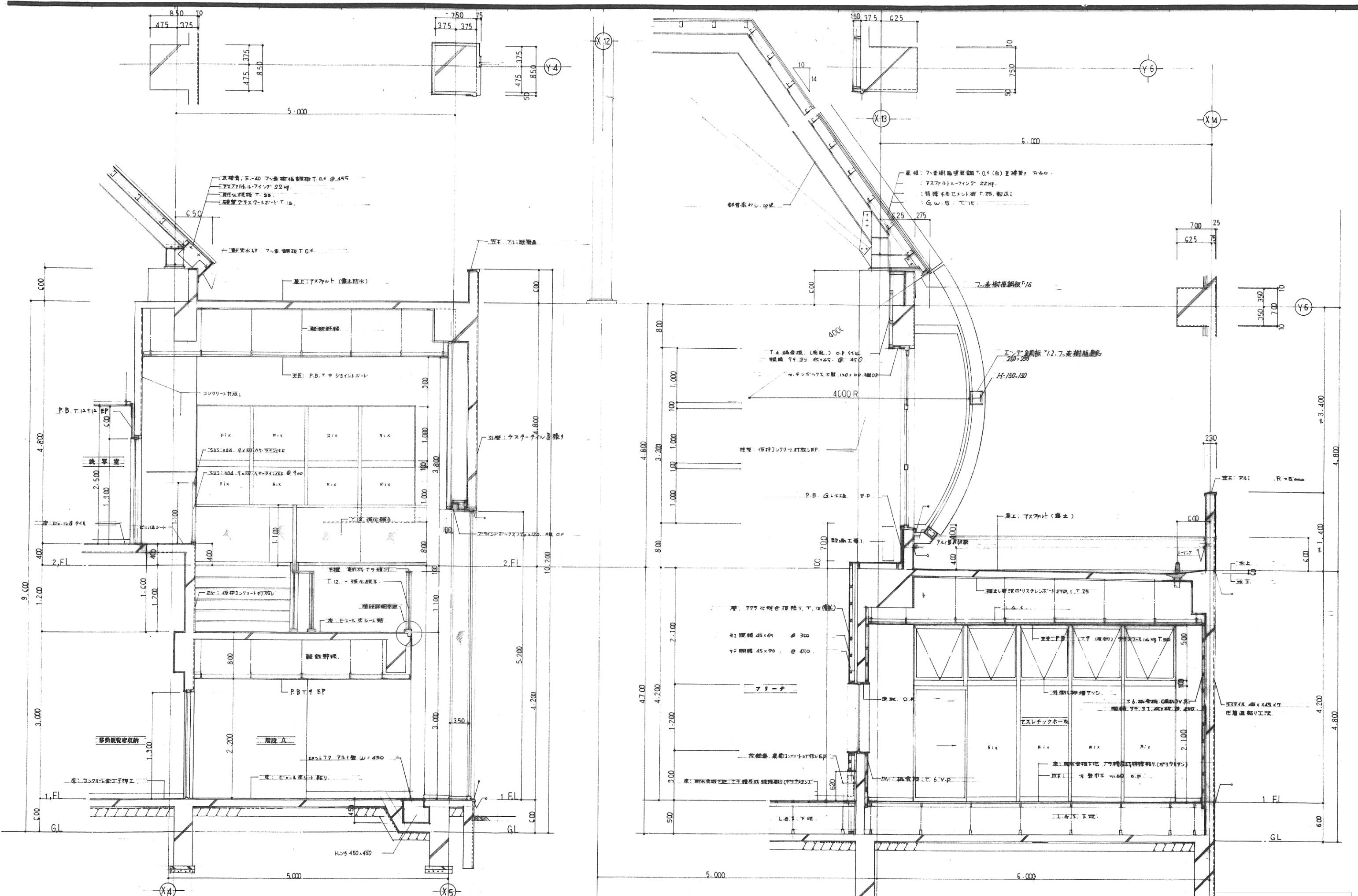
アリーナ
床 鋼床合板 木地
床 725 鋼床合板 鋼床
巾木 コウクリート打敷
壁 W1~W8
天井 GWB55kg クラスII断熱
階段

W1	木下地 W90 64016K225
W2	木下地 W90
W3	3725 鋼床合板 712
W4	3725 鋼床合板 712
W5	3725 鋼床合板 712
W6	3725 鋼床合板 712
W7	3725 鋼床合板 712
W8	3725 鋼床合板 712





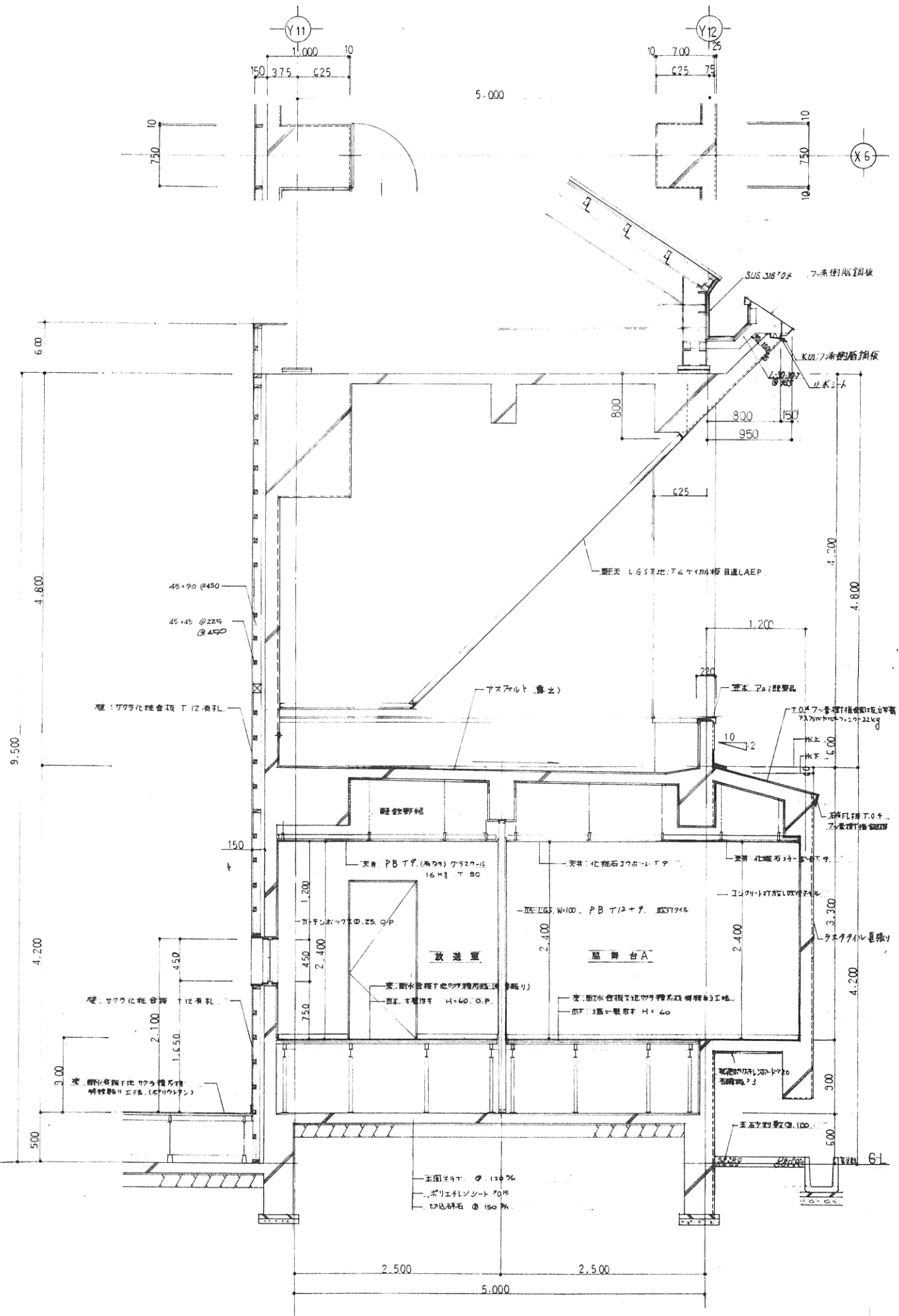
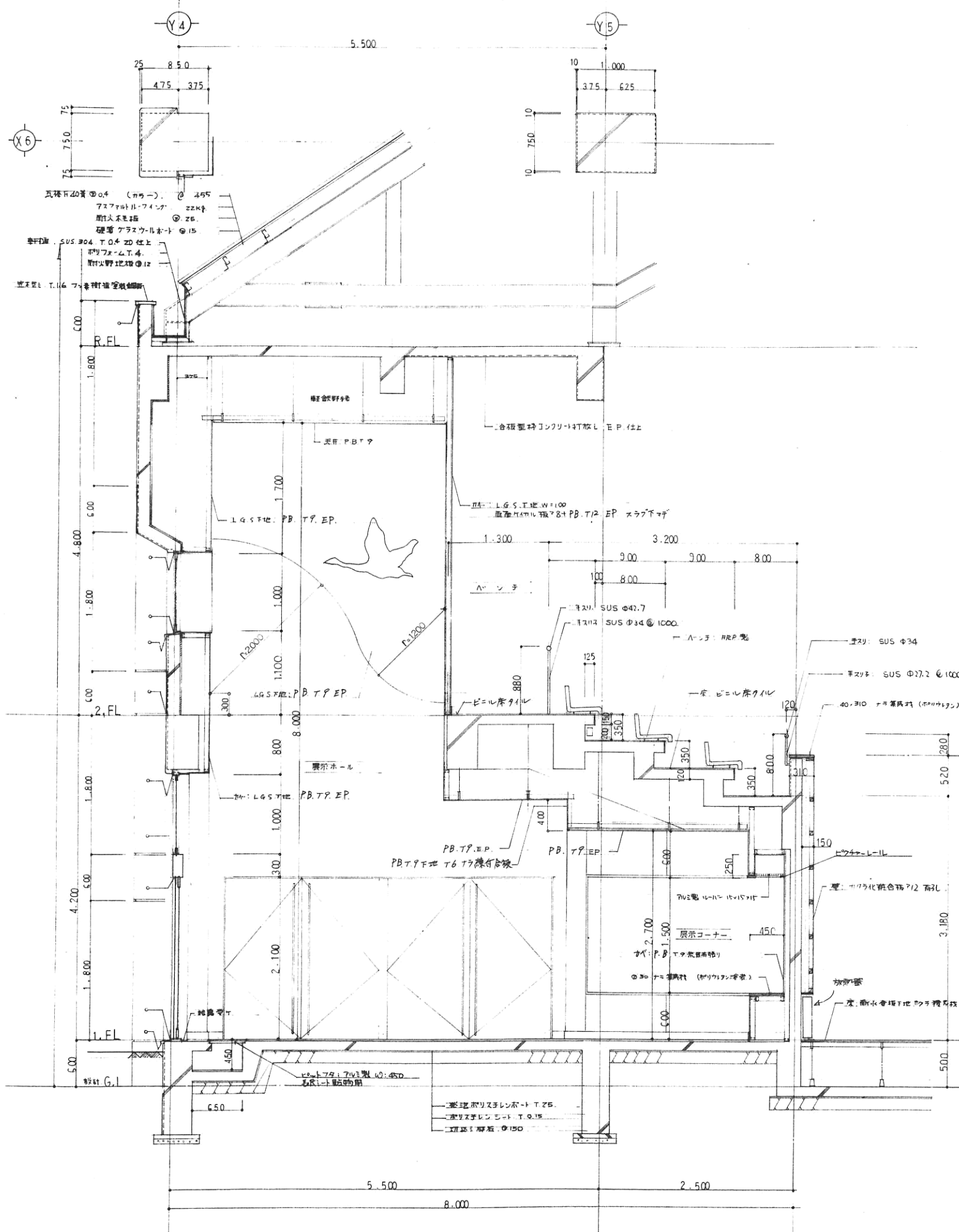
備考	整理番号	設計年月日	全葉	No. 10	工事名	下田町町民交流センター(仮称)	工事
		89-3	53	14	断面名称	断面図(2)	Scale 1/100



備考

整理番号

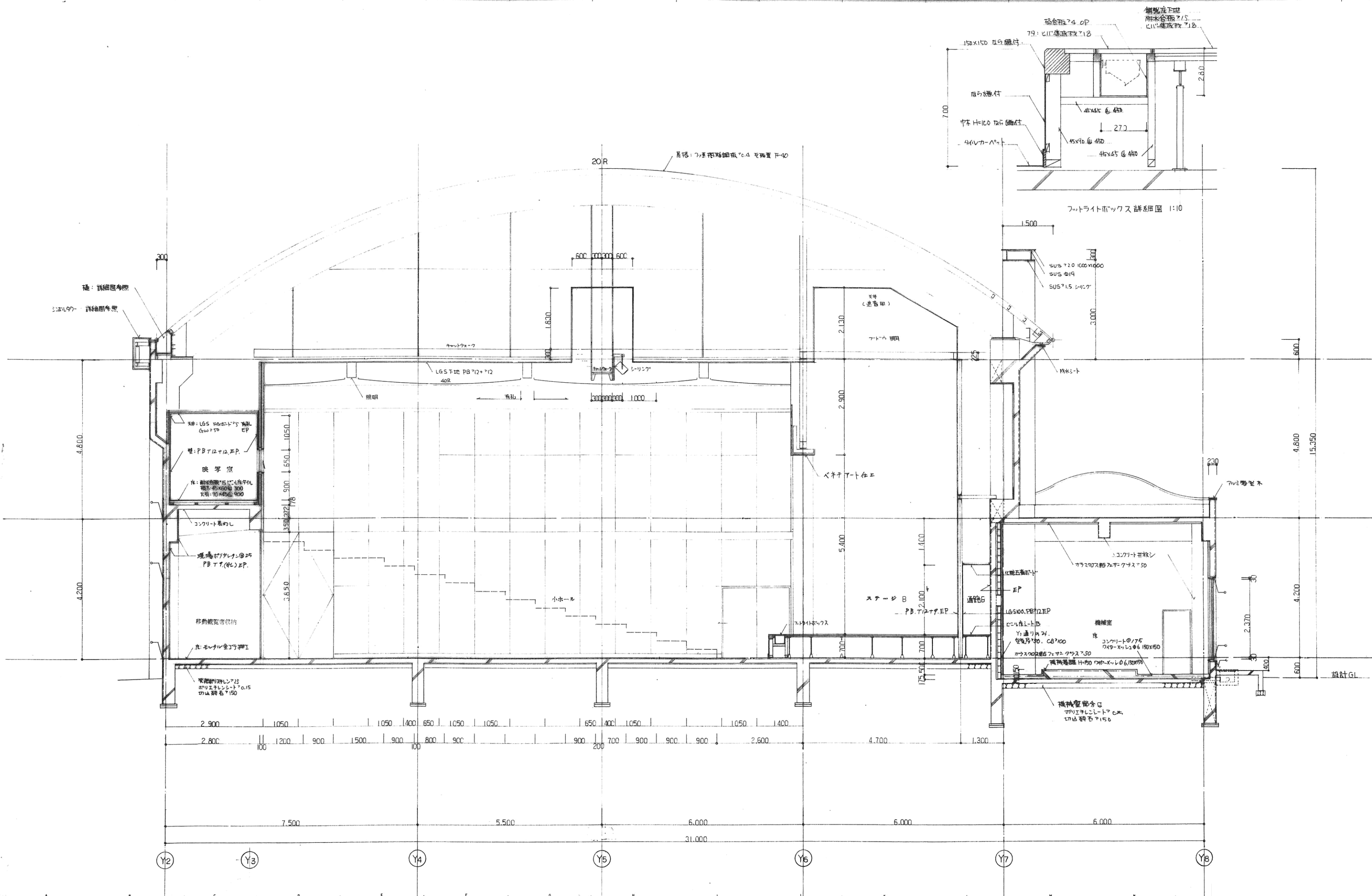
設計年月日	全葉	No. 11	工事名	下田町町民交流センター(仮称)	工事
89.3	53	15	図面名称	短計図 (1)	Scale 1/30



備考

整理番号

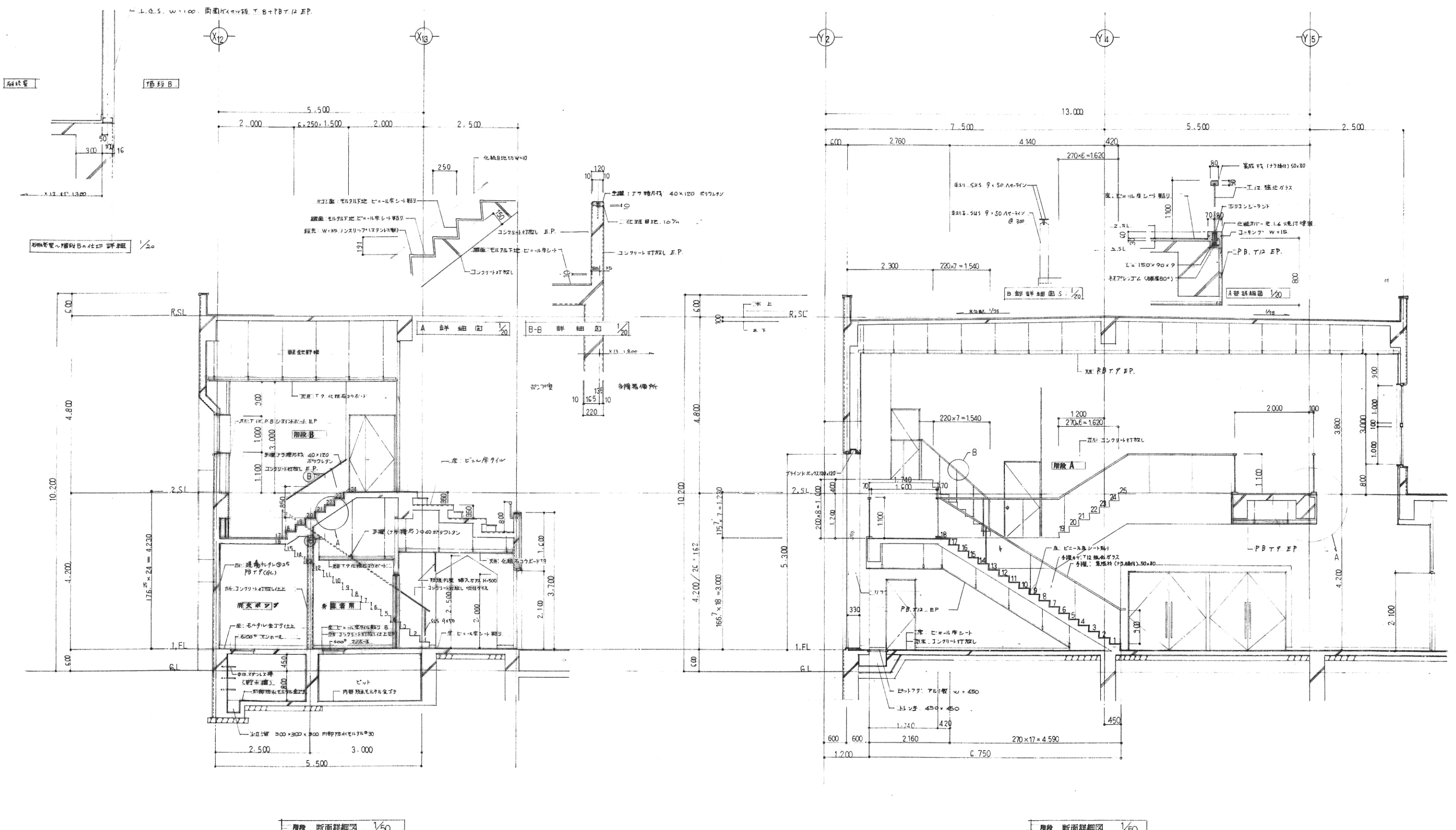
設計年月日	全業	No. 12	工事名	下田町民交流センター(仮称)	工事
69.3	53	16	図面名称	炬計図	Scale 1/30



備考

整理番号

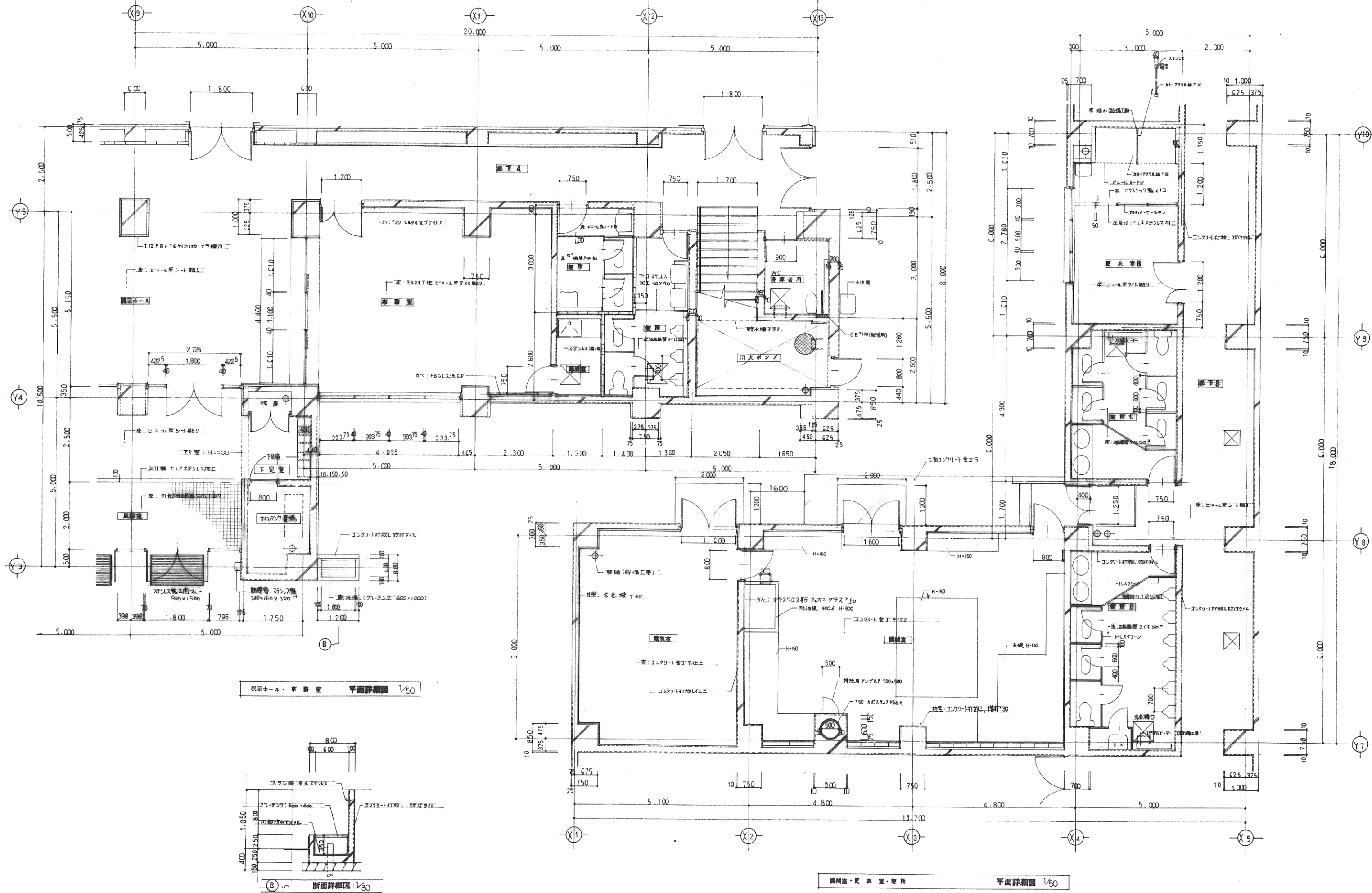
設計年月日	全葉	No. 13	工事名	下田町民交流センター(仮称)	工事
89-3	53	17	図面名称	矩計図	Scale 1/50



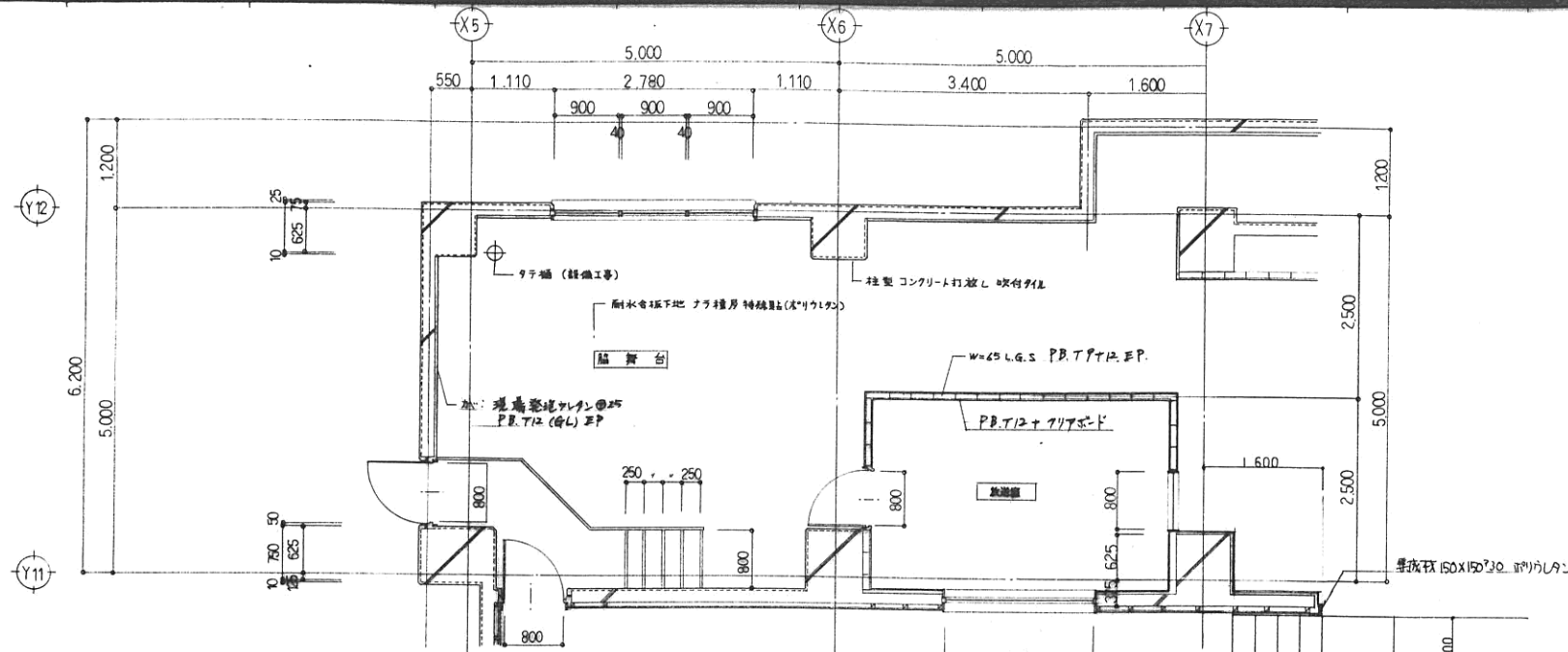
階段 断面詳細図 1/50

階段 断面詳細図 1/50

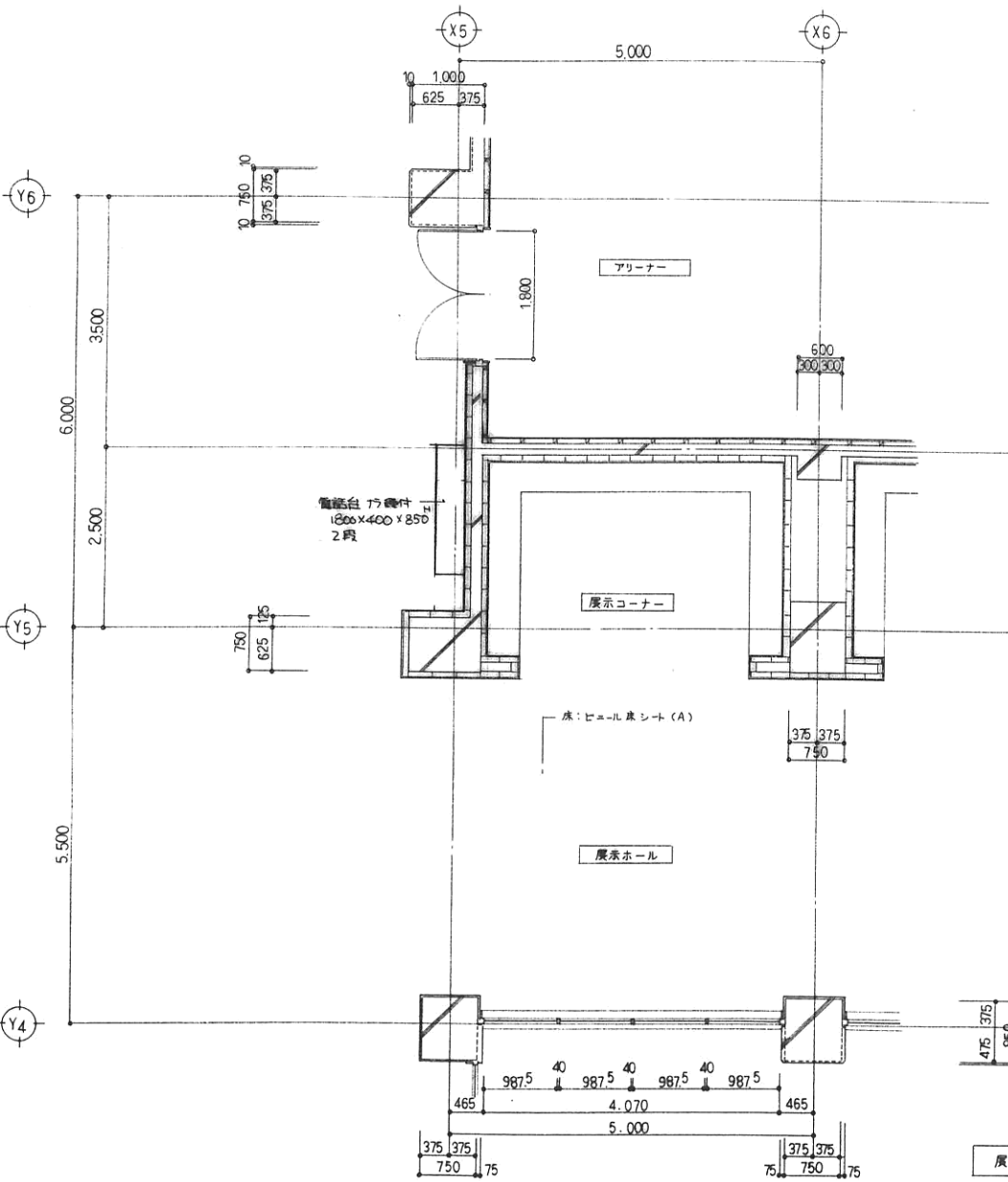
備考	整理番号	設計年月日	全葉	No. 14	工事名 下田町町民交流センター(仮称)	工事
		89.3	53	18		
図面名称 階段 断面詳細図					Scale 1/50	



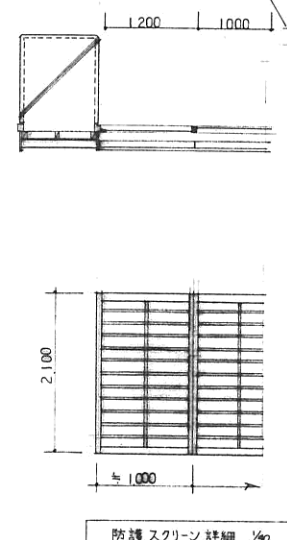
備考	整理番号	設計年月日	全葉	No.	工事名	工事
		89.3	53	19	下田町町民交流センター(仮称)	
					図面名称	Scale 1/50
					平面詳細図	



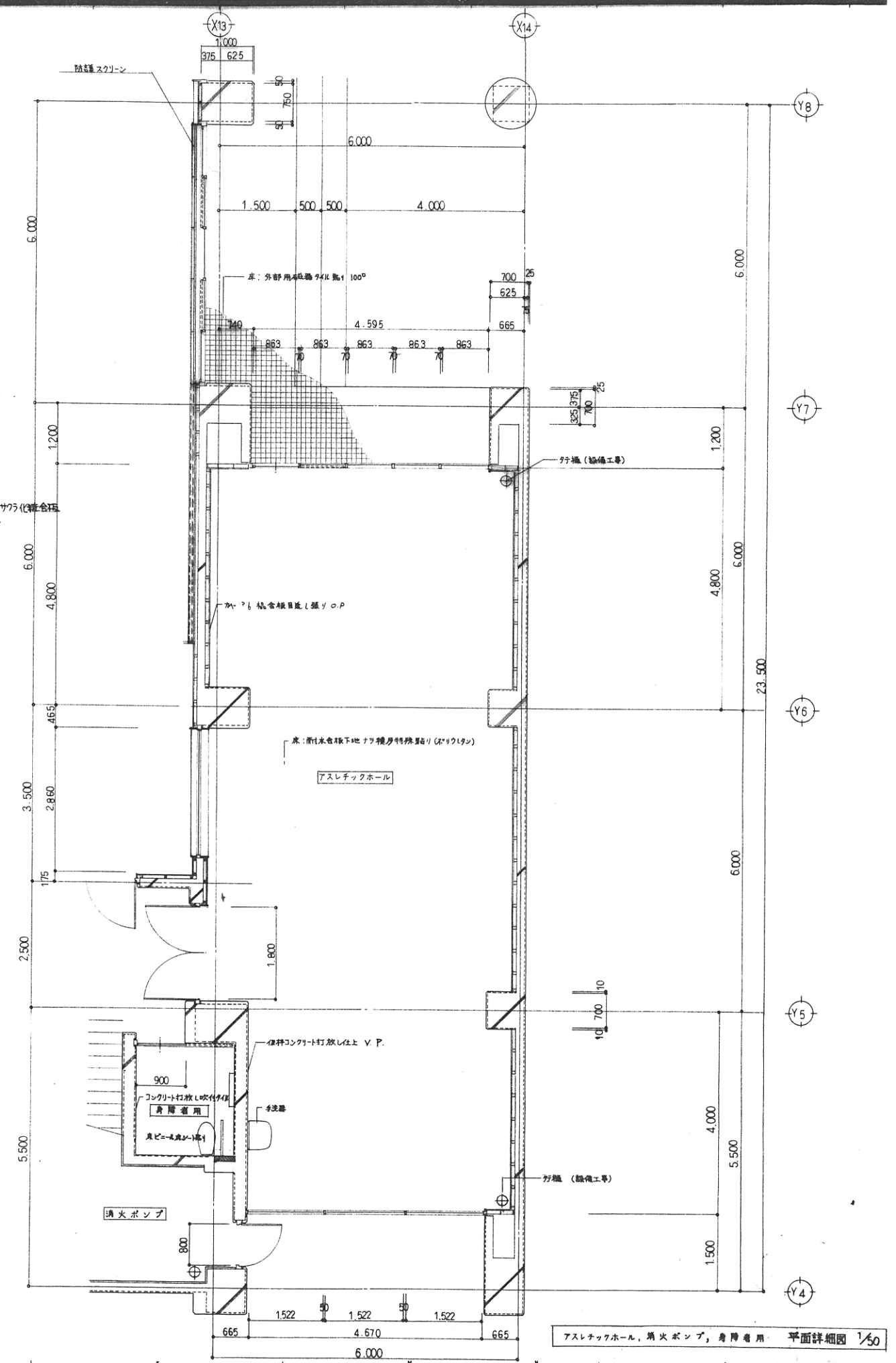
舞台台、放送室 平面詳細図 1/50



展示ホール、展示コーナー 平面詳細図 1/50

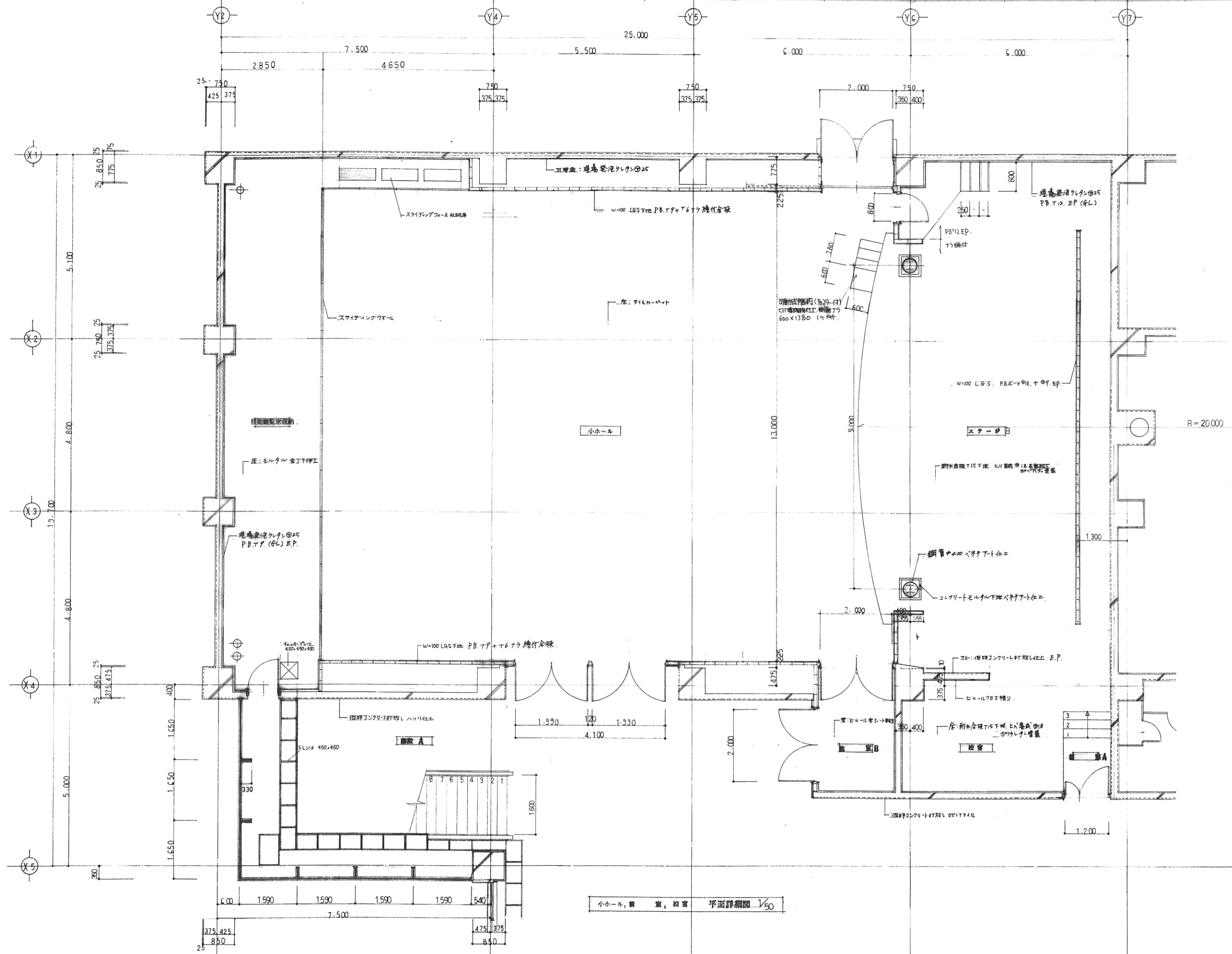


防護スクリーン詳細 1/40



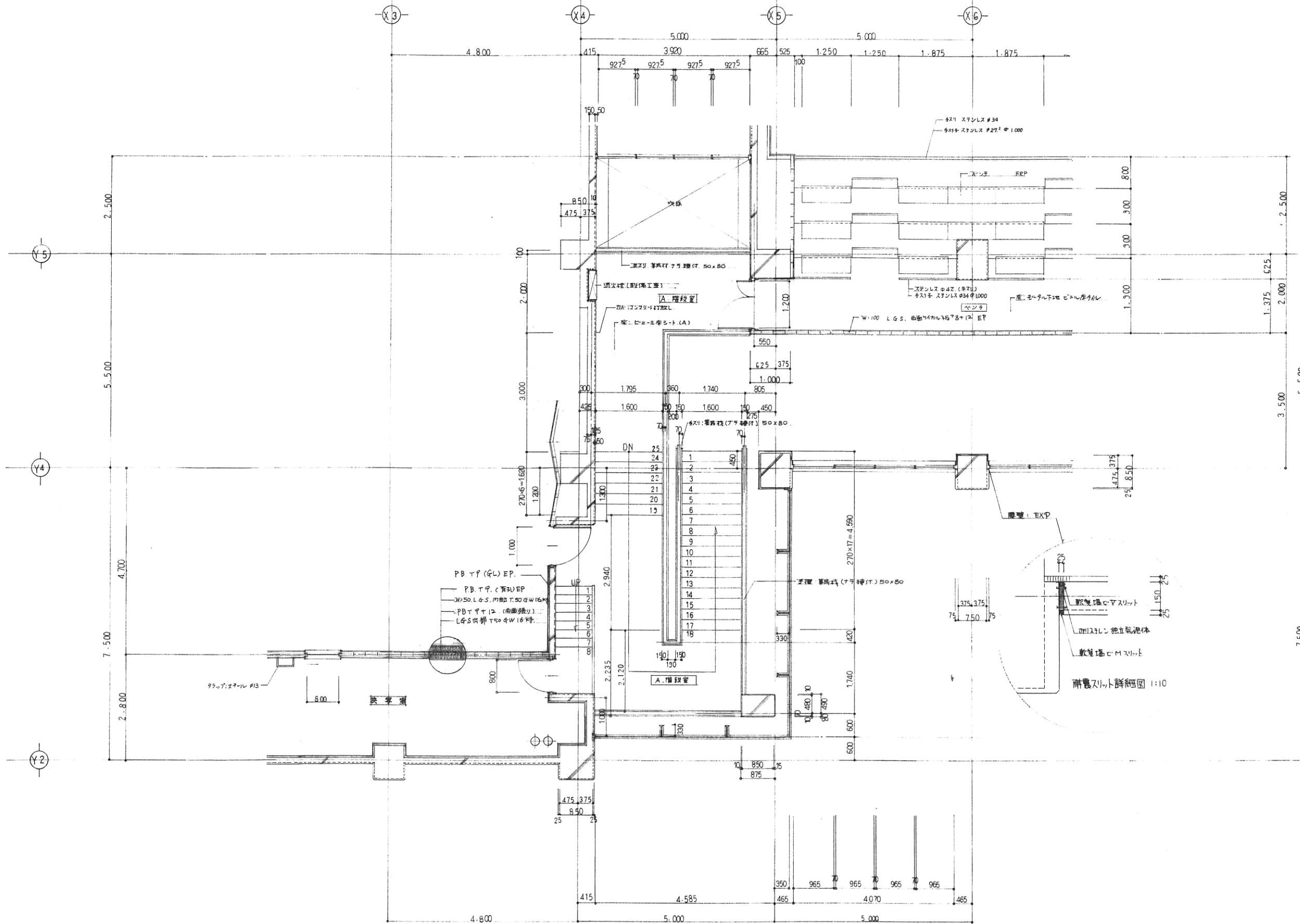
アスレチックホール、消防ポンプ、身障者用 平面詳細図 1/50

備考	整理番号	設計年月日	全葉	No.	工事名	工事
		89. 3.	53	20	下田町町民交流センター(仮称)	
					図面名称	Scale 1/50
					平面詳細図	



小ホール、受付、図書、展示 平面詳細図 1/50

備考	整理番号	設計年月日	全業	No.	工事名	下田町町民交流センター(仮称)	工事
		89-3	53	21	図面名称	平面詳細図	Scale 1/50

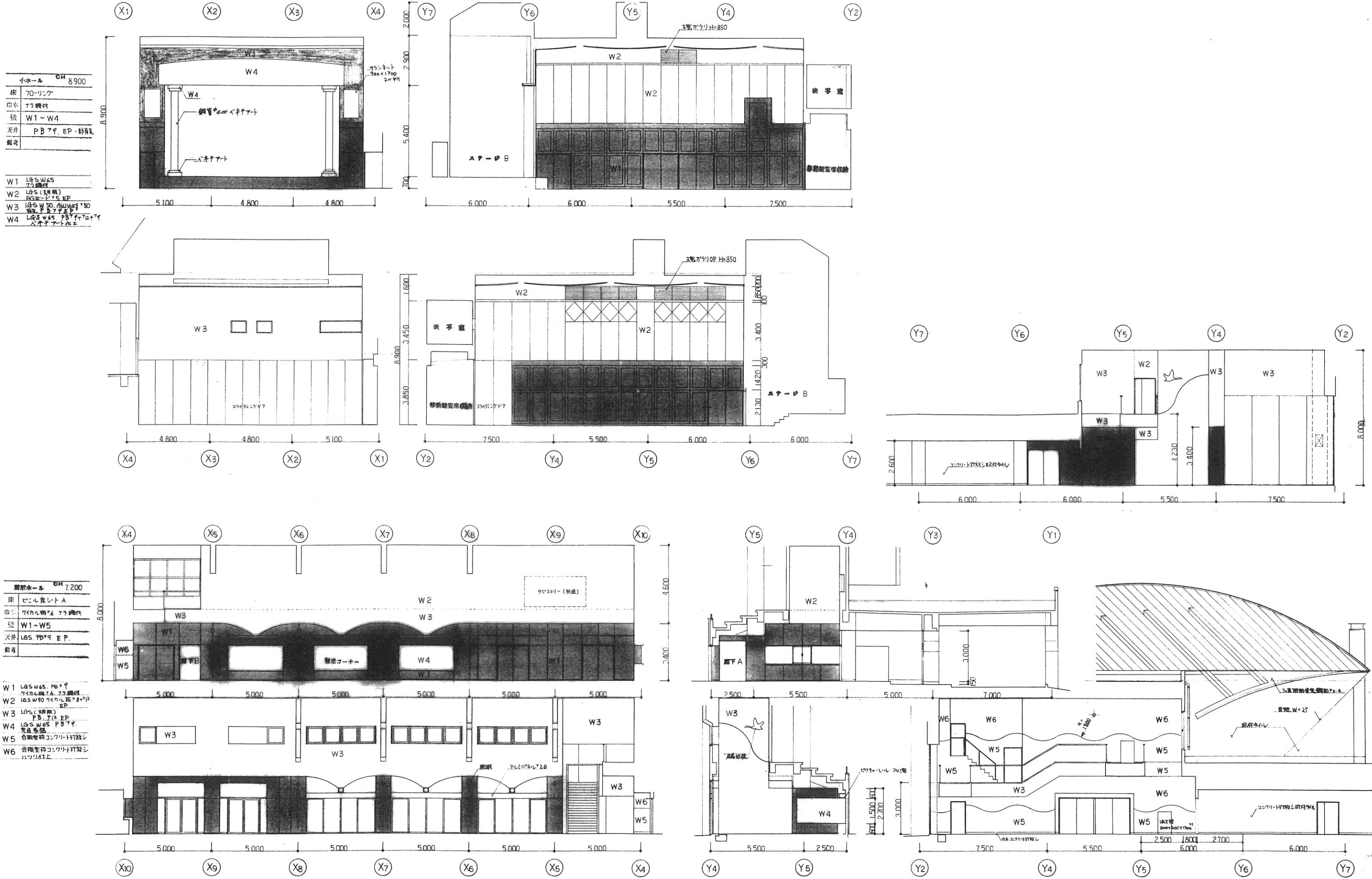


A.1階, 観覧席, 待客室 平面詳細図 1/50

備考

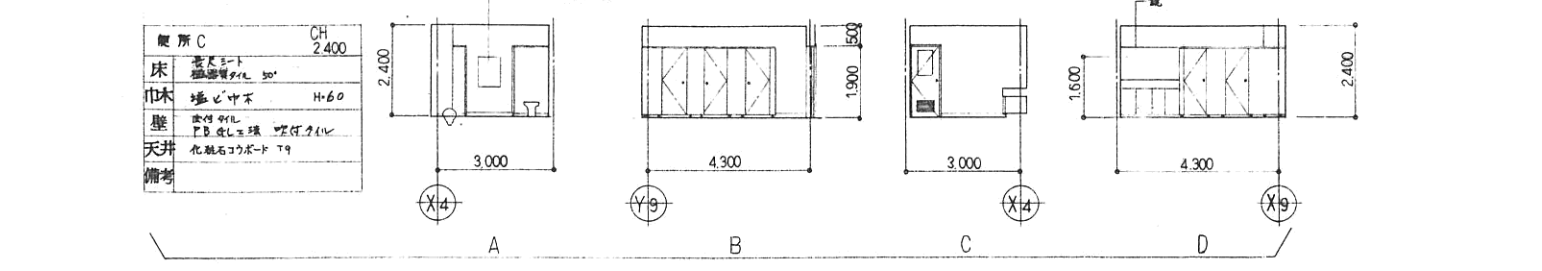
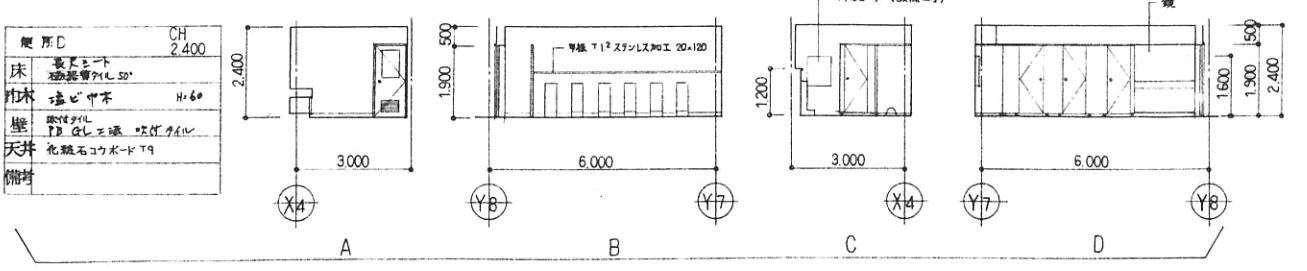
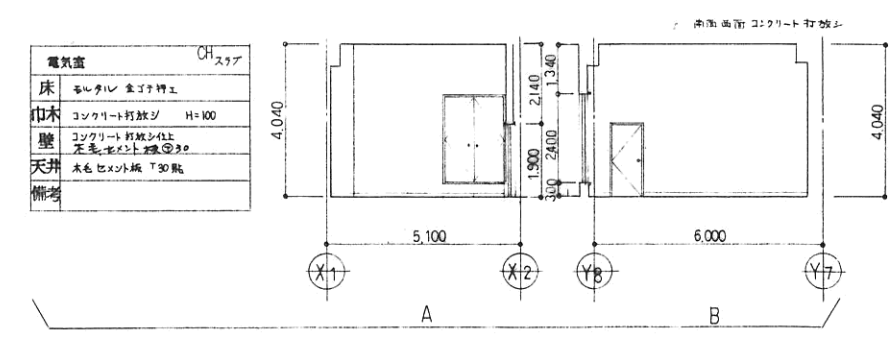
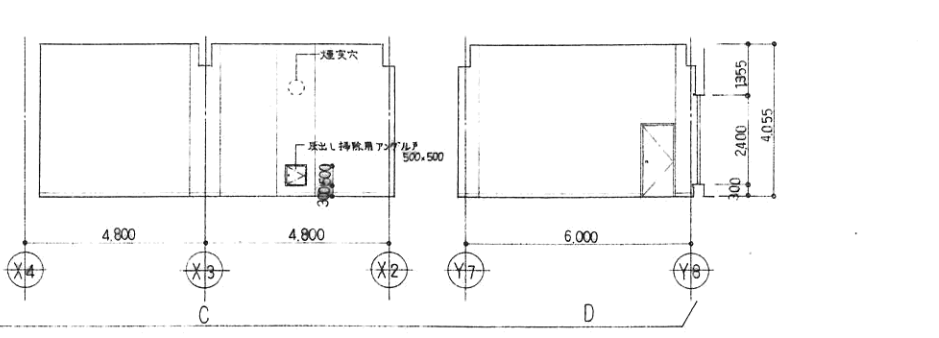
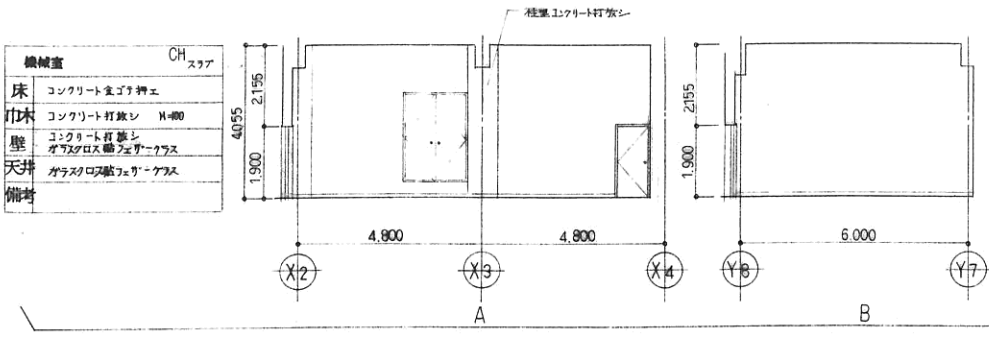
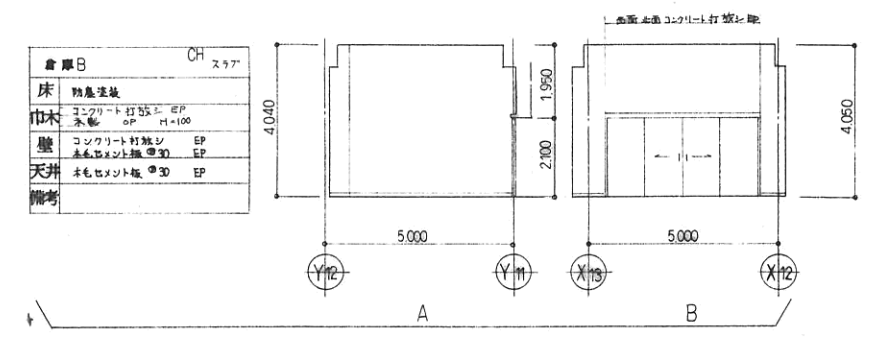
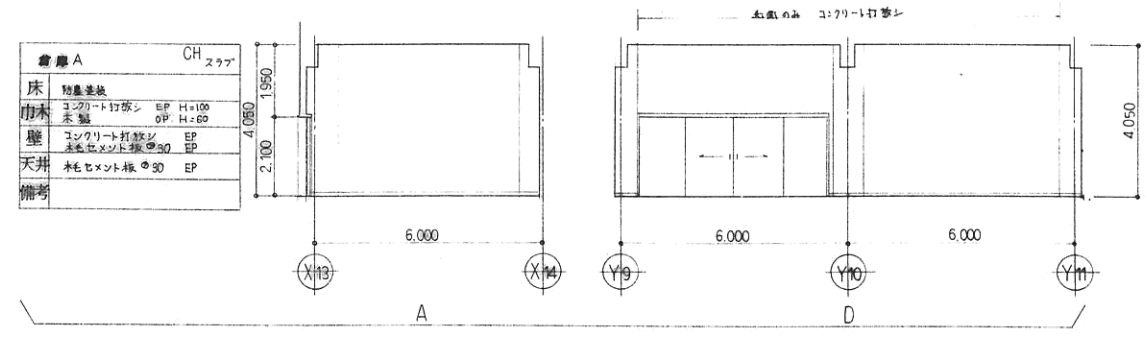
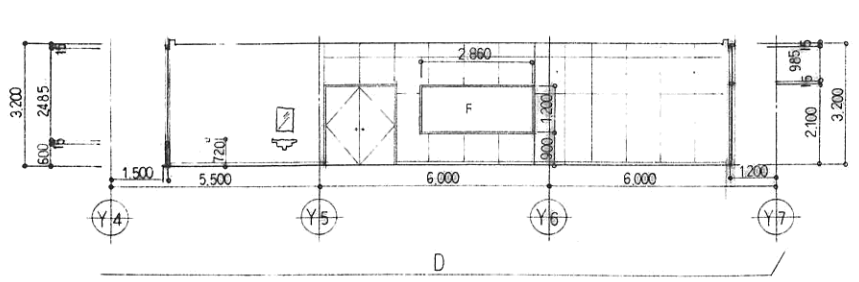
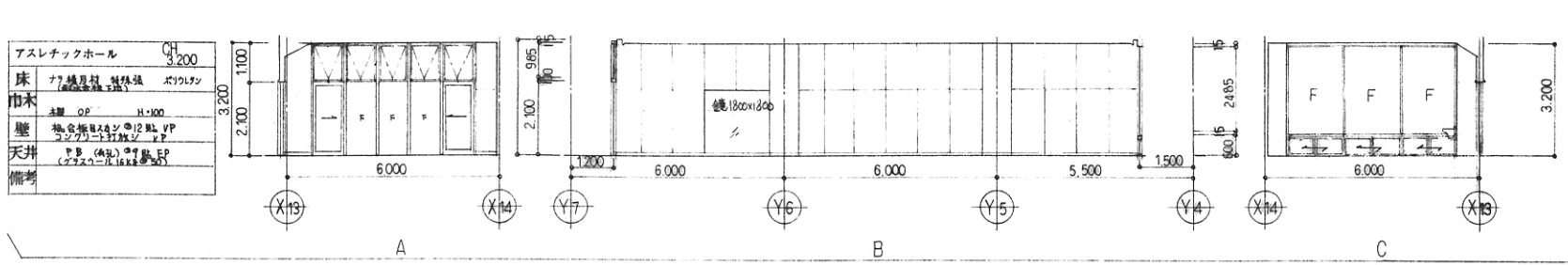
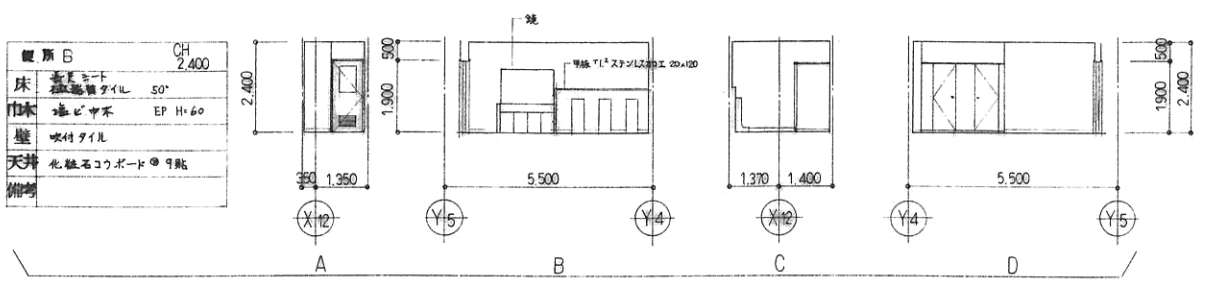
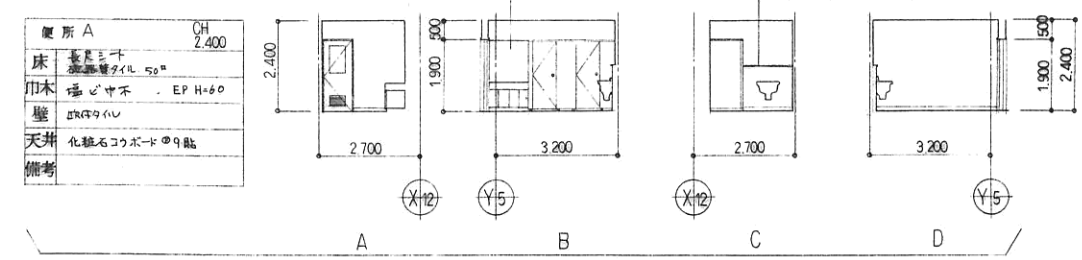
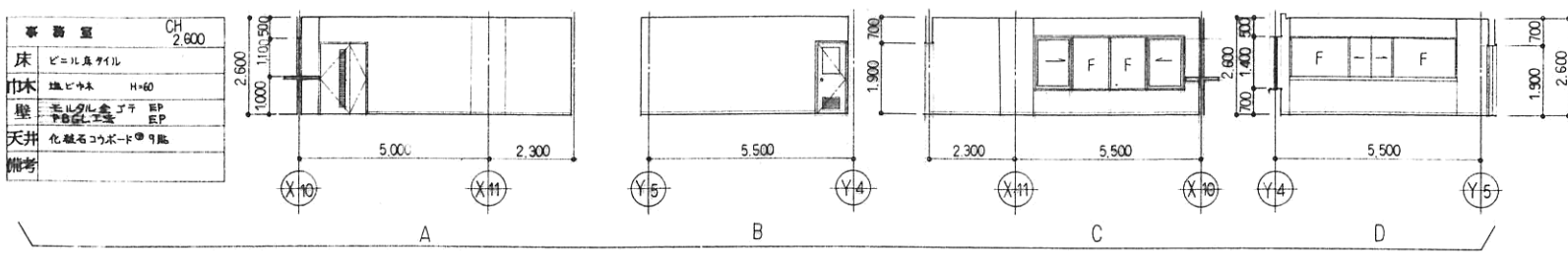
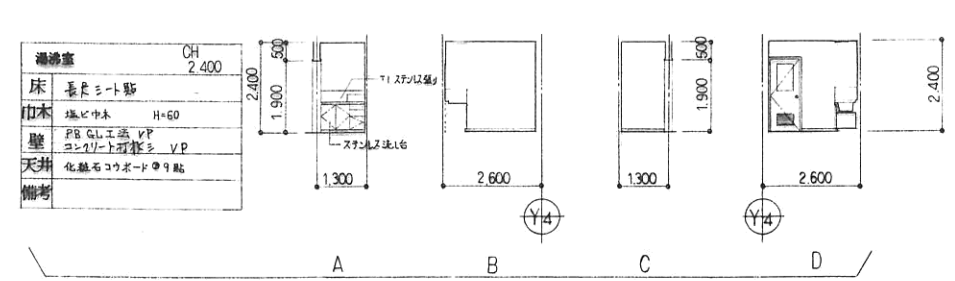
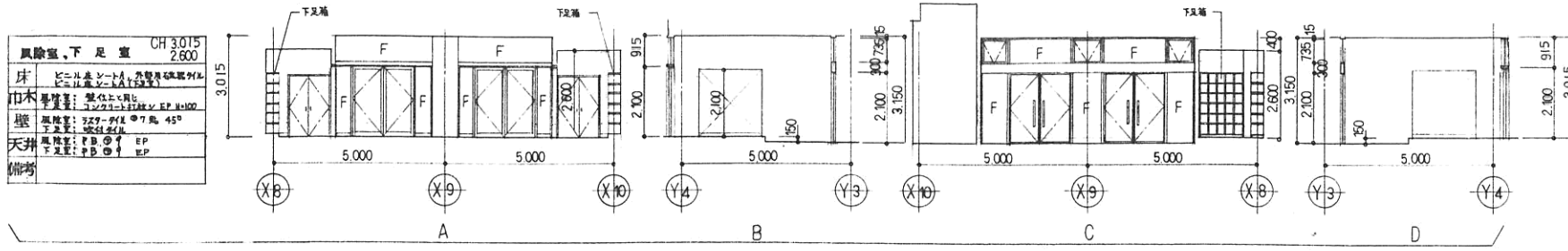
整理番号

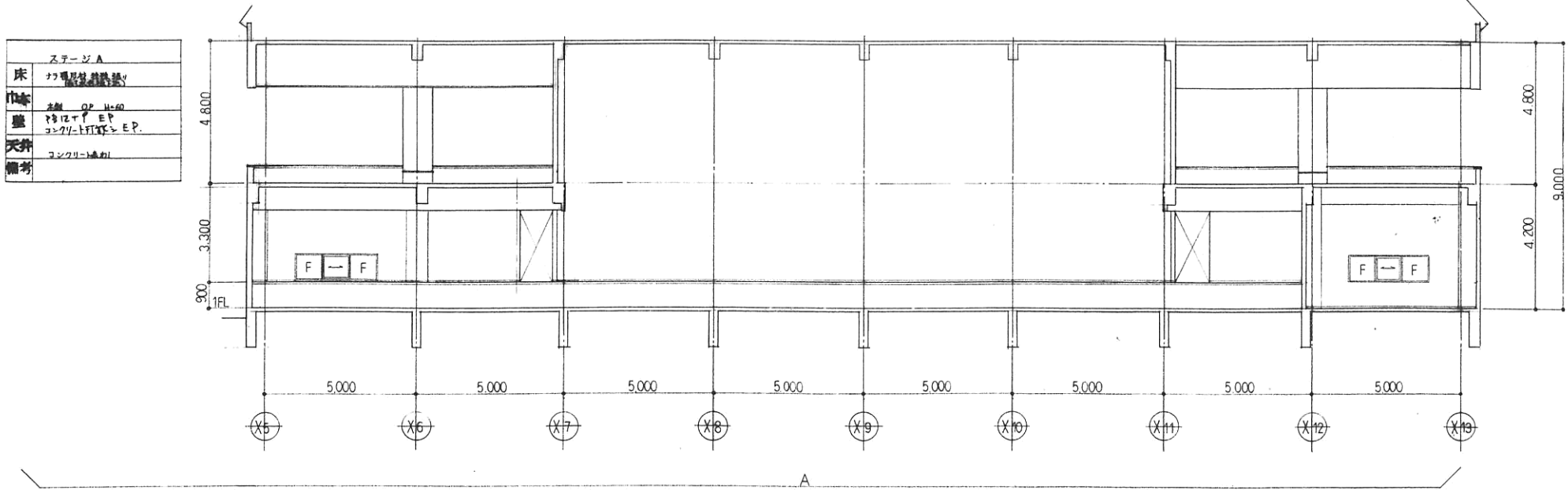
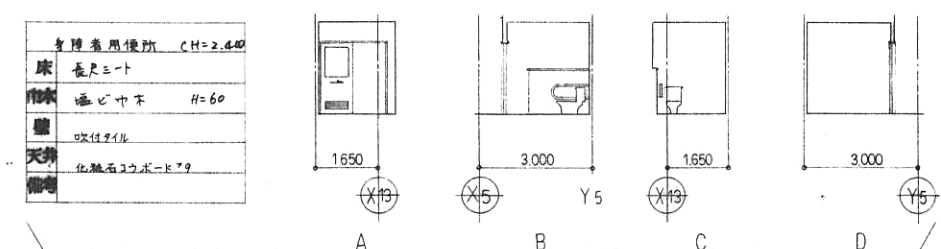
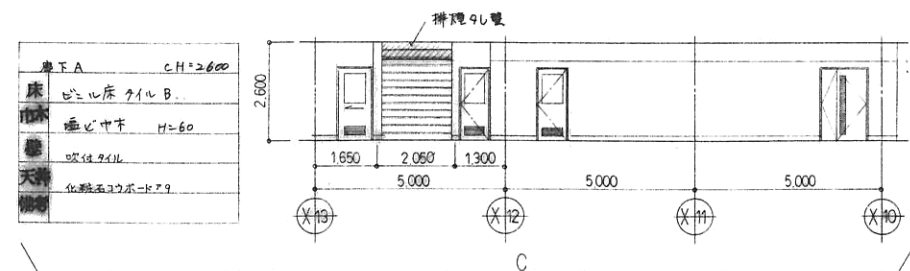
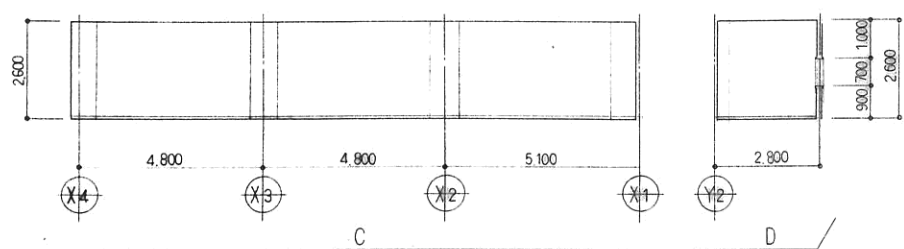
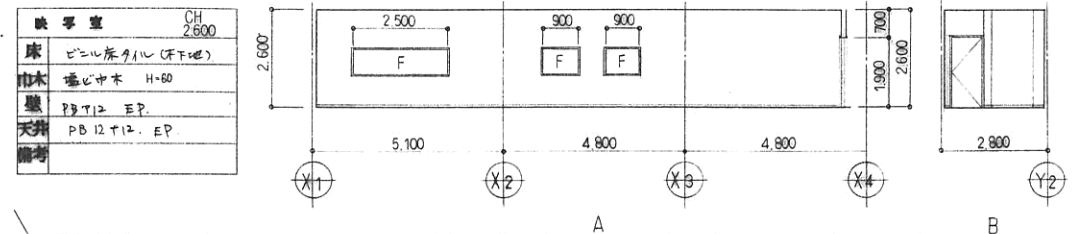
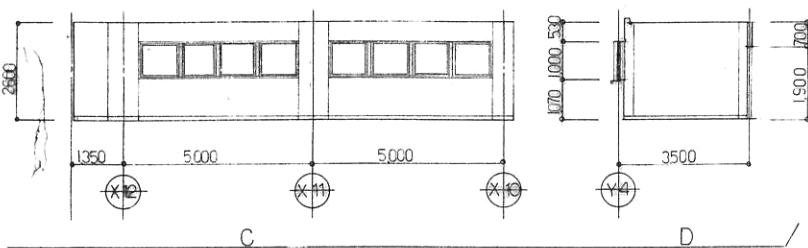
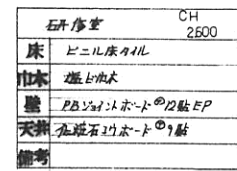
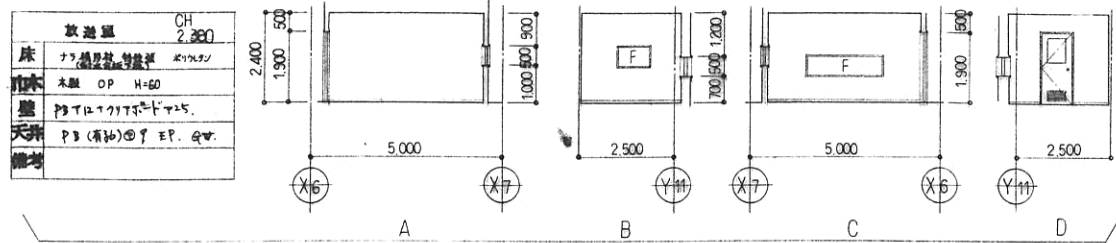
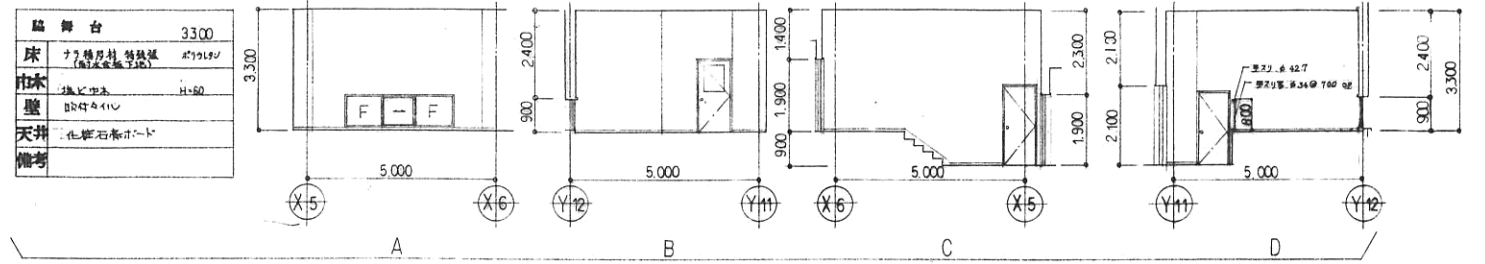
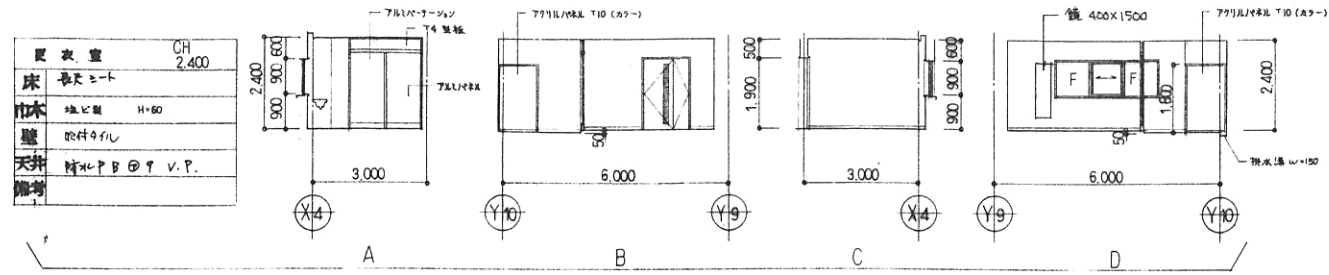
設計年月日	全業	No. 15	工事名	下田町町民交流センター(仮称)	工事
89.3	53	22	図面名称	平面詳細図	Scale 1/50



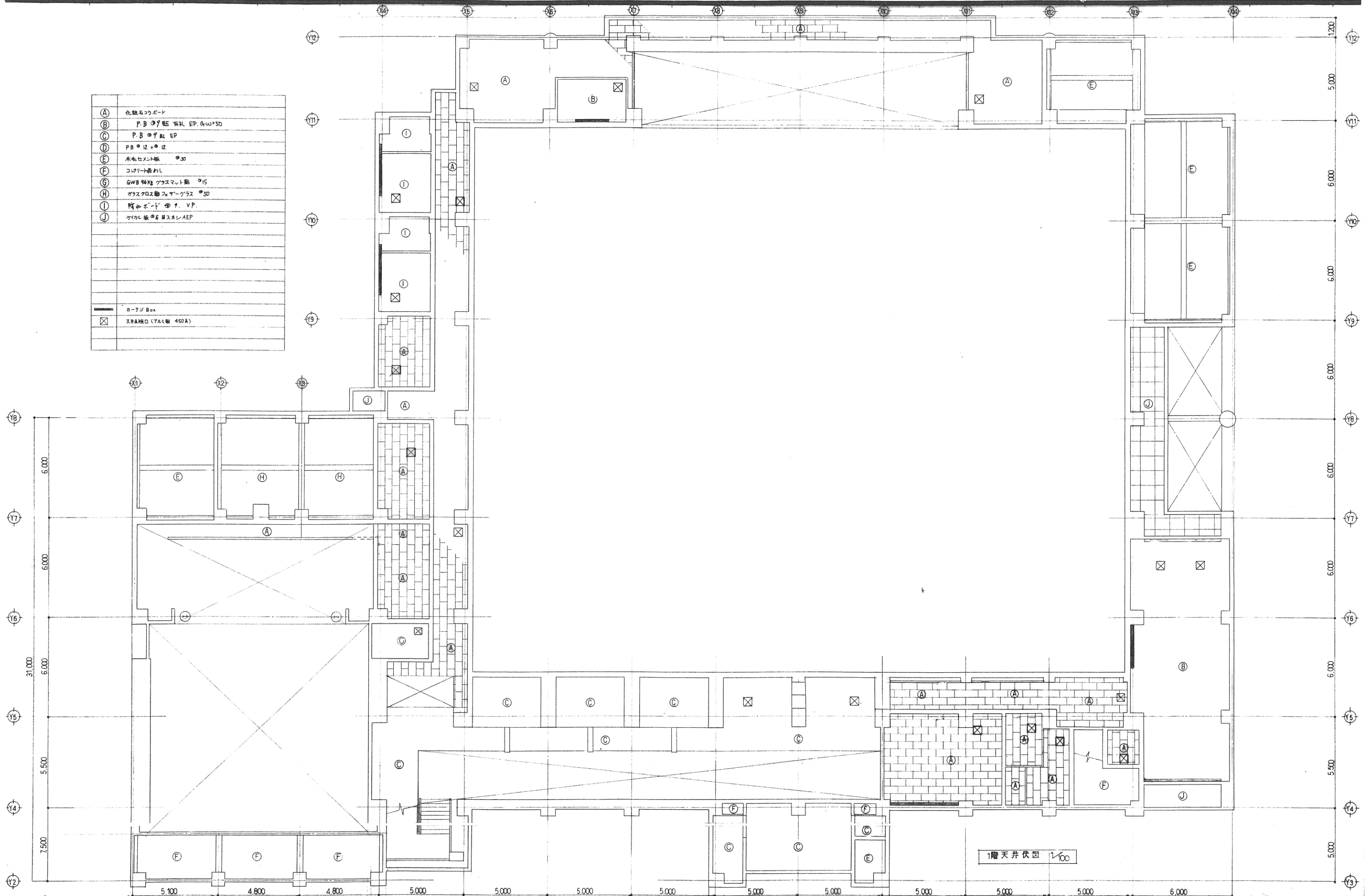
小ホール	CH 8900
床	70-リンク
巾木	ナラ鏡付
壁	W1~W4
天井	PB79, EP-耐音乳
備考	
W1	LG5 W65 ナラ鏡付
W2	LG5 (耐音) EP
W3	LG5 W30 耐音付730 耐音PB79EP
W4	LG5 W65 PB79+70+79 ナラ鏡付在工

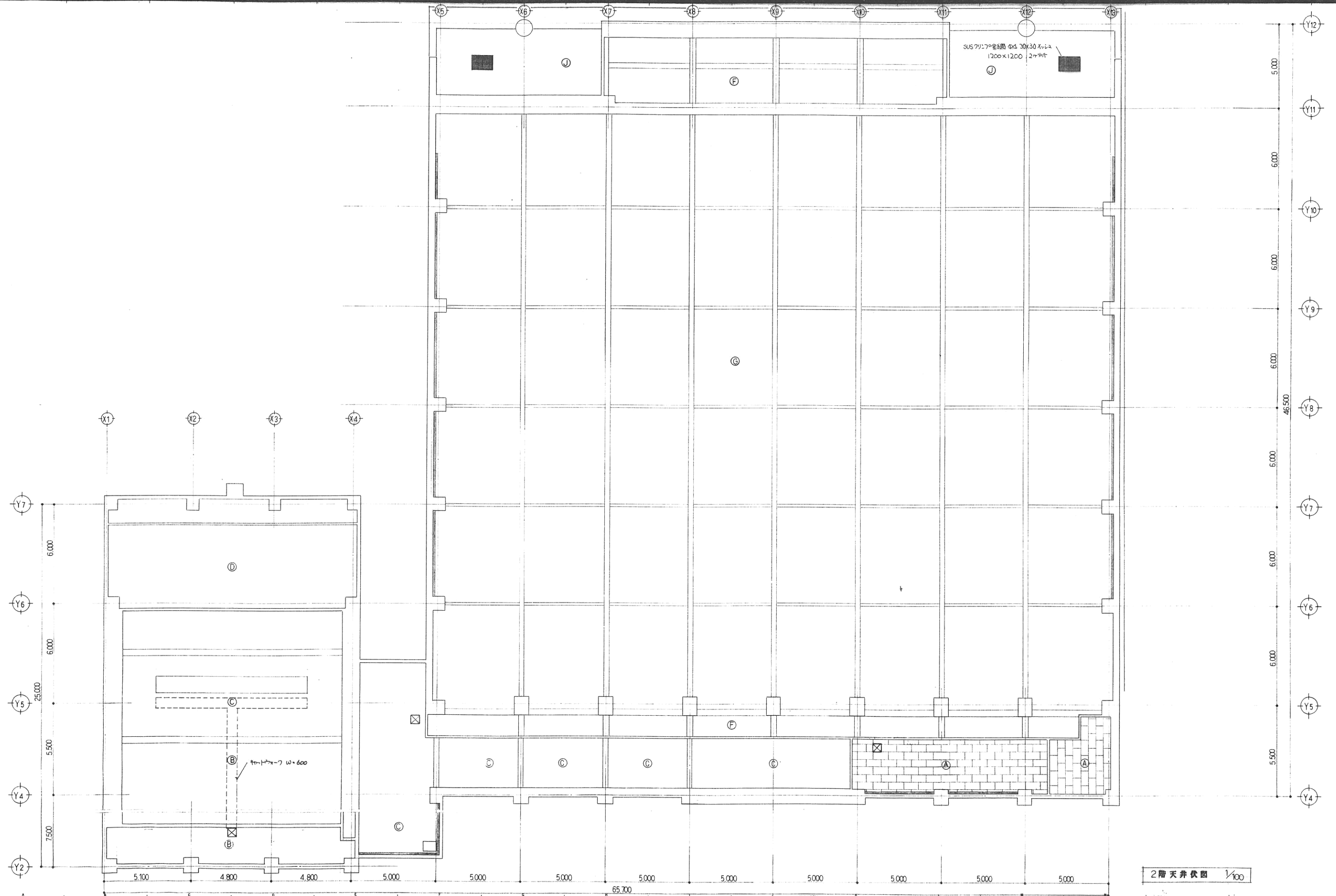
展示ホール	CH 7200
床	ビニル床シートA
巾木	ナラ鏡付76 ナラ鏡付
壁	W1~W5
天井	LG5 PB79 EP
備考	
W1	LG5 W65 PB79 ナラ鏡付76 ナラ鏡付
W2	LG5 W90 ナラ鏡付78+72 EP
W3	LG5 (耐音) PB, T12 EP
W4	LG5 W65 PB79 鏡面塗装
W5	合板壁紙コンクリート打放シ
W6	ハツリA1E





(A)	化粧石コウボート
(B)	P.B. 97 55 両孔 EP. 6w750
(C)	P.B. 97 55 EP
(D)	P.B. 97 55
(E)	木目セメント板 30
(F)	コンクリート床
(G)	GWB 96kg クラスマート 15
(H)	ガラスクロス 磨きガラス 30
(I)	防火ボード 97 Y.P.
(J)	ケイカル板 6 目スチレン AEP
カーテン Box	
玄関扉開口 (アルミ製 450A)	





2階天井伏図 1/100

備考

整理番号

設計年月日 89.3
 全業 53
 No. 28

工事名 下田町民交流センター(仮称) 工事
 図面名称 2階天井伏図 Scale 1/100

建具表

- 特記事項**
- アルミ製窓
 - 鋼製窓
 - ステンレス製窓
 - アルミ製戸
 - 鋼製戸
- 1. 略式記号凡例**
- アルミ製窓
 - 鋼製窓
 - ステンレス製窓
 - アルミ製戸
 - 鋼製戸
- 仕上凡例**
- OP: 合成樹脂顔料色
 - CL: クリアラッカー
 - EL: 合成樹脂ラッカー
 - ELB: 両面塗付
 - U: 本ワシ
 - K: カシュー
 - A: アルミ酸化皮膜処理(白)
- AC: アルミ電解発色処理(色)**

MP: メラミン化粧板

H: ヘアライン 色4

硝子凡例

 - F: フロート
 - A: 硝子
 - B: 硝子
 - C: 硝子

乾燥凡例

 - A: SUS304
 - B: SUS304
 - C: 目地硝子SUS304

防音凡例

 - A: 枠四周合成ゴム
 - B: ロックワール充てん
 - C: レバーハンドル締め
 - D: 枠四周合成ゴム又はセンターブロック
 - E: ロックワール充てん
 - F: センチブロック

2. 特記以外の金物は附属金物一式とする。

3. 附属金物はステンレス製とし金具、木製建具同型とする。

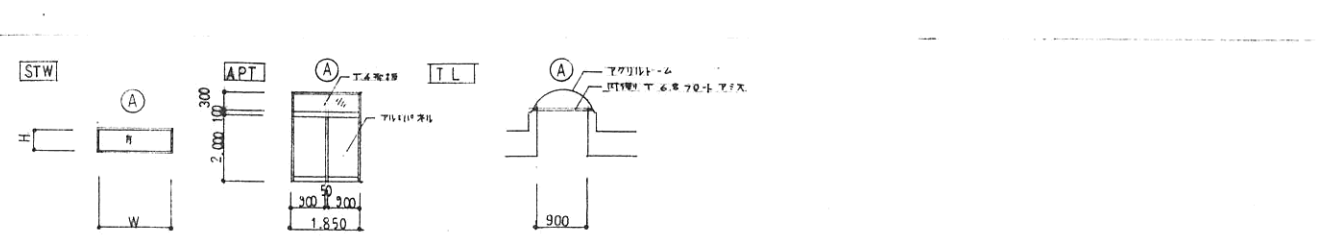
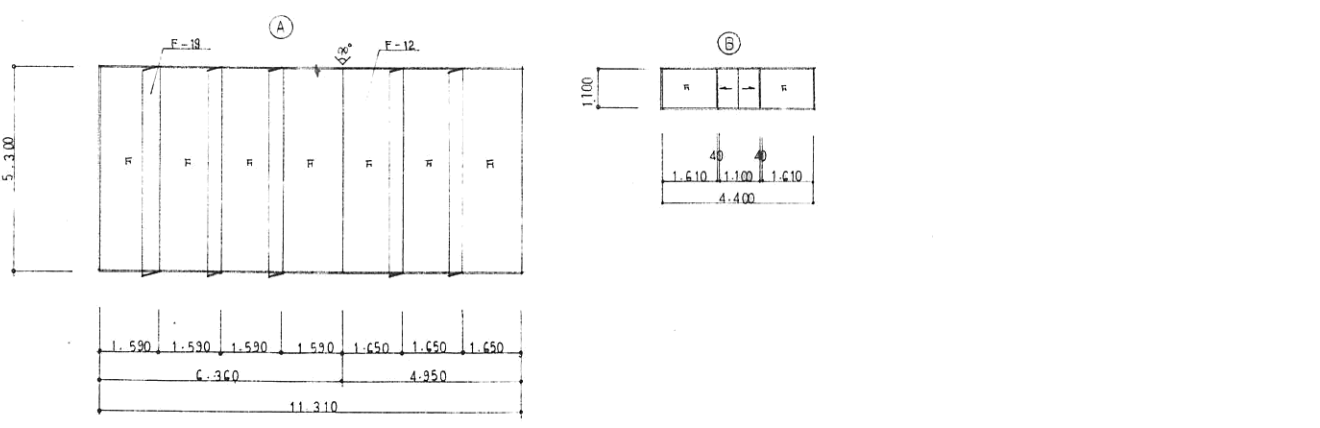
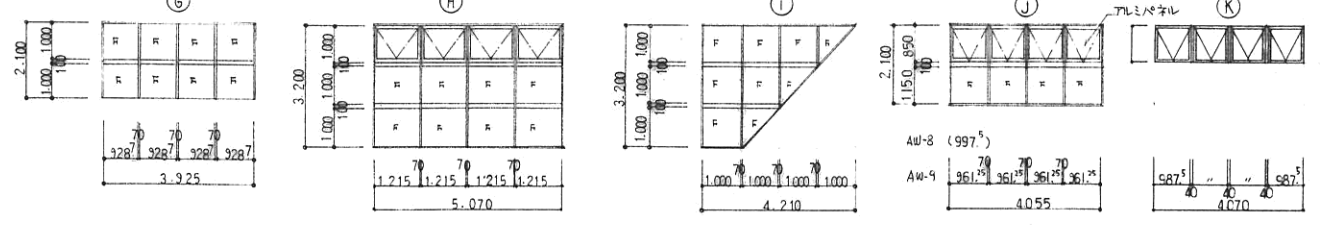
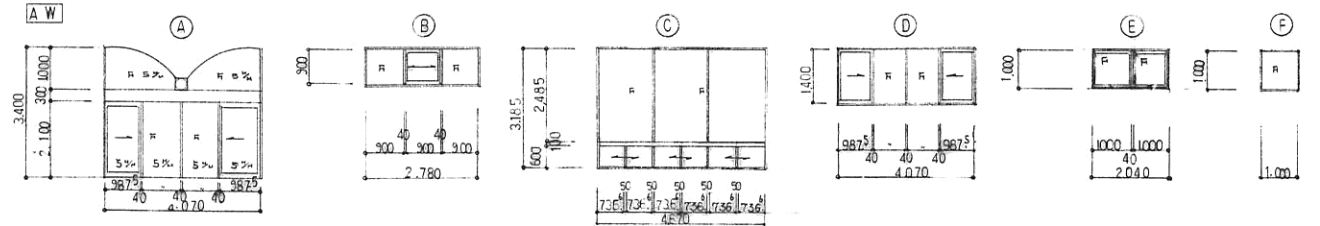
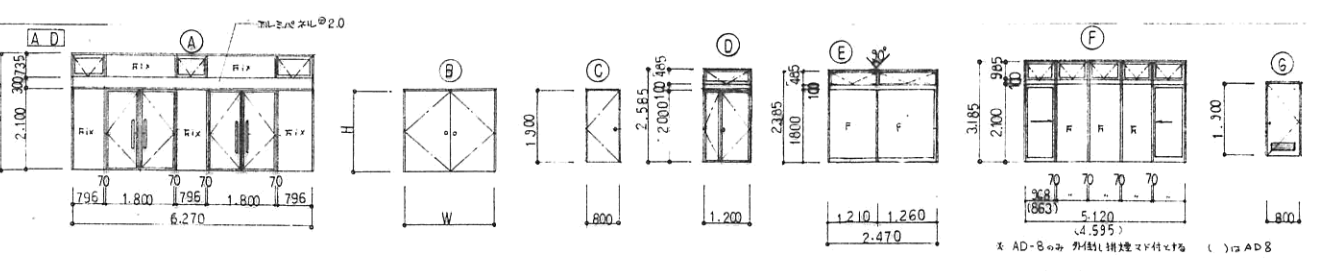
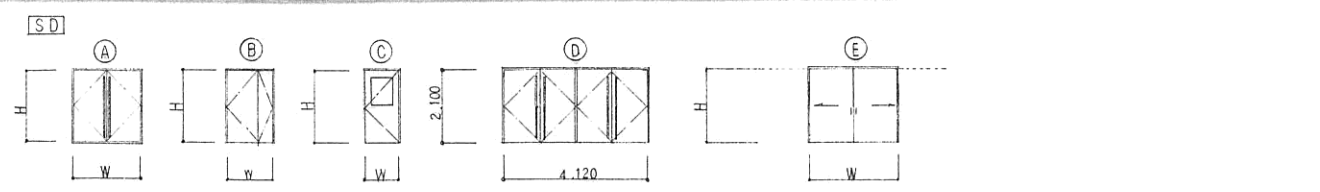
4. 丁番は3枚吊とする。

5. 感知器連動の防火戸はレリーズまでとする。

6. 各キーの使用場所を表示したネームプレート付のキーボックスを作成のこと。

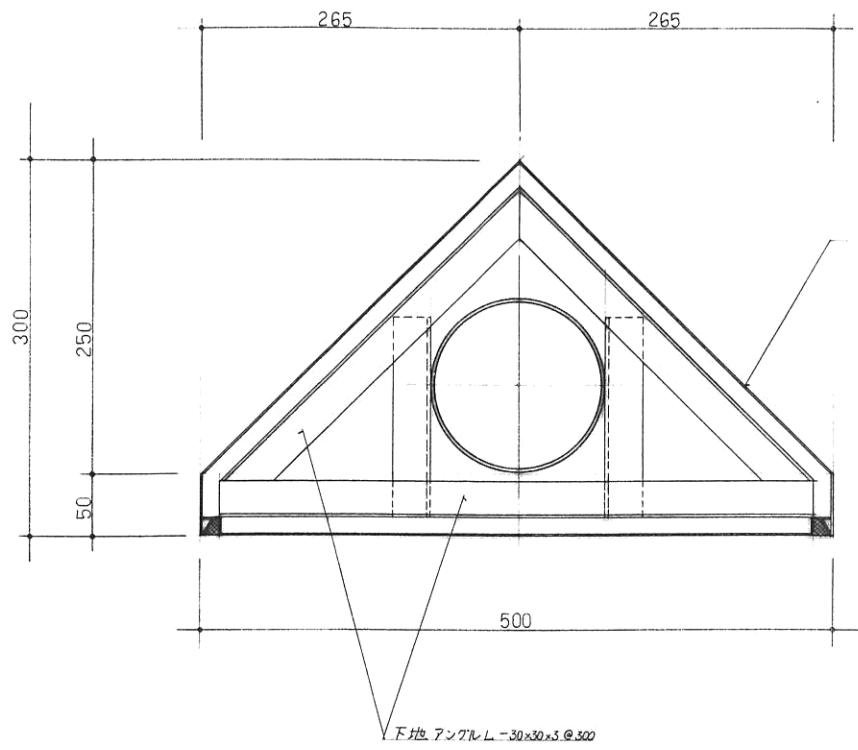
7. 木建ガタリはアルミ色付とする。

網戸付設計変更

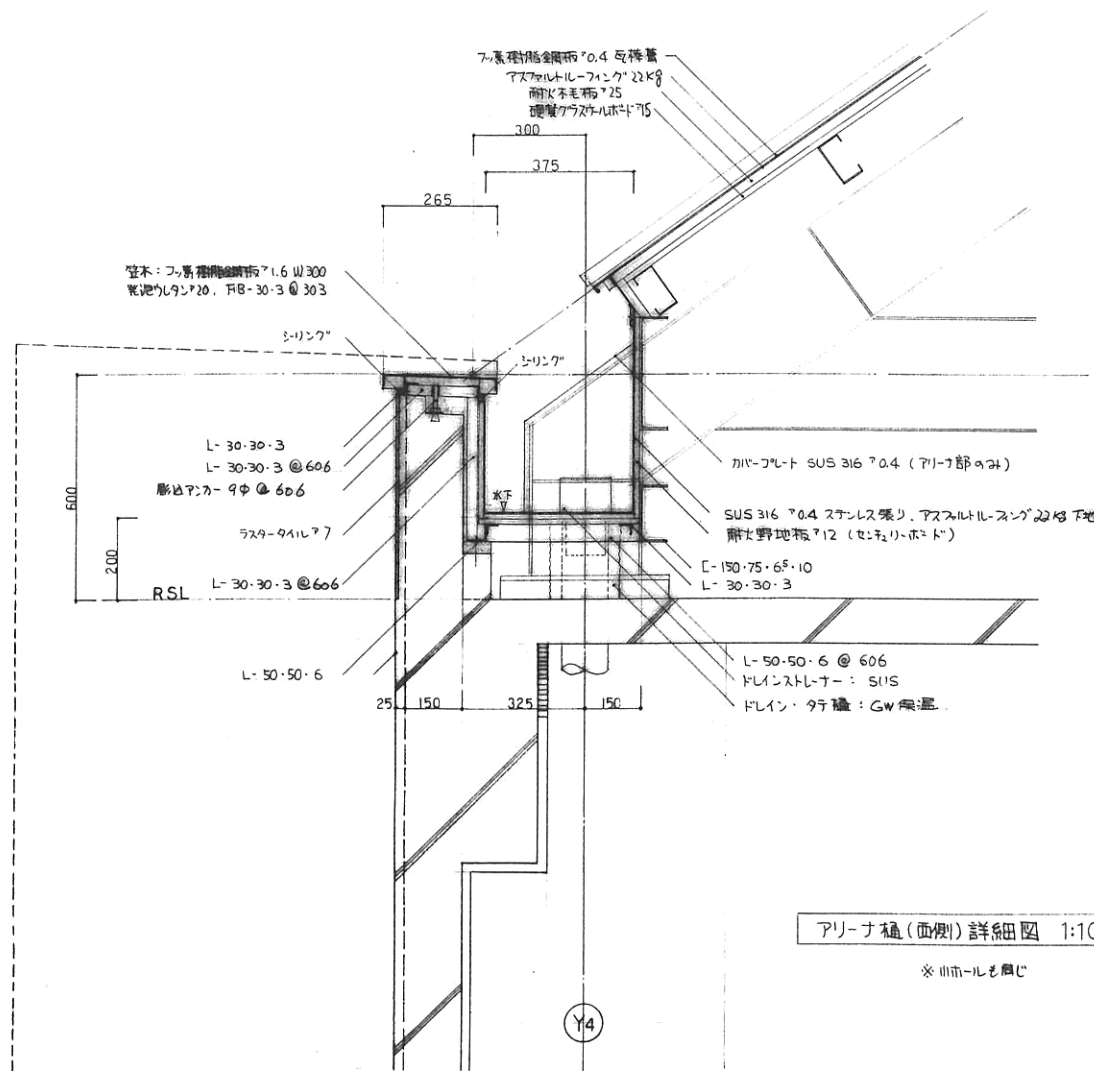
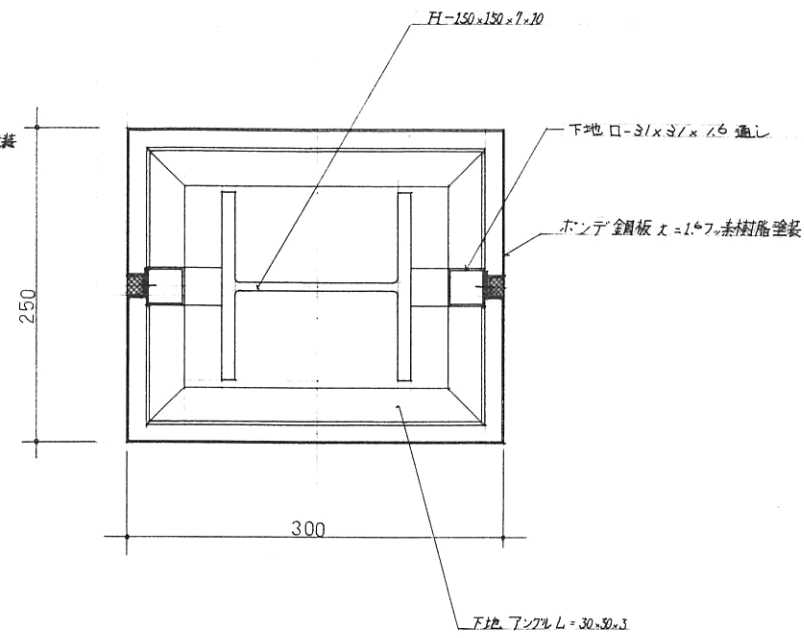


符号	図	型	式	個数	使用場所	見込	W×H	枠	仕上	硝子一厚	乾燥	取合	防音	その他	備考
AD	A	両開きフラッシュドア	6	玄関・ホール・トイレ	40	1,800 × 2,100	120	OP	A	OP					甲種防火戸(表裏両面)
AD	C	片開きフラッシュドア	2	廊下	40	800 × 2,100	120	OP	A	OP					
AD	A	両開きフラッシュドア	1	廊下	40	2,000 × 2,100	120	OP	A	OP					
AD	D	全上	1	小ホール	40	4,100 × 2,100	120	OP	B	OP					
AD	B	親子フラッシュドア	1	居室A	40	1,200 × 1,900	120	OP	B	OP					
AD	C	片開きフラッシュドア	5	居室A・居室B・居室C・居室D・居室E	40	800 × 1,900	120	OP	A	OP					6°37'傾斜防火戸(表裏両面)
AD	B	親子フラッシュドア	2	キッチン	40	1,200 × 2,100	120	OP	A	OP					平置防火戸(表裏両面)
AD	C	片開きフラッシュドア	1	小ホール上部	40	1,000 × 2,100	120	OP	B	OP					
AD	E	両開き分フラッシュドア	1	倉庫A	40	2,400 × 2,100	120	OP							
AD	E	全上	1	倉庫B	40	1,800 × 2,100	120	OP							
AD	C	片開きフラッシュドア	2	トイレ	40	750 × 1,800	120	OP	B	OP					
AD	A	両開きフラッシュドア	1	玄関	100	6,270 × 3,150			A	T-5					60°傾斜防火戸(表裏両面)
AD	B	両開きフラッシュドア	1	小ホール	100	2,000 × 2,400			A	T-5					2階防火戸(表裏両面)
AD	B	全上	2	居室A・居室B	70	1,400 × 2,400			A						
AD	C	片開きフラッシュドア	1	廊下	70	825 × 1,970			A						全上
AD	D	片開きフラッシュドア	1	玄関	70	1,200 × 2,620			A	T-5					60°傾斜防火戸(表裏両面)
AD	E	片開きフラッシュドア	1	廊下	70	2,470 × 2,385			A	F-5					全上
AD	F	片開きフラッシュドア	2	アリーナ	70	5,120 × 2,100			A	F-5					
AD	F	片開きフラッシュドア	1	アリーナ	70	4,535 × 3,155			A	F-5					60°傾斜防火戸(表裏両面)
AD	G	片開きフラッシュドア	1	玄関	70	800 × 1,800			A						2階防火戸(表裏両面)
AD	A	アルミガラス	2	ステージ上部	70	1,350 × 1,350									

符号	図	型	式	個数	使用場所	見込	W×H	枠	仕上	硝子一厚	乾燥	取合	防音	その他	備考
AW	A	片開きフラッシュドア	FIX	3	居室A	70	4,070 × 3,400		A	F-5					
AW	B	片開きフラッシュドア	FIX	4	居室A	70	2,780 × 900		A	F-5					
AW	C	片開きフラッシュドア	FIX	1	居室A	70	4,670 × 3,200		A	F-5.6					
AW	D	片開きフラッシュドア	FIX	1	居室A	70	4,095 × 1,400		A	F-5					
AW	E	片開きフラッシュドア	FIX	1	居室A	70	2,070 × 1,000		A	F-5					
AW	K	片開きフラッシュドア	FIX	5	居室A	70	4,070 × 1,000		A	P-6					60°傾斜防火戸(表裏両面)
AW	F	片開きフラッシュドア	FIX	2	居室A	70	1,000 × 1,000		A	P-6					
AW	J	片開きフラッシュドア	FIX	1	居室A	70	4,120 × 2,000		A	D-B					内部不透明
AW	J	全上	1	小ホール	70	4,055 × 2,100			A	D-B					全上
AW	G	片開きフラッシュドア	FIX	1	居室A	70	3,890 × 2,100		A	F-5					
AW	H	片開きフラッシュドア	FIX	8	アリーナ	70	5,070 × 3,200		A	F-5					60°傾斜防火戸(表裏両面)
AW	I	片開きフラッシュドア	FIX	2	アリーナ	70	4,210 × 3,200		A	F-5					
AW	Fix	片開きフラッシュドア	FIX	2	倉庫A	70	1,200 × 1,700		A	P-6					
AW	Fix	片開きフラッシュドア	FIX	4	倉庫A	70	1,280 × 860		A	P-6					
AW	Fix	片開きフラッシュドア	FIX	1	倉庫A	74	11,000 × 5,300		A	F-12					
STW	B	片開きフラッシュドア	FIX	1	居室A	60	4,400 × 1,100		SUS304	F-5					
STW	A	片開きフラッシュドア	FIX	1	アリーナ	50	1,800 × 450		SUS304	T-5					
STW	A	片開きフラッシュドア	FIX	1	アリーナ	50	2,500 × 1,200		SUS304	T-5					
APT	A	片開きフラッシュドア	FIX	2	居室A	50	1,850 × 2,400								
APT	A	片開きフラッシュドア	FIX	2	廊下	900	900 × 900								アクリル樹脂(表裏両面)

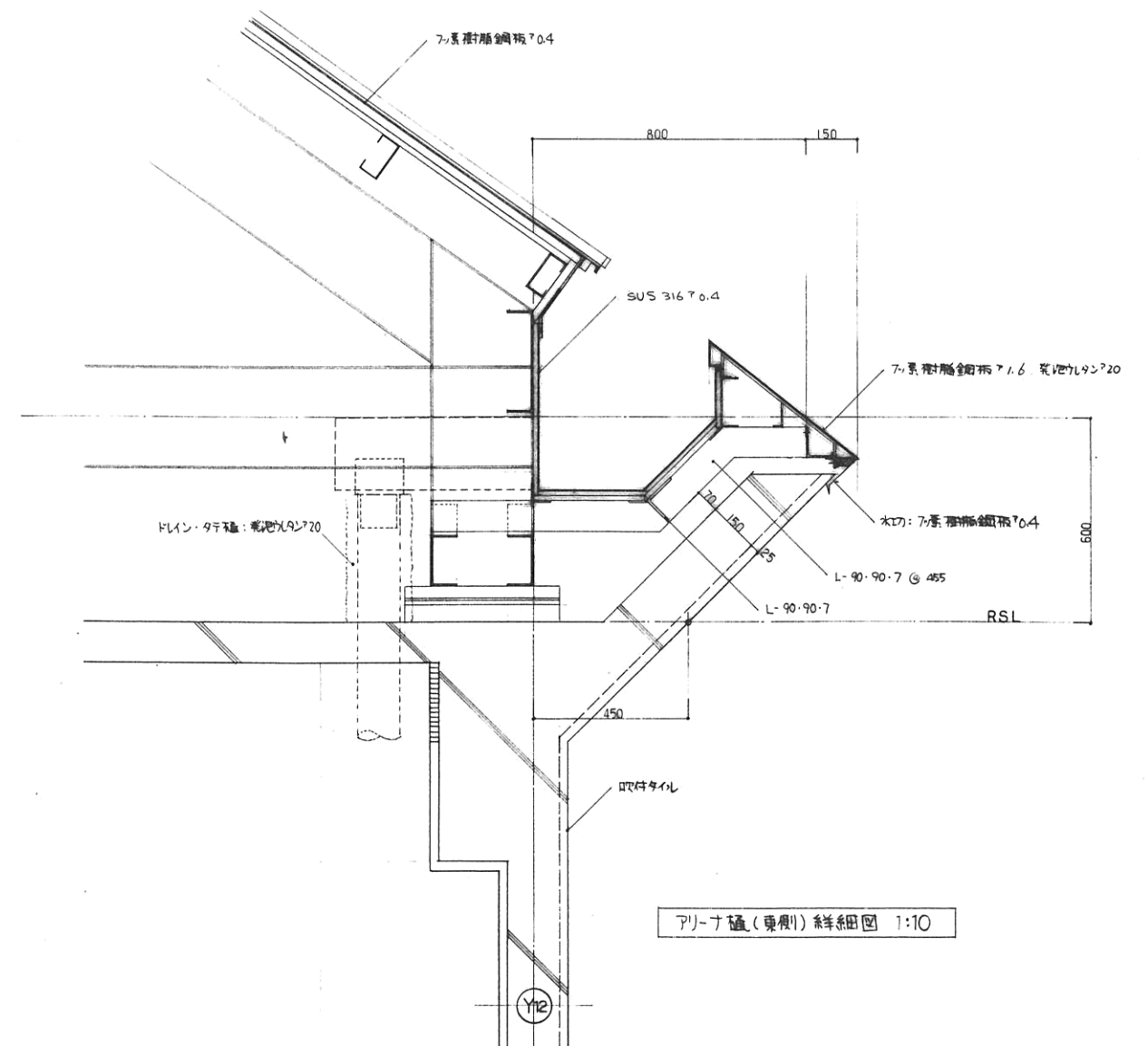


ボンデ鋼板 t=1.6 素樹脂塗装



ア-1ナ植(西側)詳細図 1:10

※山形-ルも同じ

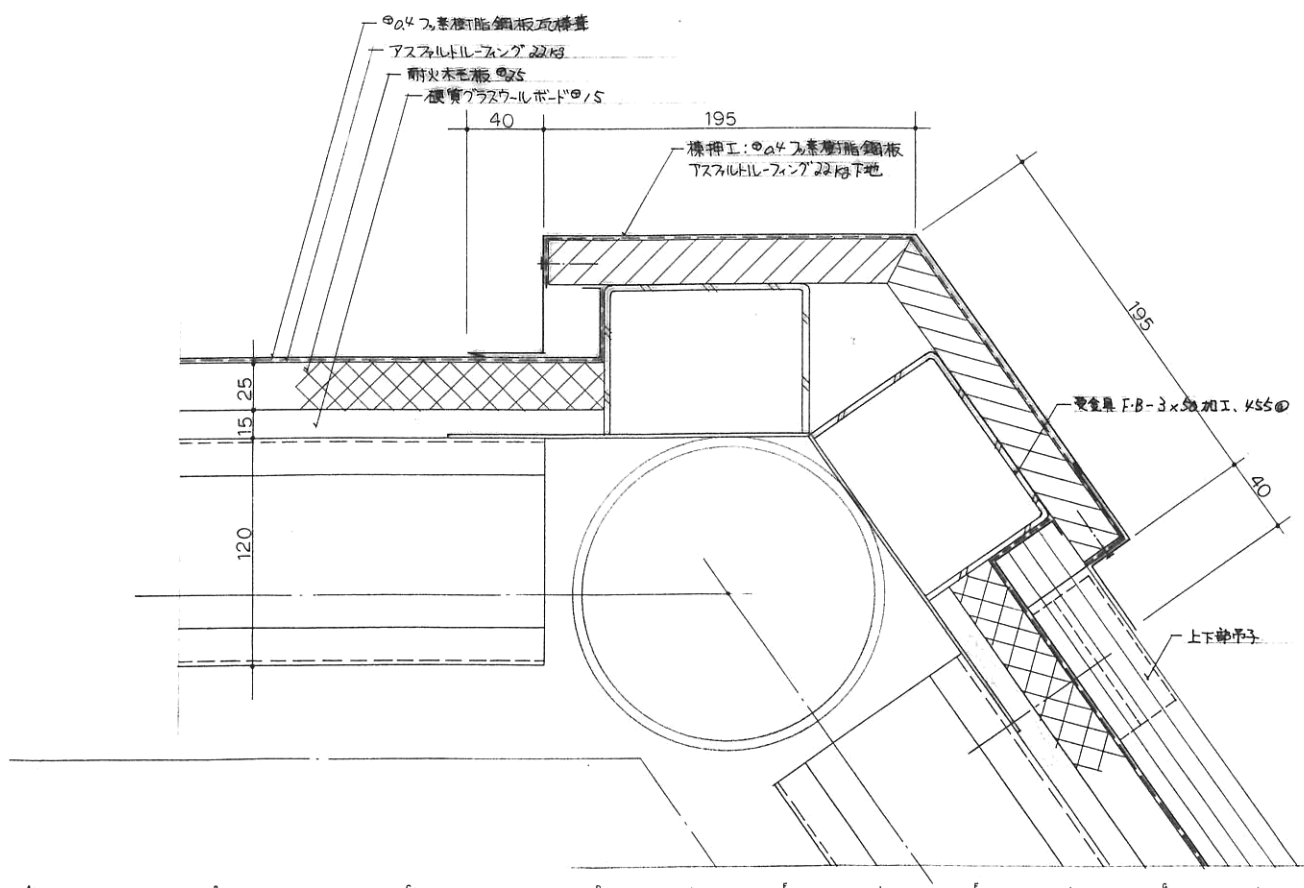
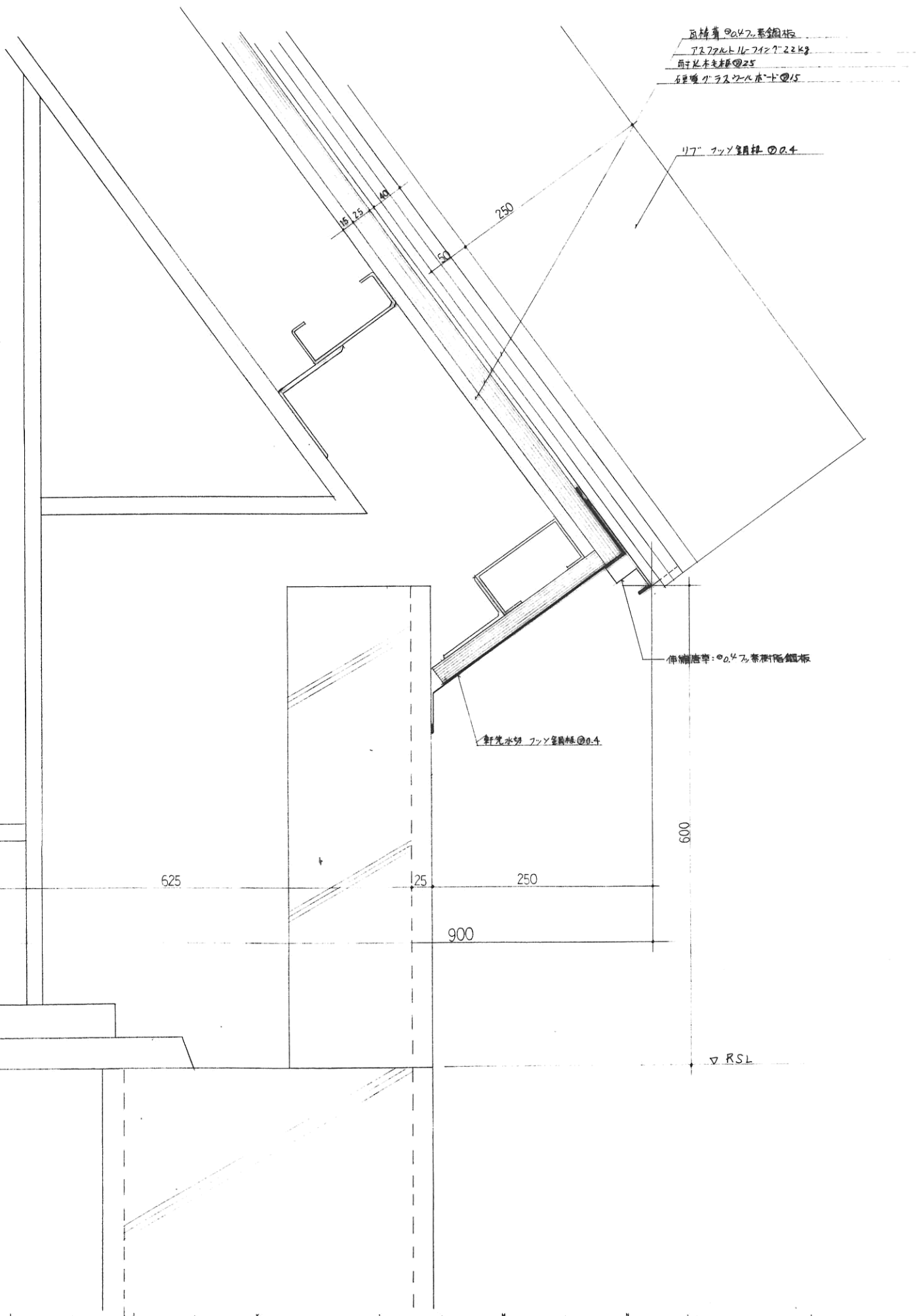
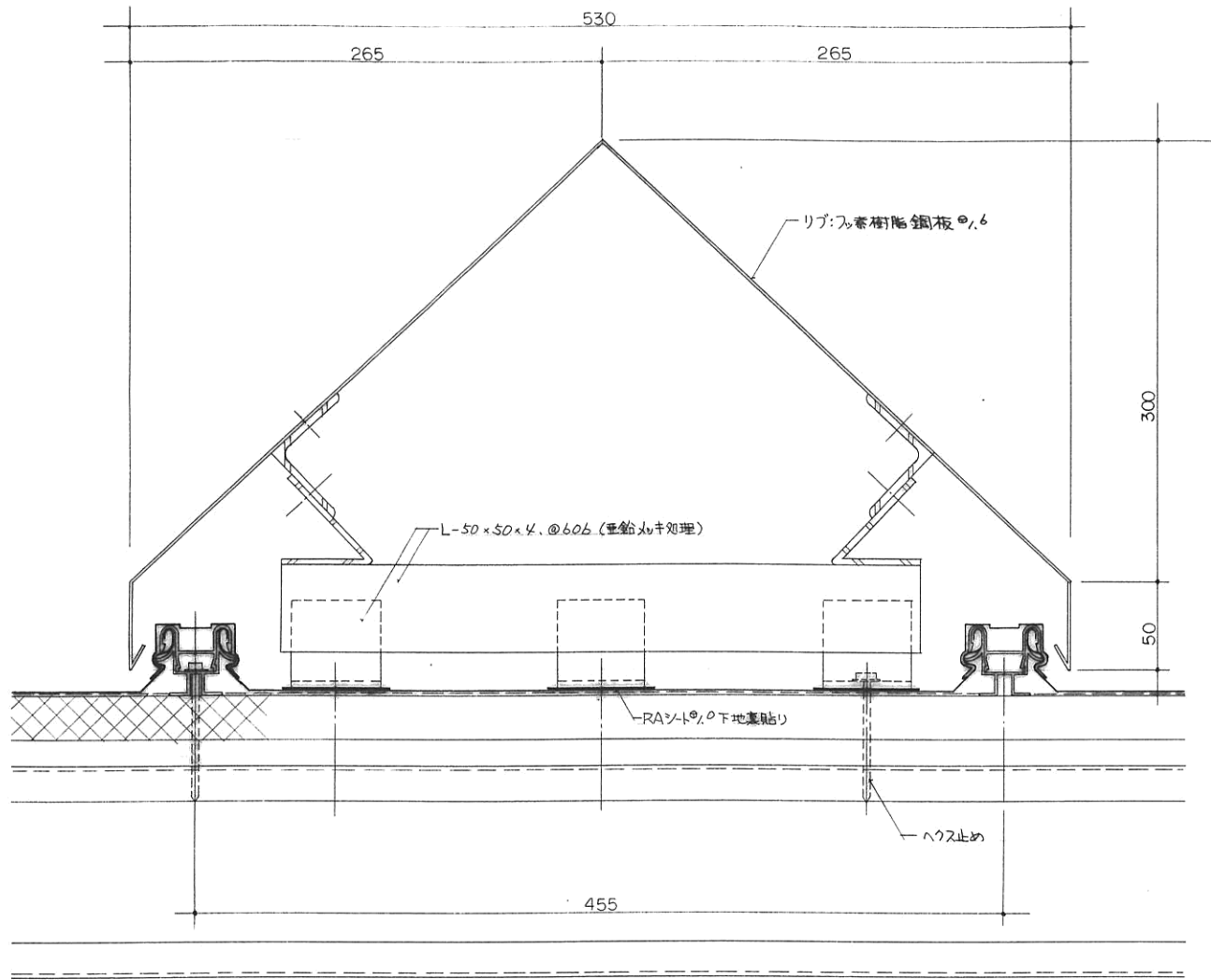


ア-1ナ植(東側)詳細図 1:10

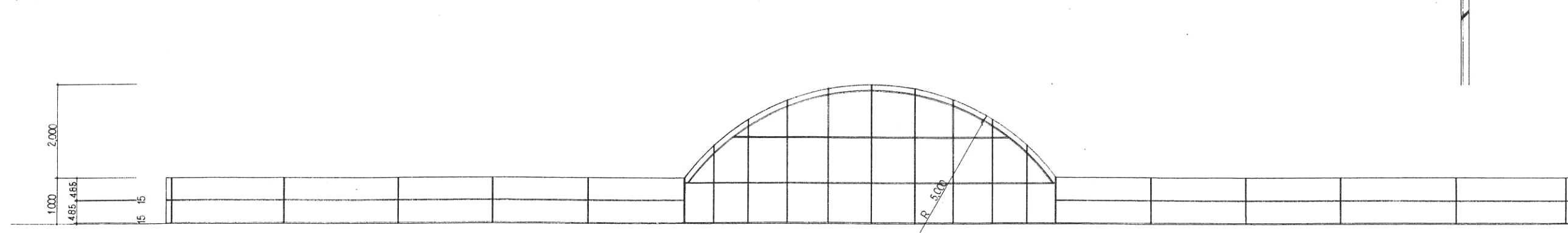
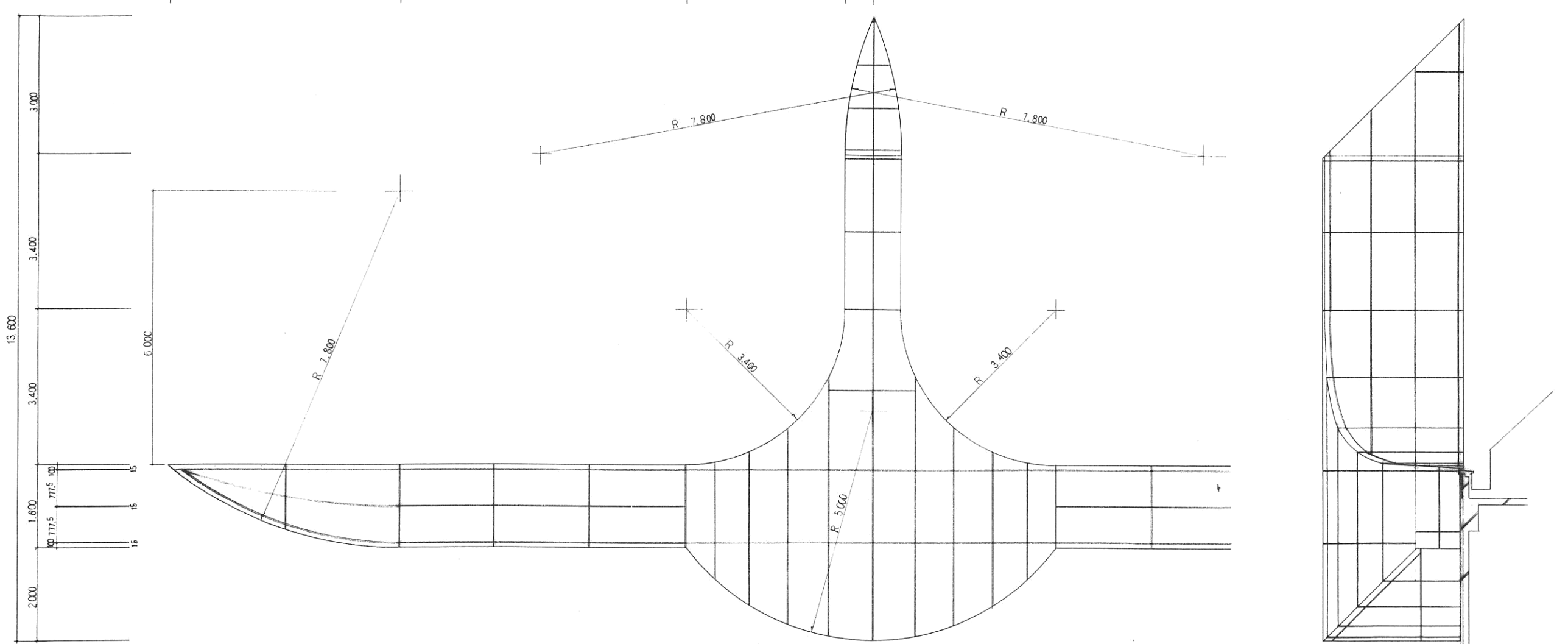
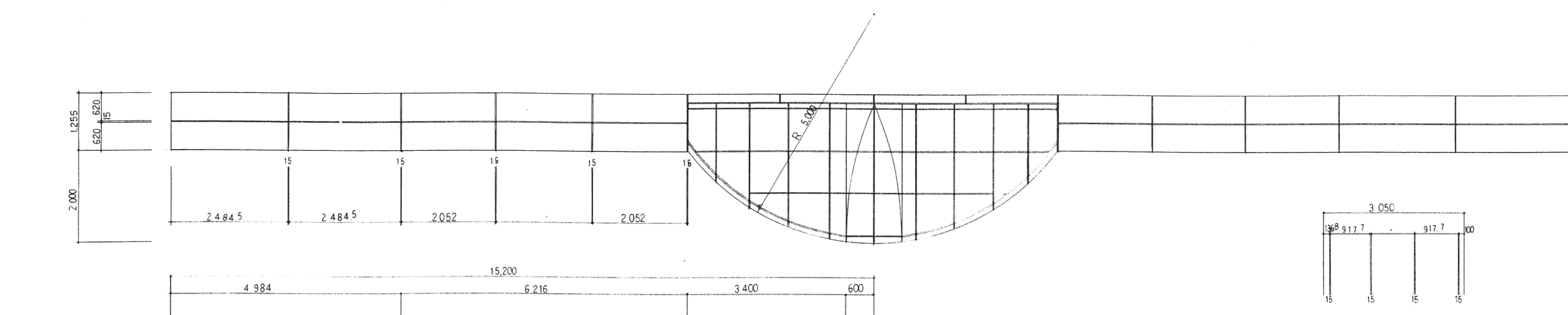
備考	
----	--

整理番号

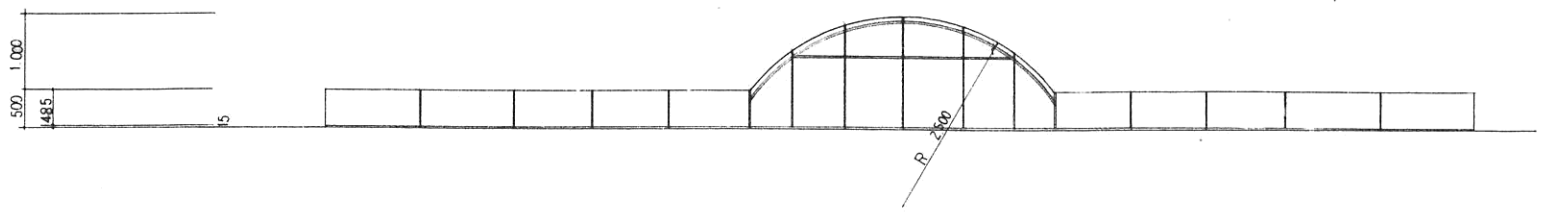
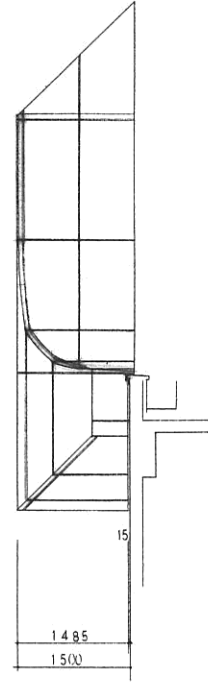
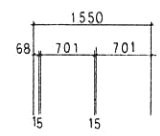
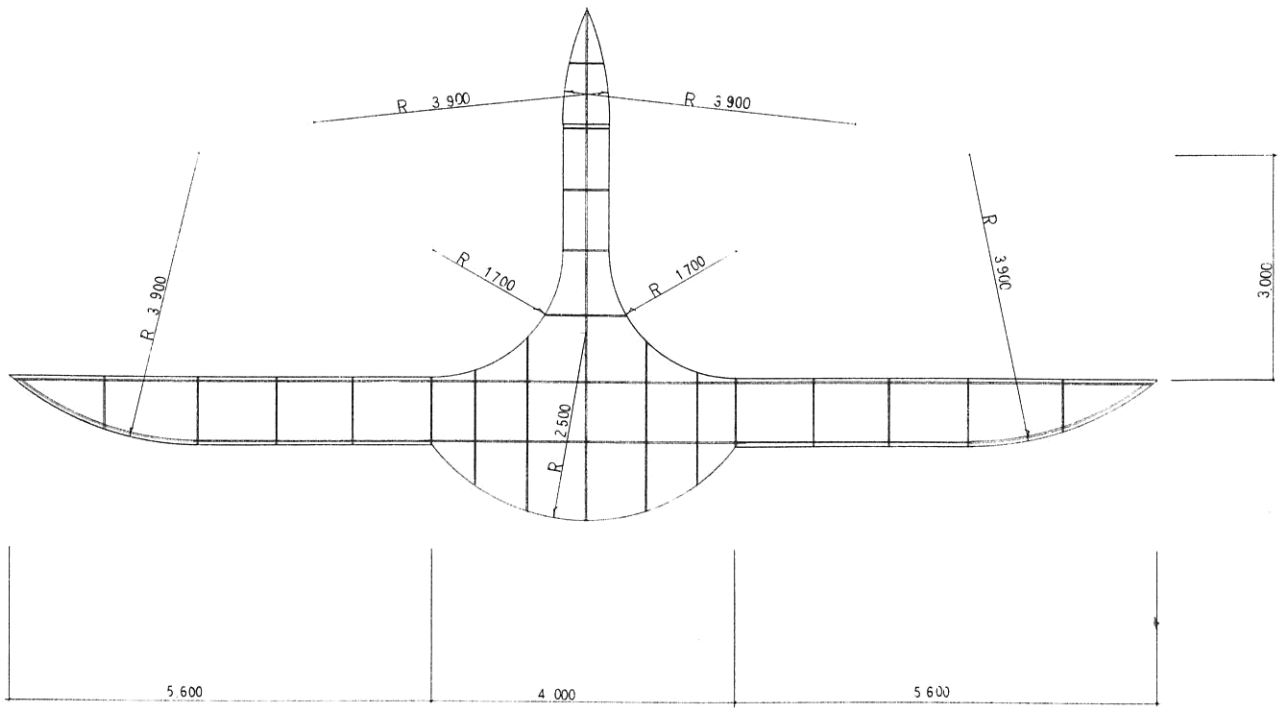
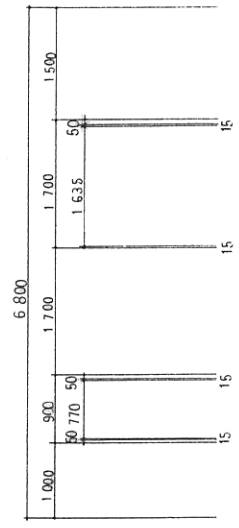
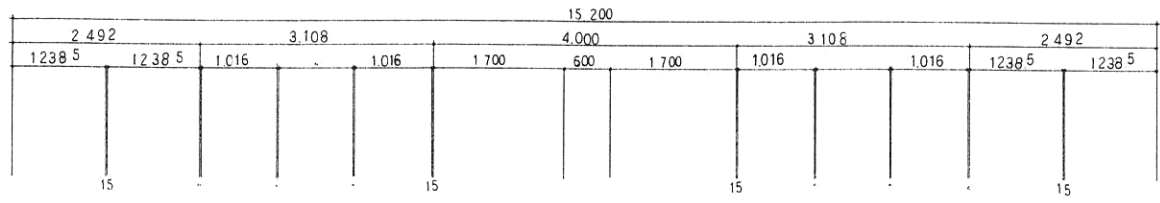
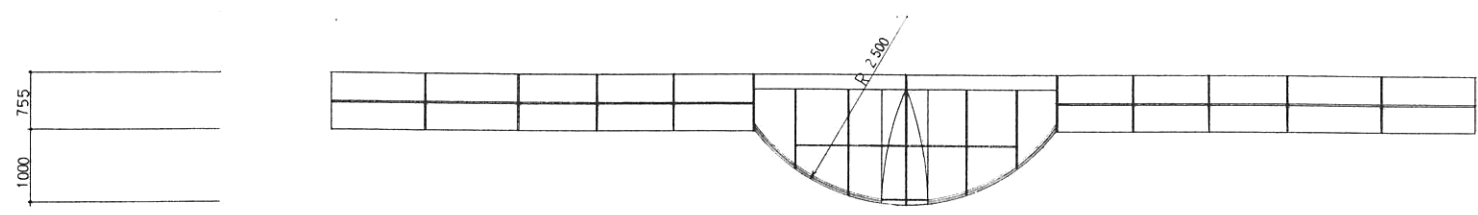
設計年月日	全葉	No.	工事名	工事
89.3	53	32	下田町町民交流センター(仮称)	
図面名称			屋根詳細図(1)	Scale 1/1



備考	整理番号	設計年月日	全葉	No.	工事名	工事
		89.3	53	33	下田町町民交流センター(仮称)	
					図面名称	Scale
					屋根 詳細図 (2)	1/2 1/3



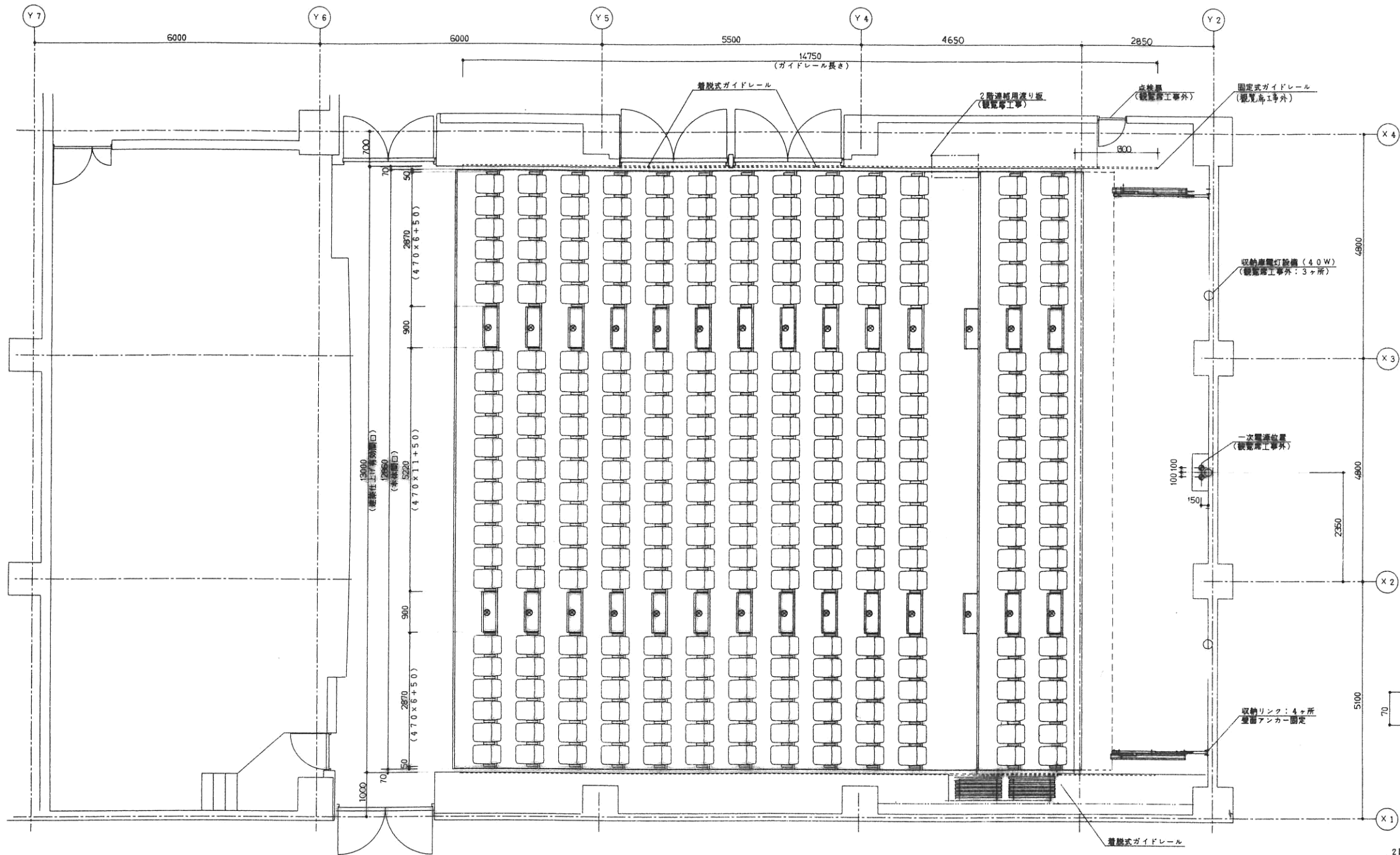
備考	整理番号	設計年月日	全葉	No.	工事名	下田町町民交流センター(仮称)	工事
		89.3.	53	34	図面名称	モニュメント詳細図(1)	Scale 1/50



備考

整理番号

設計年月日	全葉	No.	工事名	下田町町民交流センター(仮称)	工事
89.3.	53	35	図面名称	モニュメント詳細図(2)	Scale 1/50



ロールバックチェアスタンド 電動式移動観覧席 RCS-22-03 S=1/50

間口 12860mm 15段(椅子段13段 横通路段 階段含ム)
 席数 299席 1人間口 470mm

本体主要部材

支柱	100×50×t3.2 角鋼管	合成樹脂被付塗装仕上(標準色)
ローラーカバ	105×60×t3.2 鋼板曲げ加工品	合成樹脂被付塗装仕上(標準色)
アーム	120×50×t3.2 鋼板曲げ加工品	合成樹脂被付塗装仕上(標準色)
プレッシング	50×50×t2.3 角鋼管	合成樹脂被付塗装仕上(標準色)
貫材	150×75×t3.2 リップ鋼形鋼	合成樹脂被付塗装仕上(標準色)

床
 床踏み板 t1.6 亜鉛鋼板曲げ加工品
 フロントノーズ t2-t2.5 アルミ押出型材 電解着色仕上(ブロンズ)
 ノンスリップタイヤ 塩ビ押出成形品 (黒色)
 床面仕上げ材 ニードルパンチカーペット (標準品選定)
 フロントパネル t1.6 鋼板曲げ加工品 合成樹脂被付塗装仕上(標準色)
 ベースカバー t1.2 鋼板曲げ加工品 合成樹脂被付塗装仕上(標準色)
 エンドパネル t12 ポリエステル化粧合板 (標準色)
 走行ローラー φ130 ウレタンゴム製

その他

足下灯 28個(非常電源内蔵型) 省電誘導灯
 制御盤 W:800 D:350 H:1650
 駆動モーター 0.4Kw 4台
 駆動方法 自走式
 操作方法 リモートスイッチ
 スライディングウォール W:1000mm H:3800mm-13枚
 ガイドレール(着脱式12)

観覧席工事外

点検扉 W:800 H:1900

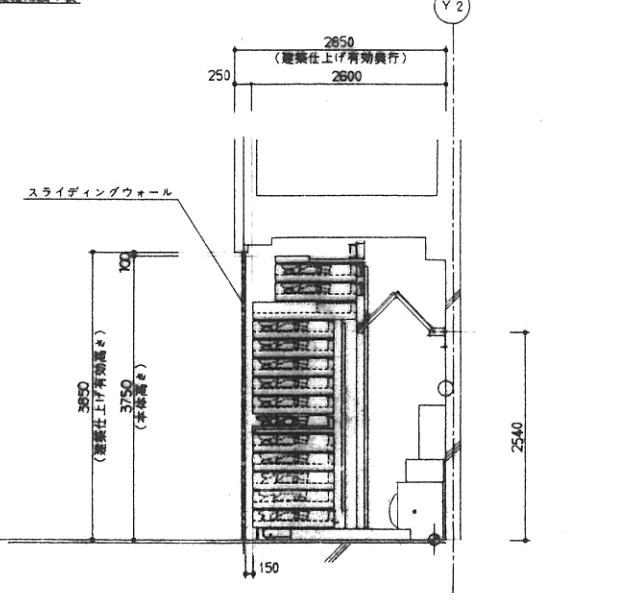
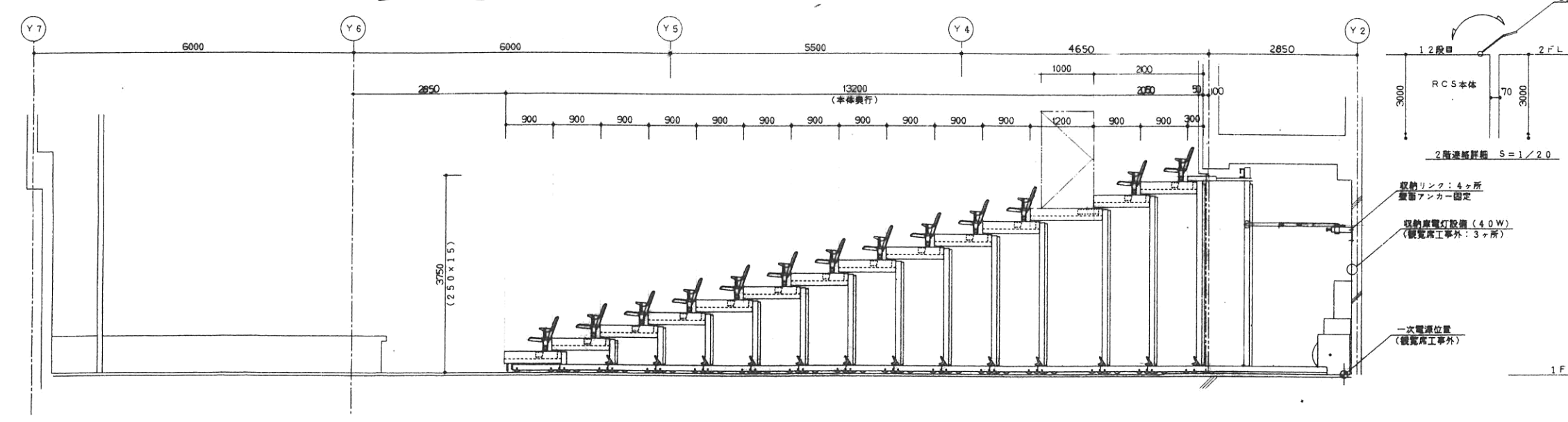
1次電源架設

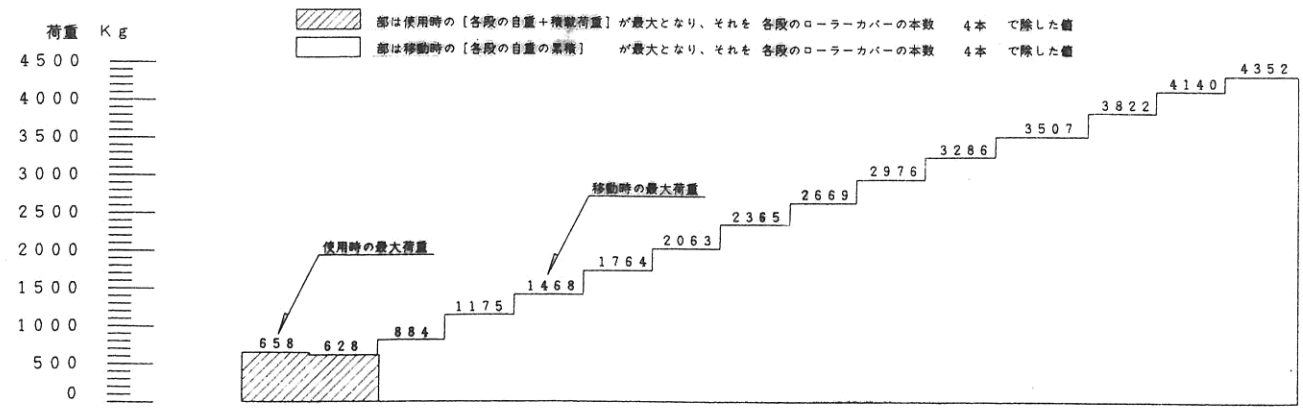
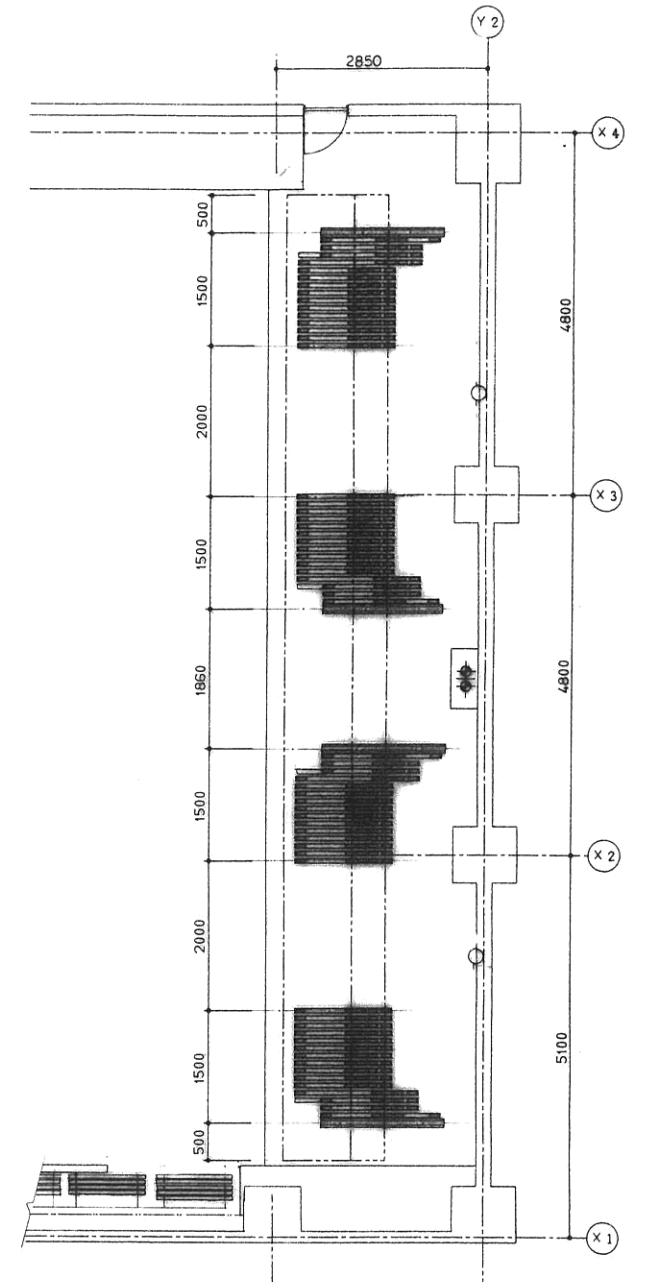
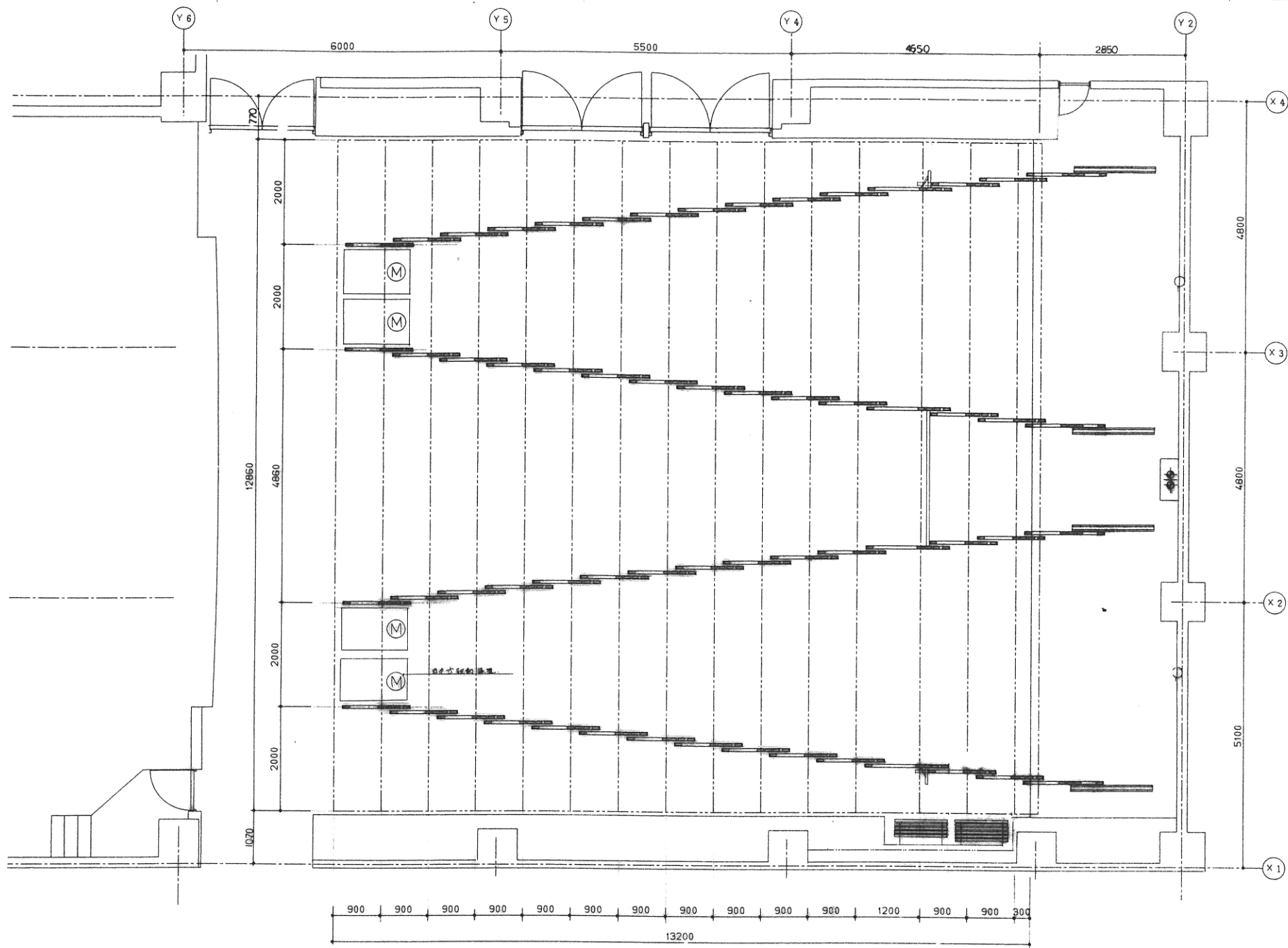
単相 100V 1KVA(アース込み 非常電源込み)
 3相 200V 6KVA(アース込み)
 収納庫電灯設備 40W:3ヶ所
 スライディングウォール収納庫:1ヶ所
 ガイドレール(固定式の他)
 建築仕上げ(収納部分) コンクリート仕上げ
 建築床仕上げ

設置階 1階

ガイドローラ詳細 S=1/5

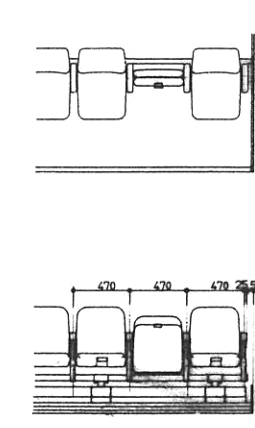
着脱式ハ横観覧席工事トス
 ソノ他ハ観覧席工事外トス





	1 段目	2 段目	3 段目	4 段目	5 段目	6 段目	7 段目	8 段目	9 段目	10 段目	11 段目	12 段目	13 段目	14 段目	15 段目
各段の重量	1252	1132	1152	1104	1172	1184	1196	1208	1216	1228	1240	884	1260	1278	848
使用時の最大荷重	658	628	633	636	638	641	644	647	649	652	655	566	660	663	212
移動時の最大荷重	313	596	884	1175	1468	1764	2063	2365	2669	2976	3286	3507	3822	4140	4352

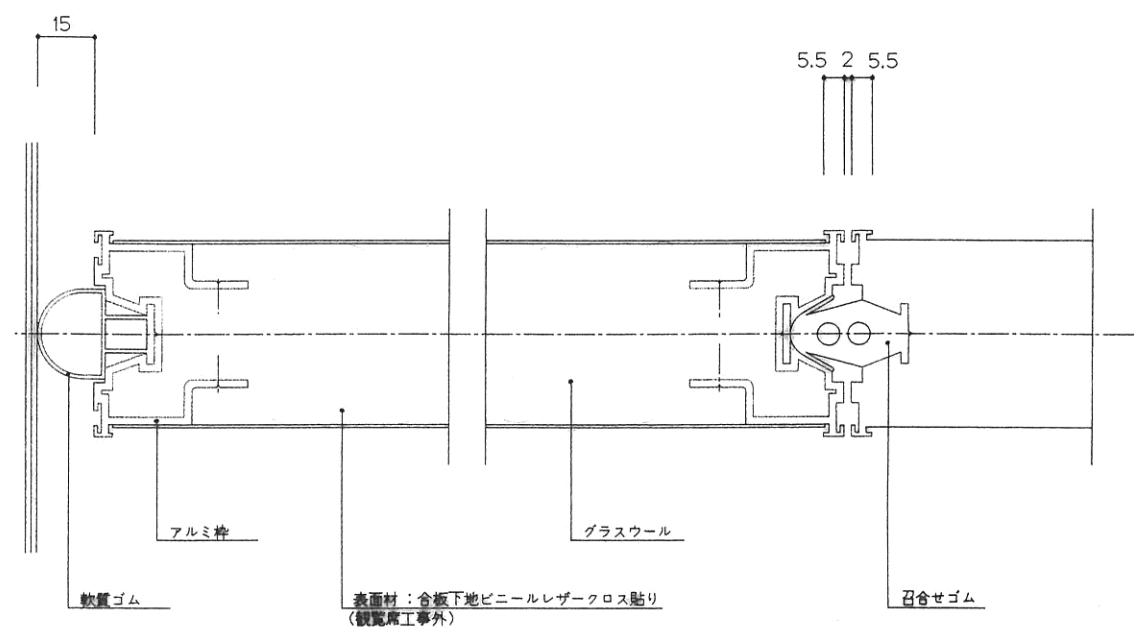
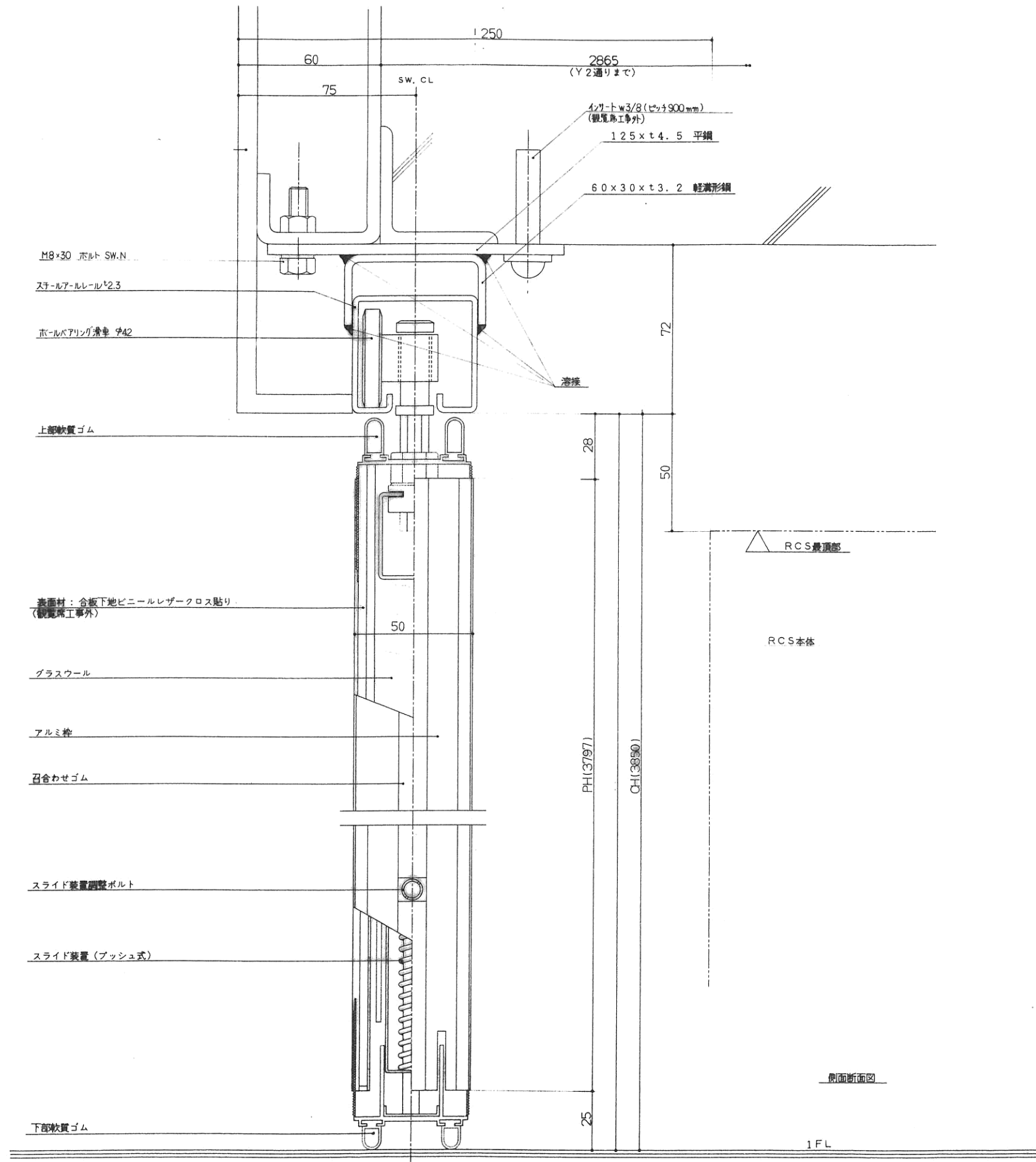
ローラー1列(1部)あたりにかかる各段の最大荷重 (Kg/1ヶ所) 単位 Kg



電動式移動観覧車 専用用連結椅子 (背・座・肘連動スプリングレス自動折り畳み式) S=1/30
 椅子主要部材
 上蓋部 KW (標準品選定)
 背 フレックフォーム入り張り込み
 背座下部 鋼板プレス加工品 合成樹脂焼付塗装仕上(標準色)
 座 鋼管曲げ加工フレーム アルマフレックス フレックフォーム入り張り込み
 肘 ABS樹脂成形品(黒色)
 肘支柱 アルミ合金ダイキャスト 合成樹脂焼付塗装仕上(標準色)
 連結材 50×50×t.2.3 角鋼管 合成樹脂焼付塗装仕上(標準色)
 脚支柱 50×50×t.3.2 角鋼管 合成樹脂焼付塗装仕上(標準色)

電動式移動観覧車 RCS-22-03 荷重分布図 S=1:50

本体総重量	17408 Kg
積載時総重量	35348 Kg (本体総重量+60Kg×299人)



スライディングウォール詳細図 S=1/1

備考	整理番号	設計年月日 89.3	全業 53	No. 39	工事名 下田町町民交流センター(仮称)	工事 図面名称 移動式観覧席 詳細図(3)Scale 1/1
----	------	---------------	----------	-----------	------------------------	--------------------------------------

舞台機材仕様書

1. 各機器の構成と仕様

- 1. 吊物装置
 - 1-1. 電動機 JIS規格合格品とし、メーカーリストによる。
 - 1-2. 減速機 ウォーム式減速機とする。ウォーム軸は機械構造用炭素鋼(S45C)を用い、熱処理加工を行うこと。ウォームホイールは、アルミ青銅又は特殊アルミ青銅を使用する。すべて精密に機械切りをした上、油封型ギヤケース内で潤滑油に浸透させながら回転させるものとする。
 - 1-3. 制動機 直流用電磁コイルを使用し、鉄芯の電磁作用により運転時に解放する一方、停止は電流遮断と同時に一對のブレーキシューが強力な電磁でブレーキドラムを拘束することにより行なわれるものとする。
 - 1-4. ワイヤードラム ドラム有効直径は使用ワイヤードラム径の40倍以上の直径を有する製鋼構造又は鋼製とする。ロープ溝は使用ロープ径に適した寸法の機械加工を施すこと。
 - 1-5. 枕溝車及び方向滑車 良質な鋼製とし、軸部ボールベアリング入りで給油を必要とせず、且つ騒音を生じないものとする。又使用ワイヤードラム直径の20倍以上の直径を有するものとする。
 - 1-6. ワイヤードラム JIS規格に合格した柔軟鋼索、中心導入管を通り、保圧断力は吊物自重と荷重の合計10倍以上とする。併し使用するワイヤードラムの最小太さは4mmとする。
 - 1-7. リミット ワイヤードラム昇降用巻上機ドラム軸に直結されたウォーム式リミットスイッチとし、上層、下層の停止指令及び過巻防止をも正確に行える構造とし調整が容易に出来ること。
 - 1-8. バトンパイプ 一般構造用鋼管を使用し、継手は芯パイプを用い溶接を行う。端部には軟質材キャップを取り付ける。
 - 1-9. カーテンレール 正確に製作された特殊形鋼、又はアルミ形材を使用し、幕開閉が円滑に行なえること。
 - 1-10. キャリアローラ 硬質ゴム及びアルミニウム、又はナイロンよりなり、軽量で且つ強固な構造とし、開閉時に騒音が生じない構造とする。
 - 1-11. 機械台 電動機、制動機、減速機、その他の部品を正確に組み立てられ自重及び荷重に充分耐えられる強度を有する形鋼製鋼材とすること。
 - 1-12. 手動ウィンチ 各荷重の昇降に支障のない強度を要する構造で、停止時自然落下せぬメカニカルブレーキ付とする。

II. 制御盤及び操作盤

制御盤はノーヒューズブレーカー電磁閉閉器等を鋼板製パネルに取り付け各装置の使用目的に適した主回路及びモーター回路の制御を行う。
 操作盤は、押印、表示灯、キースイッチ等を取り付け、各電動昇降装置の操作をするものでパネルに組み込むものとする。

III. 舞台諸事

一般事項

- 1) 本工事は仕様書に記載された各機器の製作し、所定の位置に取り付け調整するものとし、係員立ち会い検査合格後、引き渡しを行う。
- 2) 施工に際し、消防法に基づき防災処理を充分に施し、消防署の検査合格品とすると同時に、納入引き渡し時に各事柄にステッカーを貼り付けること。
- 3) 各布地は見本を提出し、係員の承認を受けた後、染色仕立てを行うこと。
- 4) 幕上端には補強テープを人念に取り付け、吊り下げに必要な紐を約300ピッチに設け、人念に仕立てること。設計図中リストに準ずる。

細部事項

IV. 指定業者

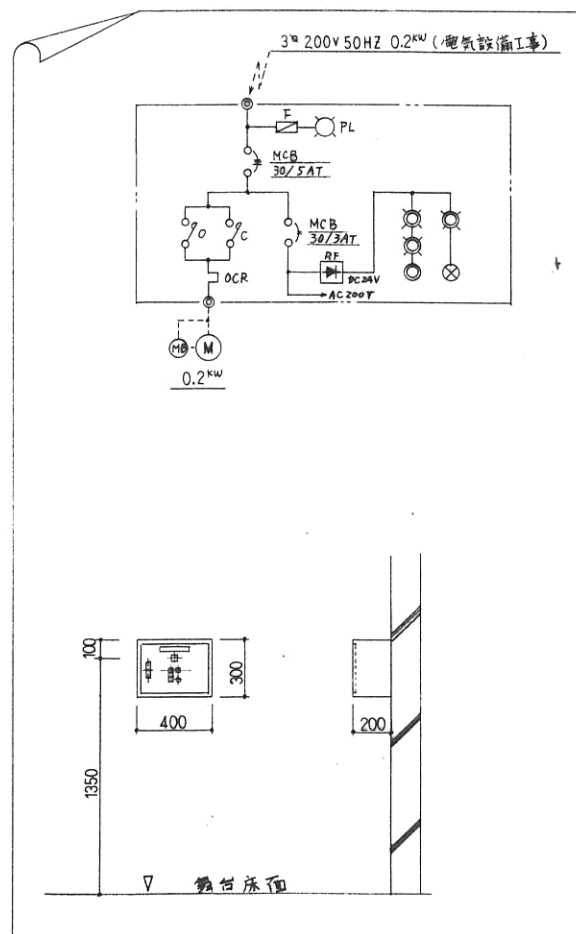
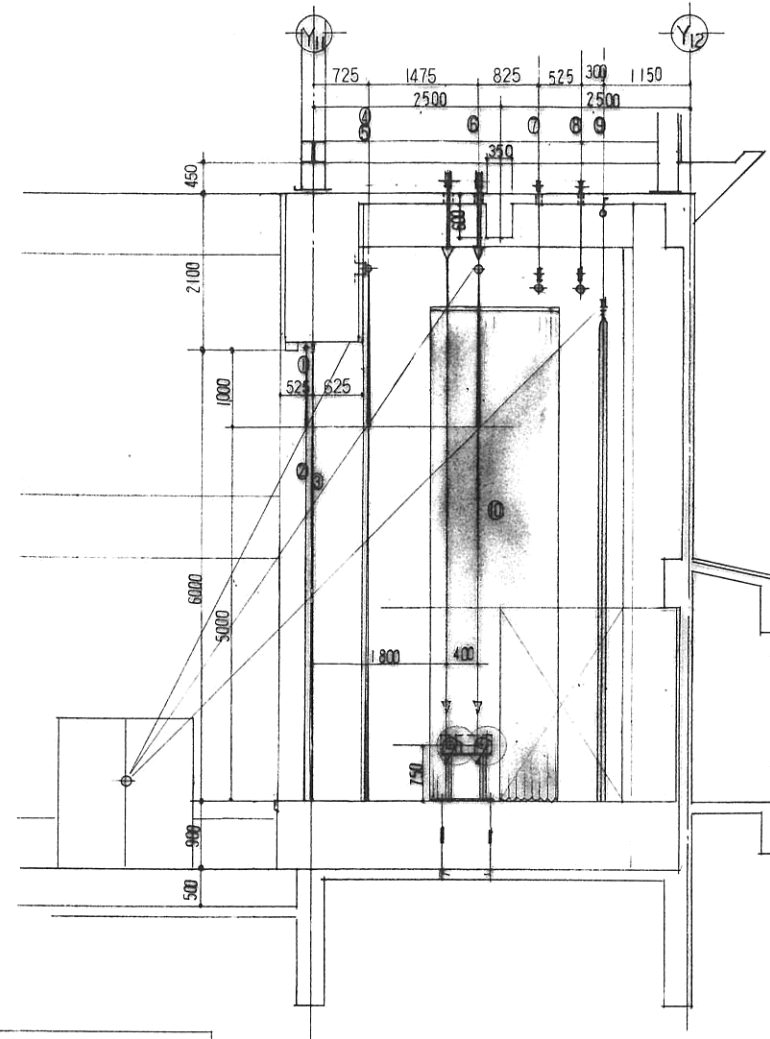
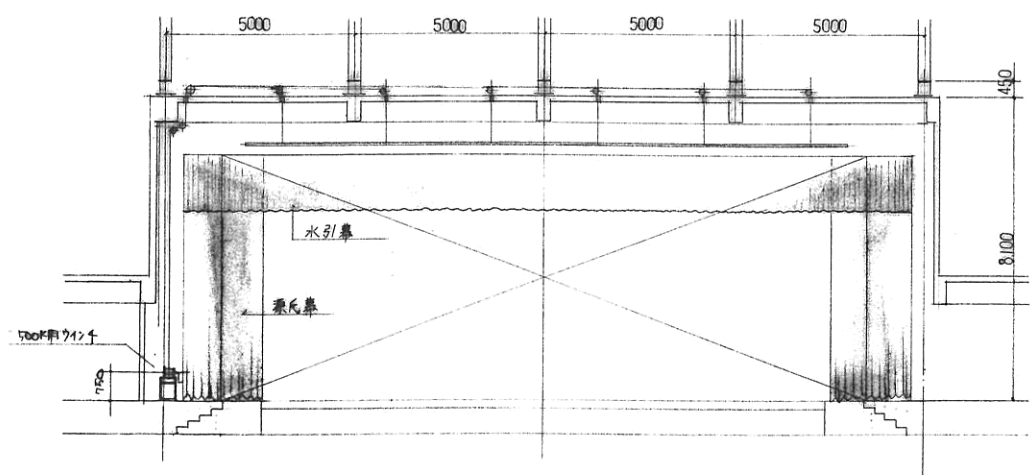
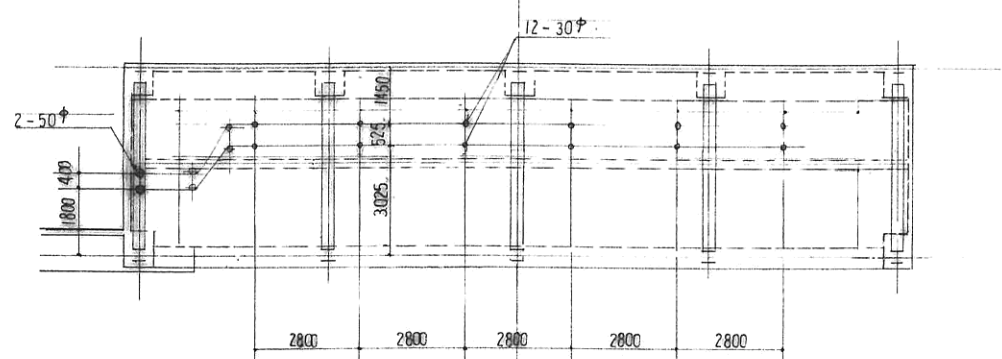
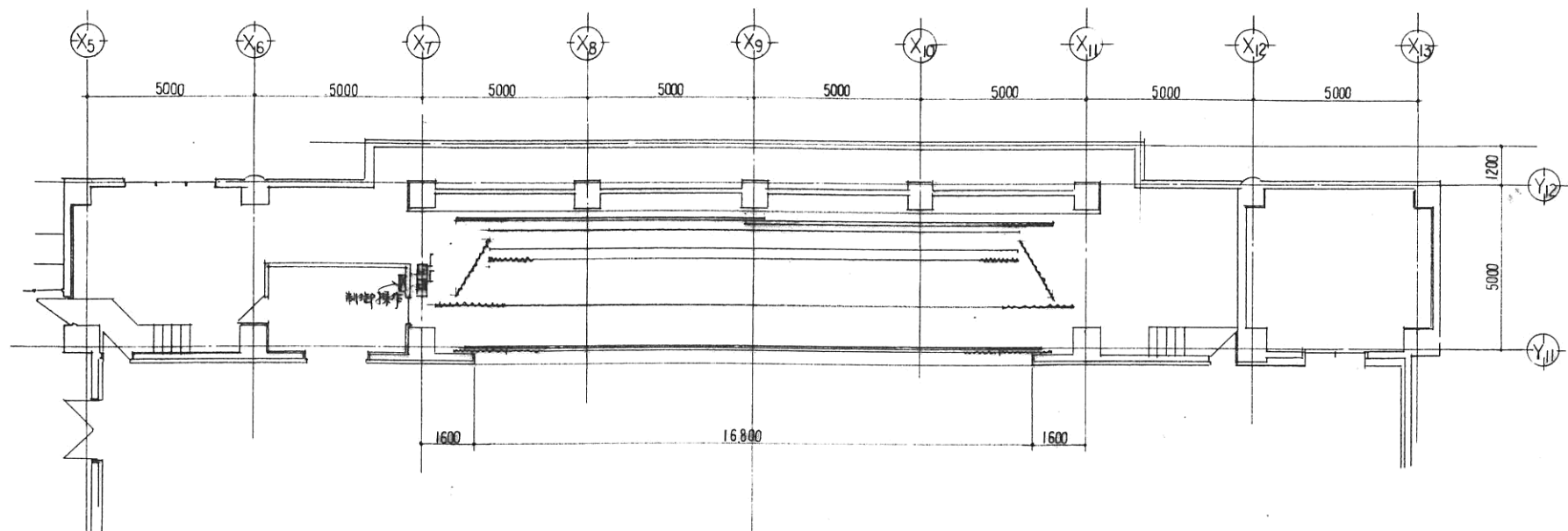
サンセイ(株)、松下電工(株)、三精工ササズ(株)

V. メーカーリスト

電動機	御東芝	三菱電機	日立製作所
減速機	サンセイ	御シンコー製作所	
制動機	サンセイ		
滑車	サンセイ		
ワイヤードラム	東京製鋼		
鋼材	新日本製鉄系列		
パイプ	日本鋼管		
ブレーカー・開閉器	富士電機製造	三菱電機	
押印	富士電機製造	三菱電機	和泉電気
電材	松下電工、住友電機工業(株)、熊倉電線(株)、古河電工(株)、昭和電線(株)		
制御盤・操作盤	サンセイ		

VI. 工事区分表

	建築	電気	舞台	舞台	舞台	映写	その他
	主	主	主	主	主	主	主
	体	体	体	体	体	体	体
ブドーム(大巻・滑車ビーム・スノ子・99.27)	○						
ブドーム埋設材搬入口	○						
電動機取付架台			○				
一次側電源供給工事		○					
制御盤一次側電源供給接続工事			○				
制御盤二次側配線工事			○				
吊物制御盤・操作盤			○				
制御盤〜操作盤間配線工事			○				
ライトボタン(フライダクト上段パイプ)			○				
同上フライダクト及電源供給ケーブル工事				○			
舞台諸事工事							○
舞台諸事吊込・調整工事							○
造作工事							○
造作吊込・調整工事							○



略仕様

NO	名称	型式	寸法	動力	速度	備考	幕地(別途)
1	水引幕	固定吊	27.2 x 18000				黄八別荘 18000 x 1000 x 2 [#] 4
2	源氏幕		x 1600				1600 x 6000 x 2 [#] 4
3	引釣緩機	固定吊電動機内付	76S形 x 17400	0.2kW	28%in		9000 x 5500 x 2 [#] 4
4	一文字幕 No1	固定吊	27.2 x 19000				19000 x 2000 x 2 [#] 4
5	袖幕 No1		2100			一文字幕No1に共吊	2100 x 7000 x 2 [#] 4
6	一文字幕 No2		27.2 x 16000				16000 x 2000 x 2 [#] 4
7	美術ボタン No1	手動カウンタ式	42.7 x 16000			500 [#] 21=7	
8	" No2						
9	バック幕	固定吊、手動開閉	PLS形 18000				黄八別荘 9300 x 6000 x 2 [#] 4
10	袖幕 No2		27.2 x 2000				2000 x 6500 x 2 [#] 4

備考

整理番号

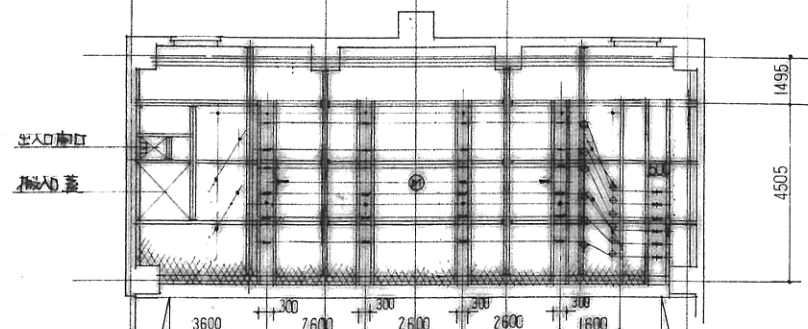
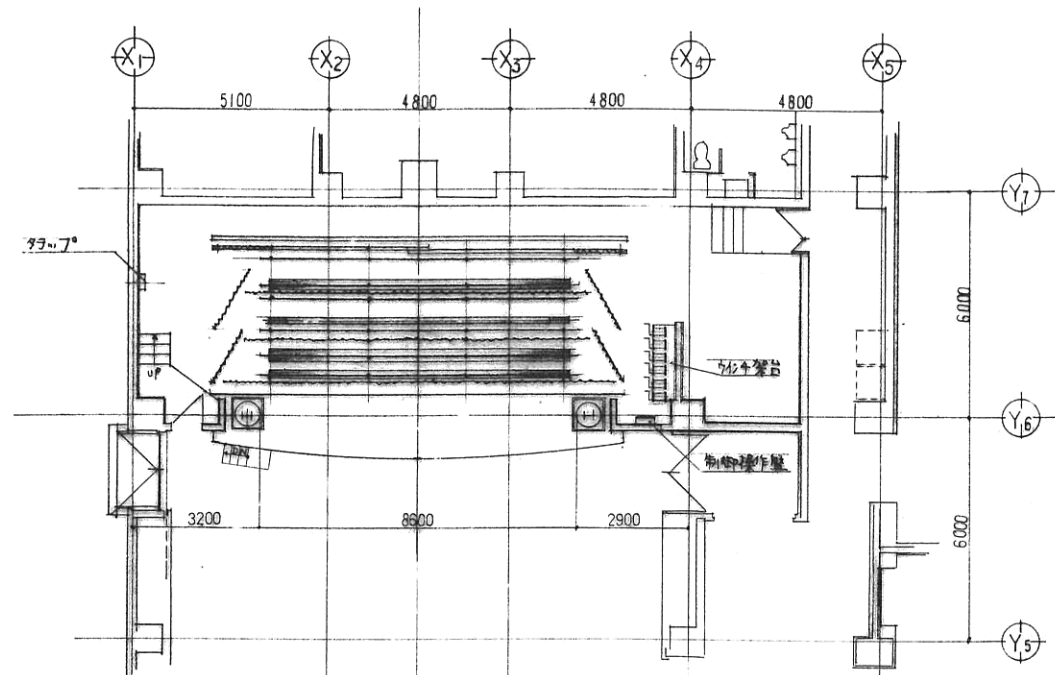
設計年月日
89.3

全葉
53

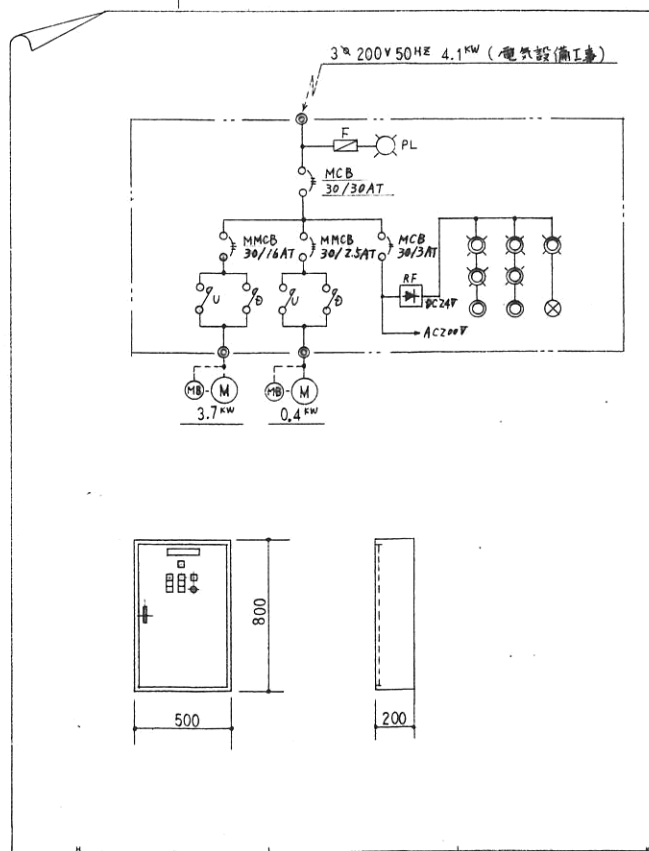
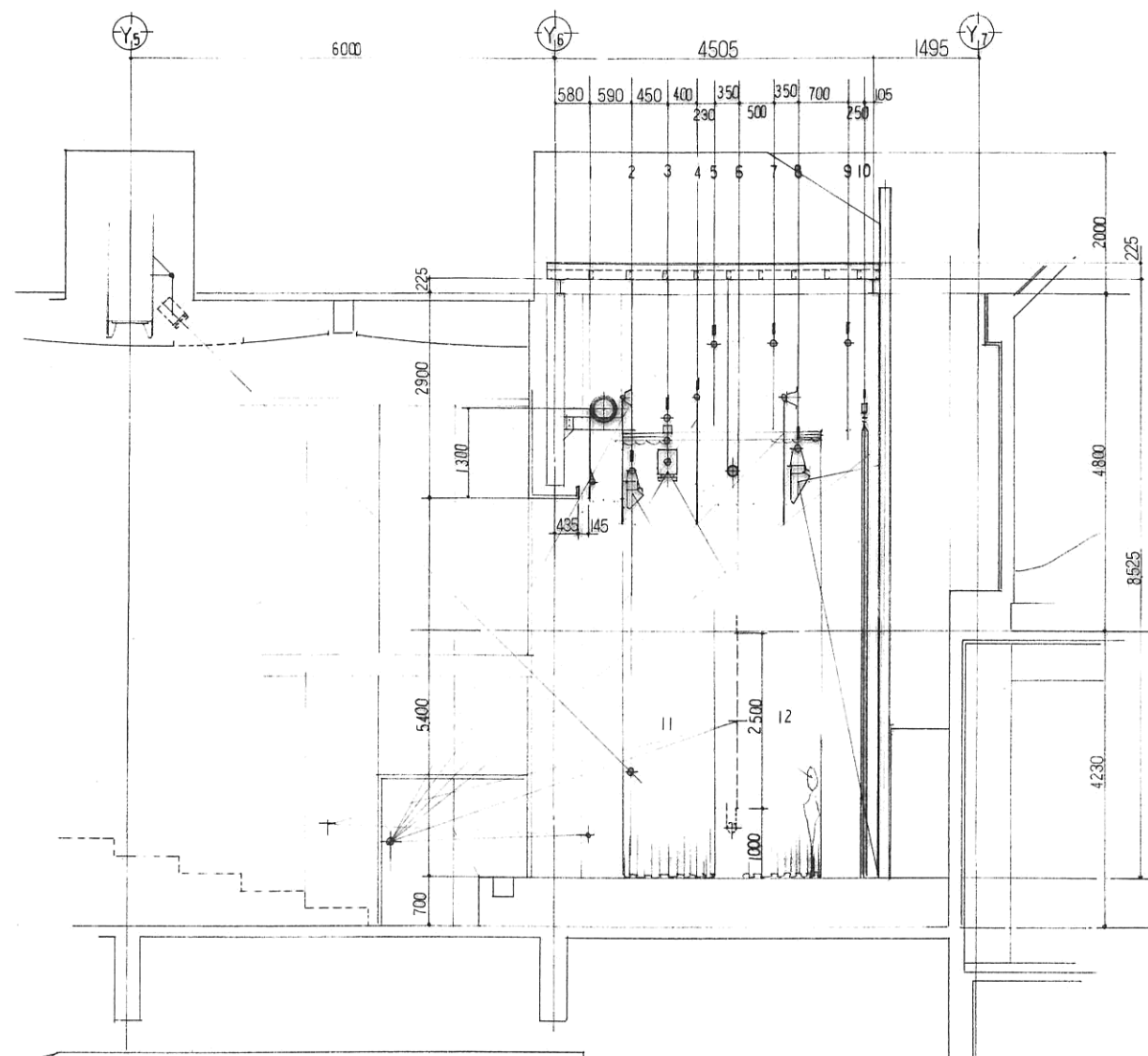
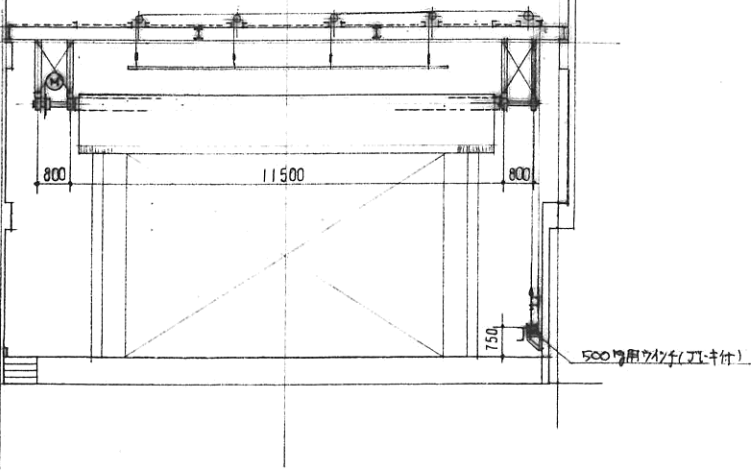
No.
41

工事名 下田町町民交流センター(仮称)

図面名称 舞台機械 群組図(2) Scale 1/50

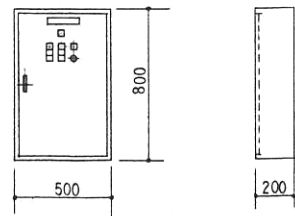


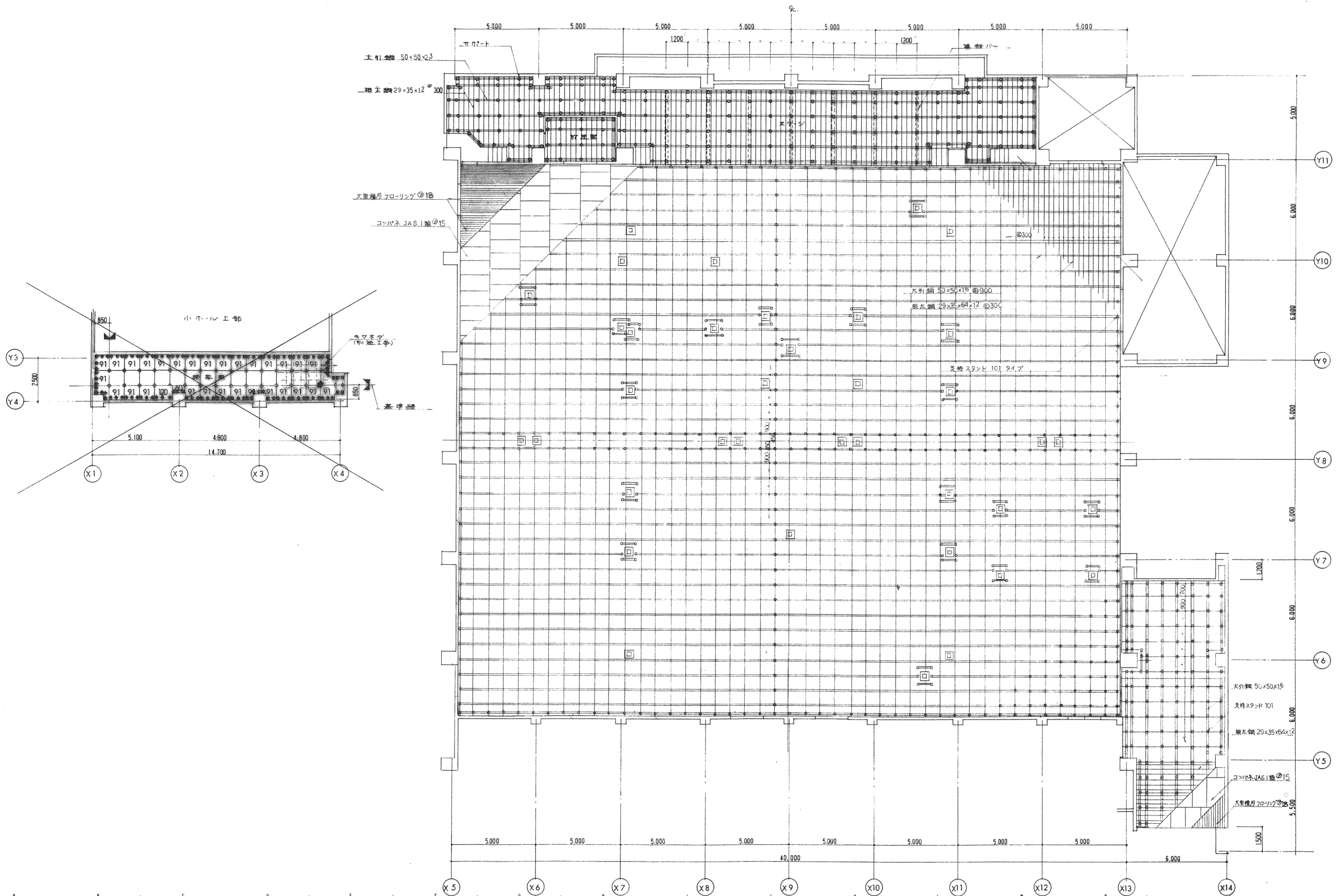
※アト-欄部材は構造図参照



略 仕 様

NO	名 称	型 式	寸 法	動 力	速 度	備 考	幕 地 (別 途)
1	巻取り機	電動巻取り	318.5 x 11200	3.7kW	20%W	150 7L4寸付	面障織 11.000 x 6.700
2	ポーターライト	手動ケイン式	427 x 8.900			一文字 NO1 付	裏入別荘 10.200 x 1.800 x 2階付
3	ガスパンダライト						
4	一文字幕 NO2	固定吊	34.0 x 9.000				裏入別荘 9.000 x 1.800 x 2階付
5	美術ボタン NO1	手動ケイン式	427 x 8.900				
6	巻取りスリール	電動巻取り式	14 x 6.690 x 2500	0.4kW	15%W	ホワイト 6.900W = 6000H	
7	美術ボタン NO2	手動ケイン式	427 x 8.900				
8	ポーターライト					一文字 NO3 付	裏入別荘 9.000 x 1.800 x 2階付
9	美術ボタン NO3						
10	バック幕	固定吊・手動加減	7mm 1100				裏入別荘 5.800 x 6.500 x 2階付
11	袖幕 NO1	固定吊	272 x 1.600				1.600 x 6.200 x 2階付
12	袖幕 NO2						1.600 x 6.200 x 2階付





備考

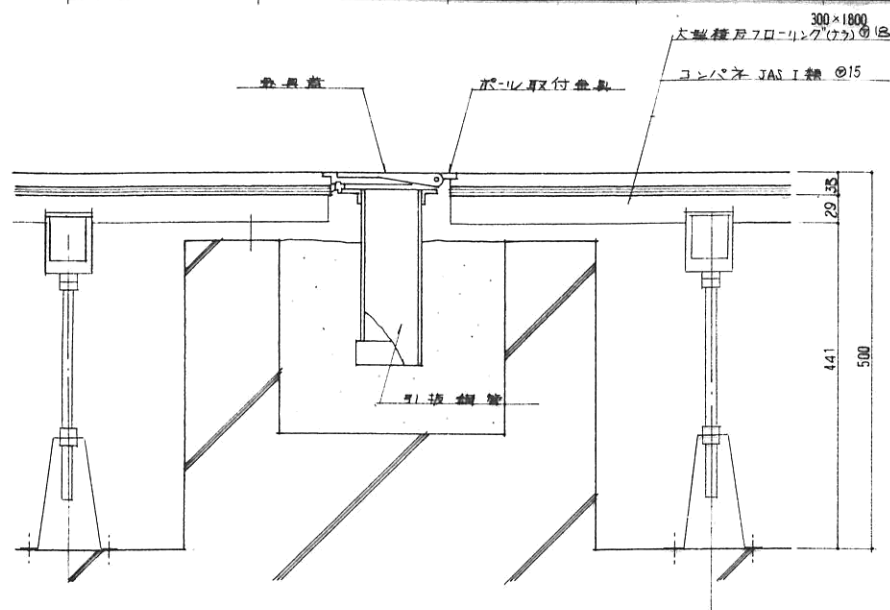
整理番号

設計年月日
89.3

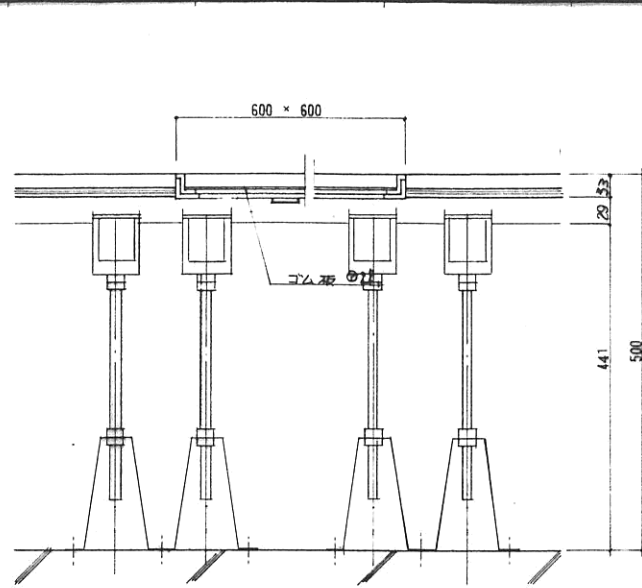
全業
53

No.
43

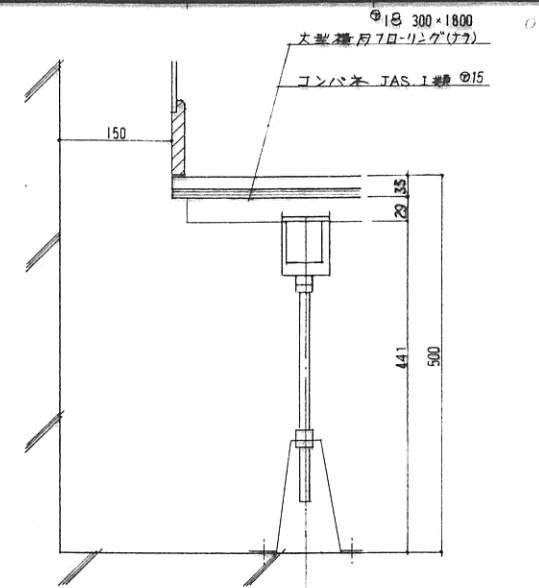
工事名 下田町町民交流センター(仮称) 工事
図面名称 鋼製床 詳細図(1) Scale 1/100



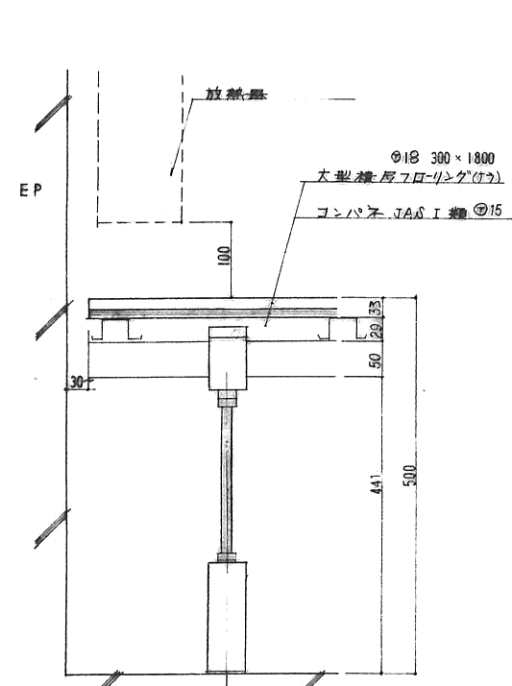
体音器具基礎断面図 S=1/5



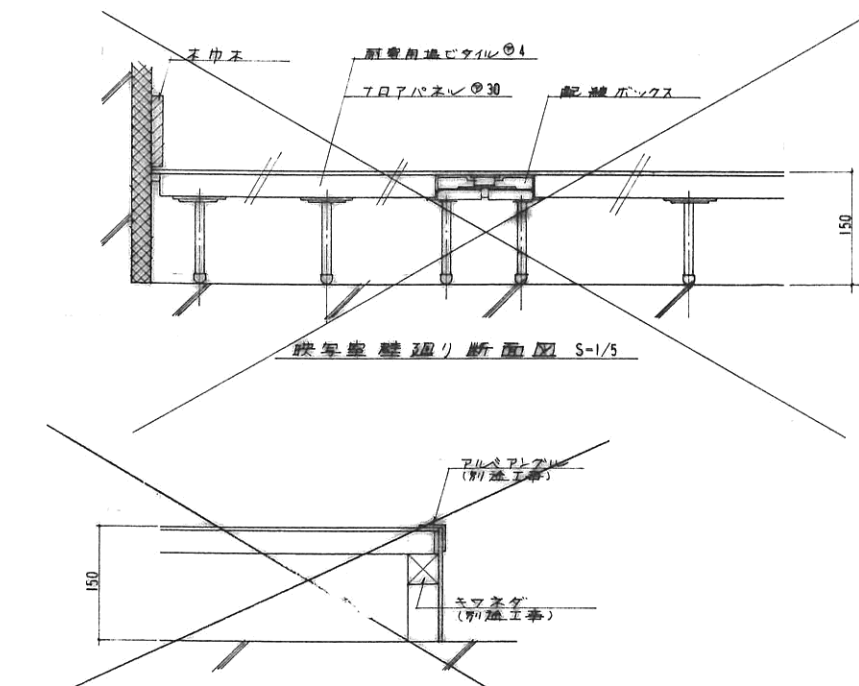
床工点接合口断面図 S=1/5



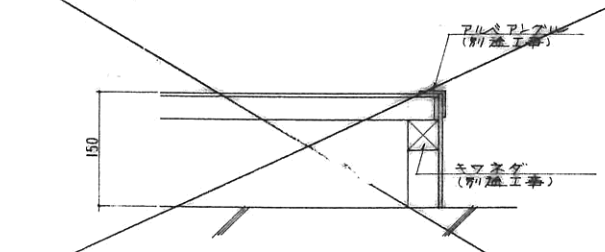
壁廻り断面図 S=1/5



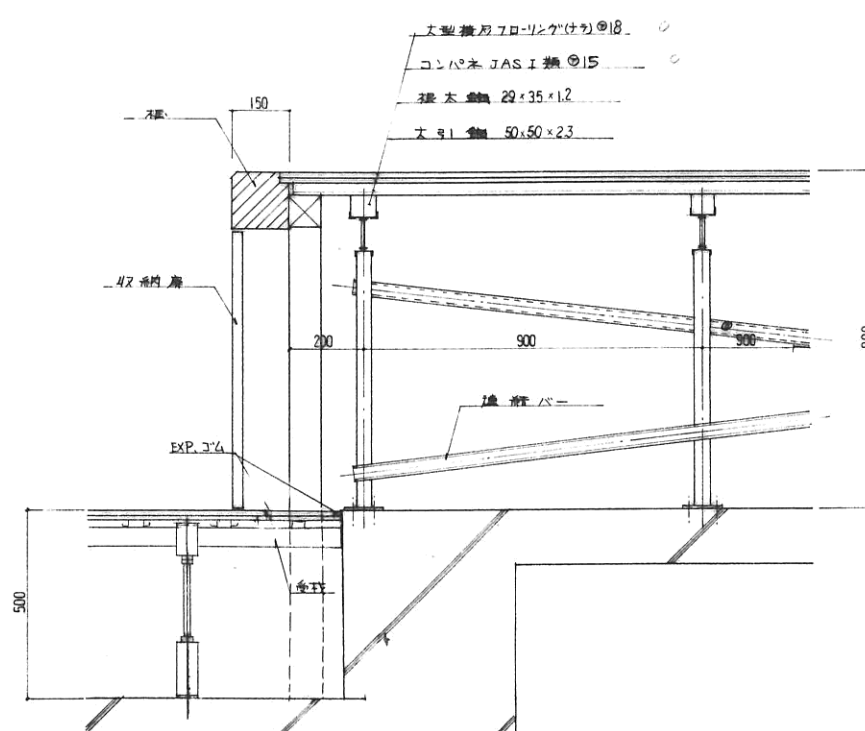
放熱層部分壁廻り S=1/5



体音器具壁廻り断面図 S=1/5



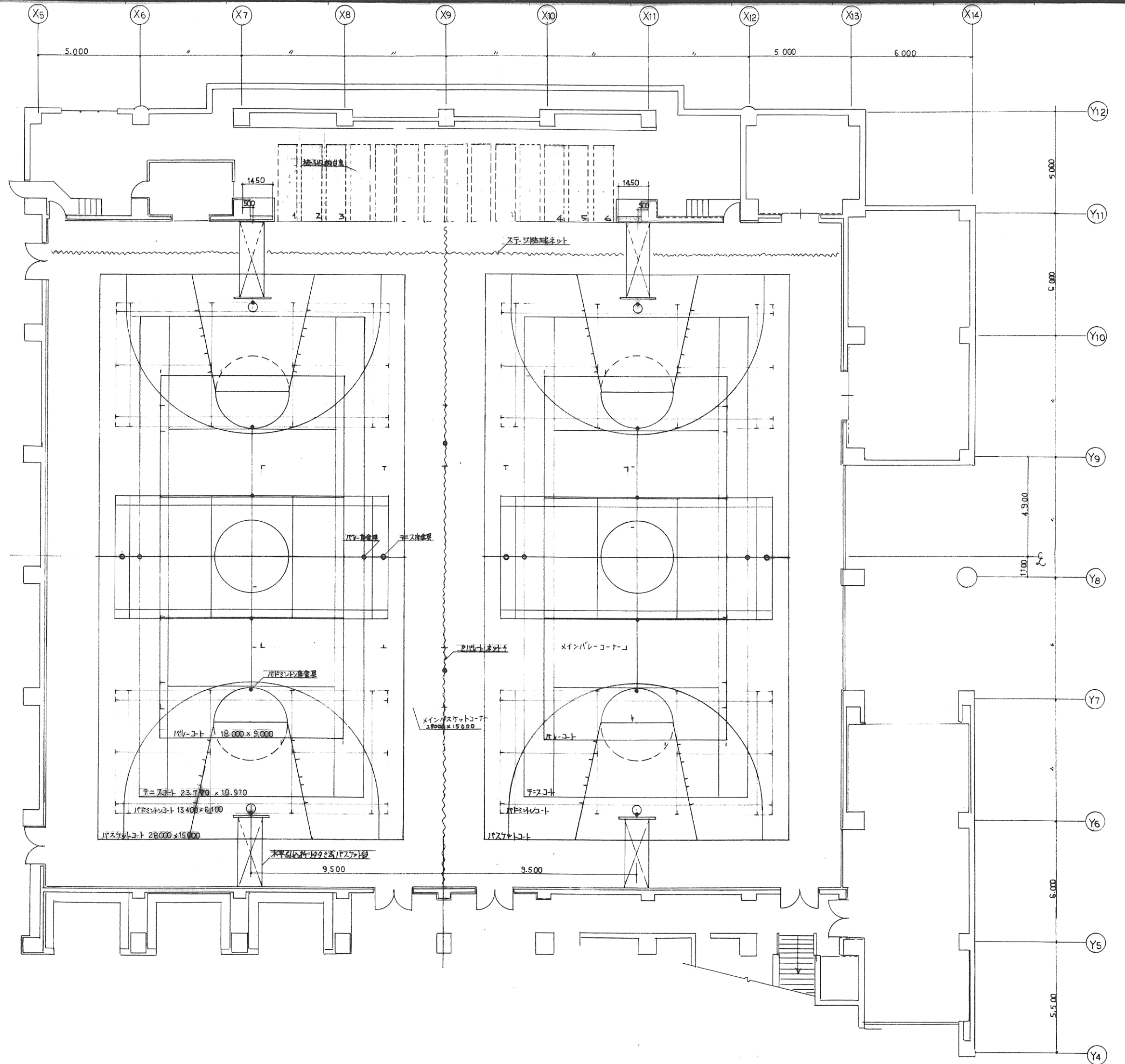
Iリ種部分断面図 S=1/5

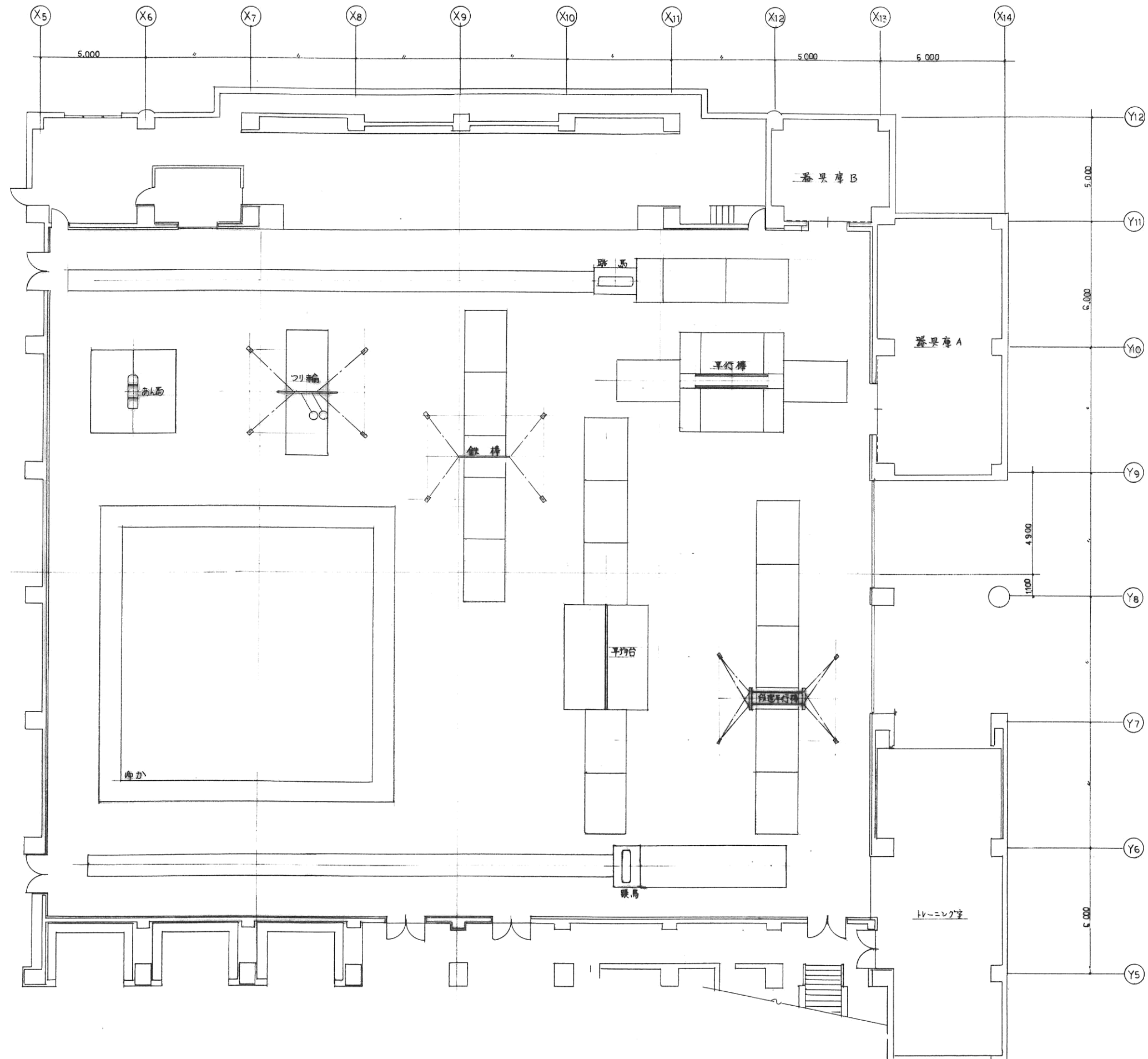


ステージ壁廻り断面図 S=1/10

備考	整理番号	設計年月日	全葉	No.	工事名	工事
		89-3	53	44	下田町町民交流センター(仮称)	
図面名称					鋼製床 詳細図(2)	Scale 1/5, 1/10, 1/30

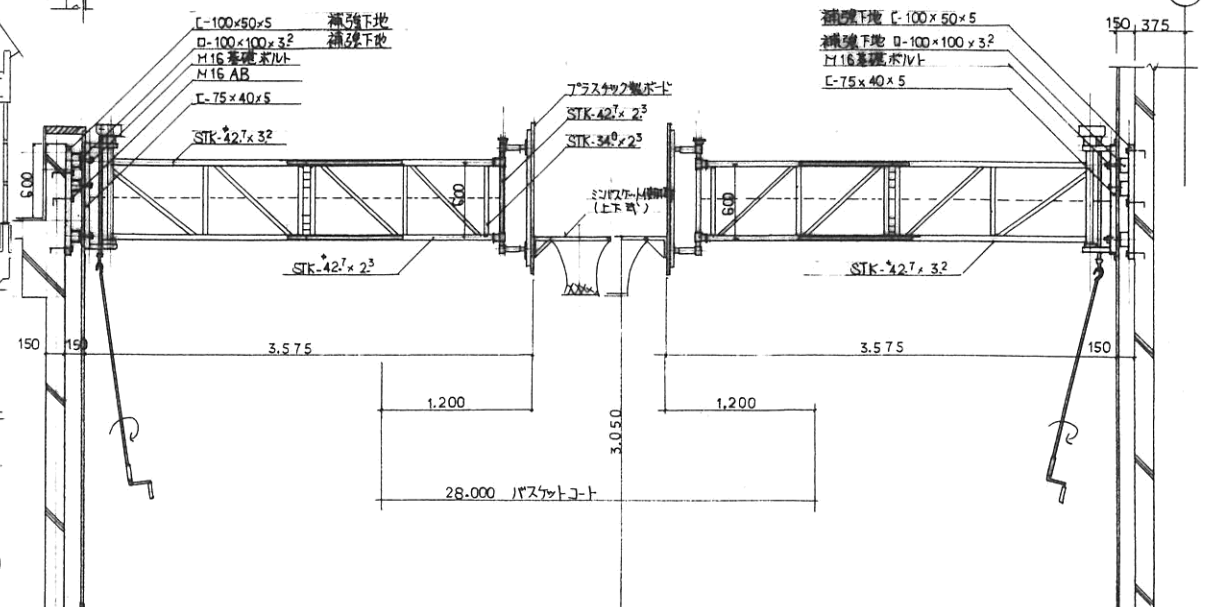
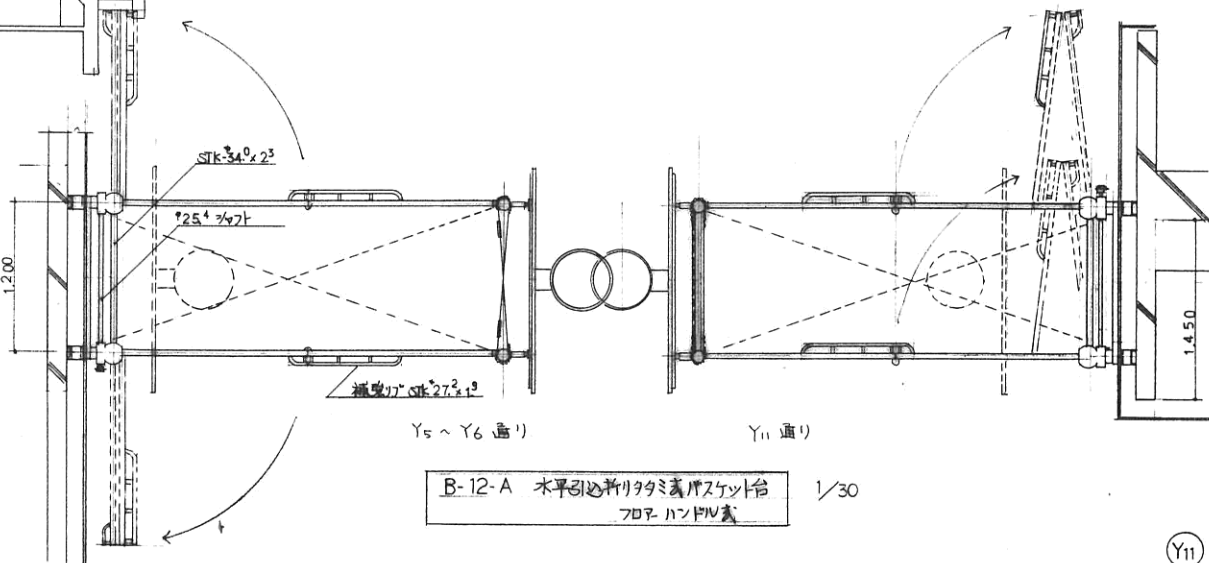
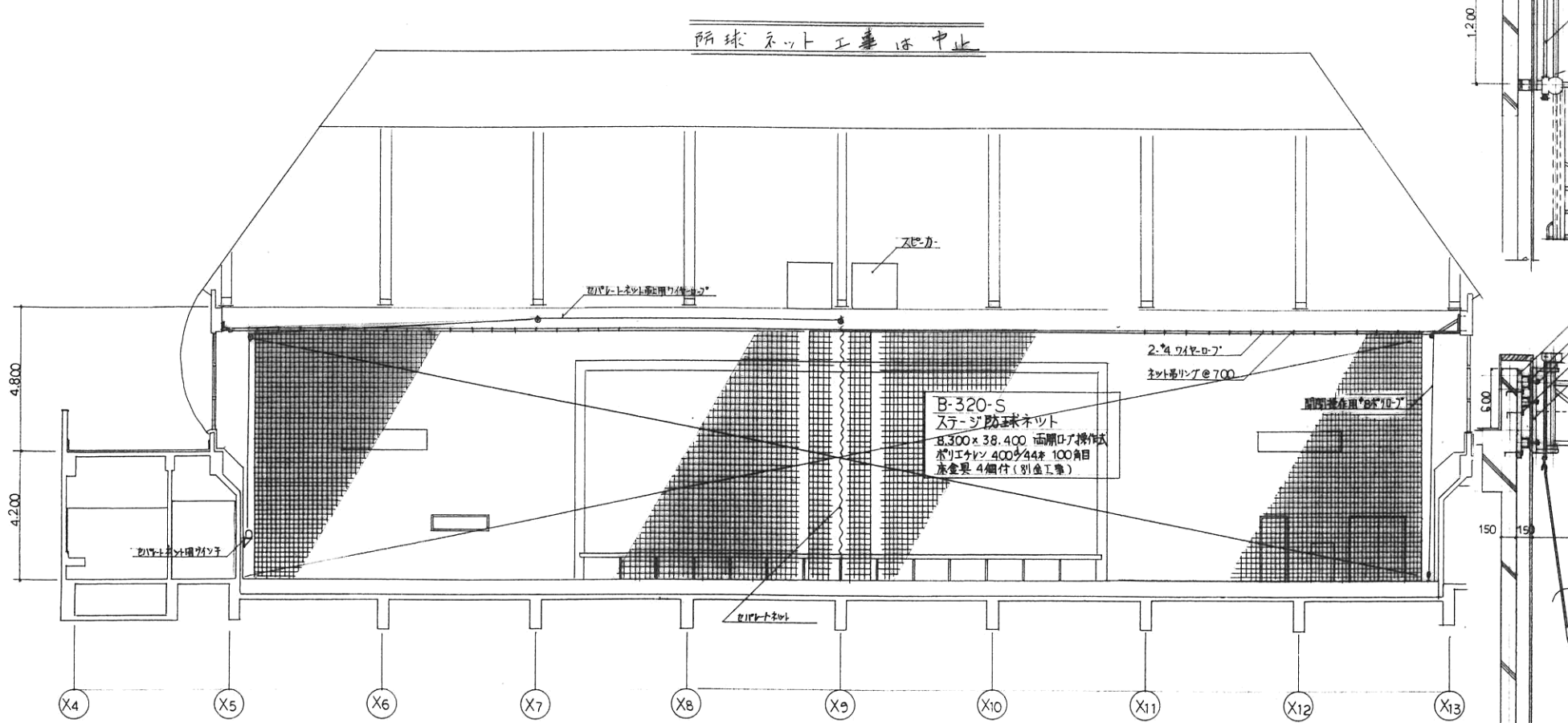
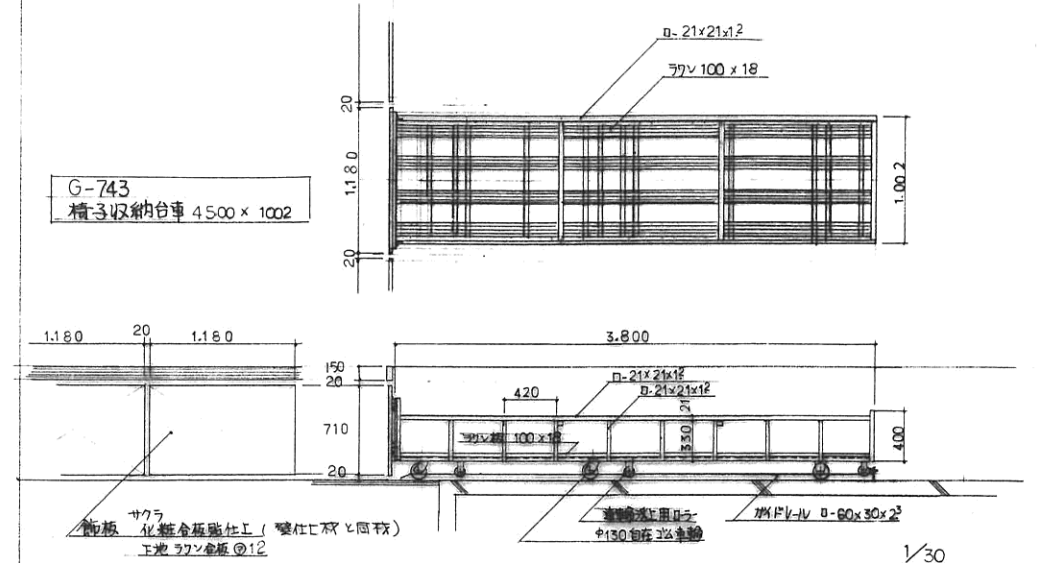
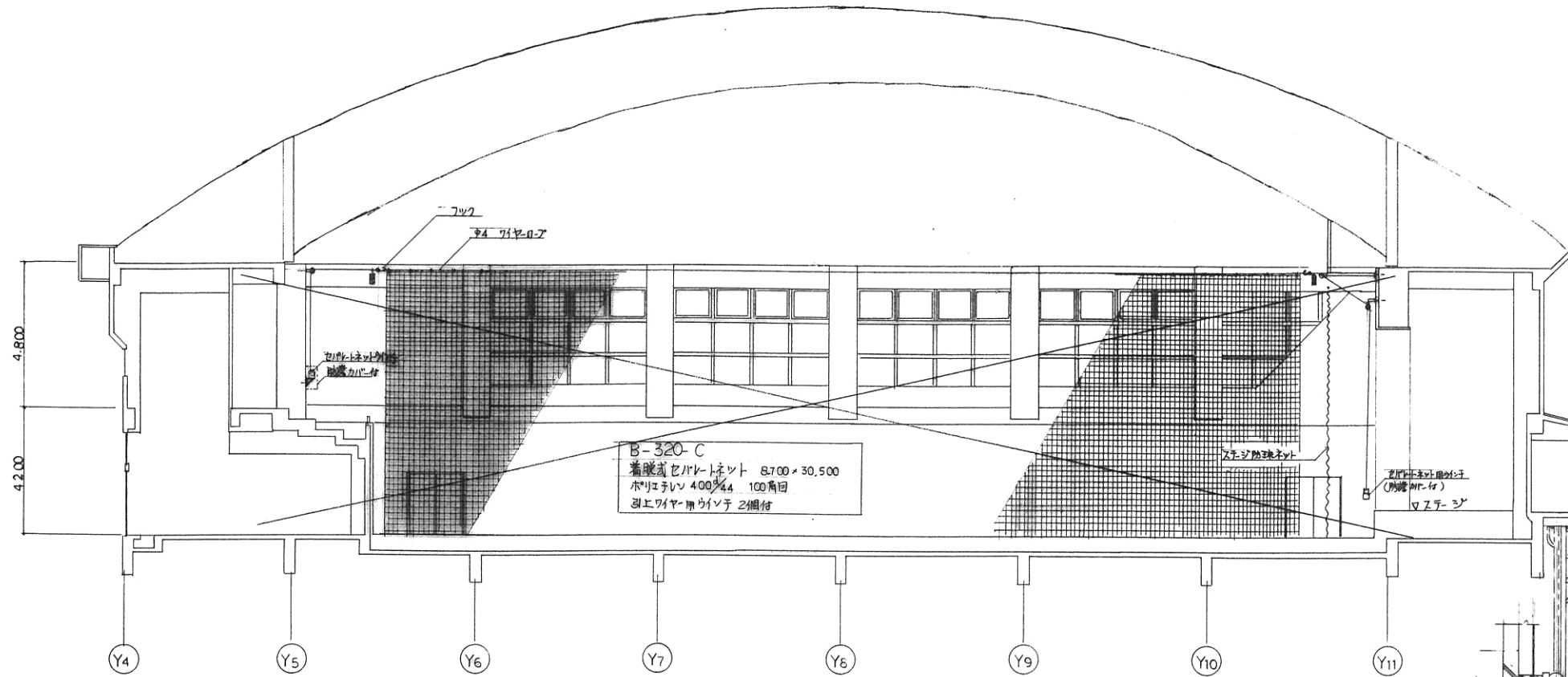
NO	名称	品番	数量	規格	仕様	O:工事 X:明細
1	バレー支柱	B-33-B	2対	φ76 ² 鋼管 高さ調整ハット付 1800×2430 本脚面用蓋付		X
2	バレー床金具	B-41-OF	3対	φ76 ² 支柱用 完全遮蓋型 スライドロック方式 亜鉛合金ダイヤル蓋		O
3	テニス支柱	B-38	2対	φ76 ² 鋼管 高さ調整ハット付		X
4	テニス床金具	B-41-OF	2対	φ76 ² 支柱用 完全遮蓋型 スライドロック方式 亜鉛合金ダイヤル蓋		O
5	バドミントン支柱	B-51-A	6対	φ40鋼管 床脚プラスチック 日本バドミントン協会承認品		X
6	バドミントン床金具	B-52-OF	6対	φ40支柱用 完全遮蓋型 スライドロック方式 亜鉛合金ダイヤル蓋		O
7	コートサイン付	バドコート	3面	サイン 2面 28000×15000 全ライン	サイン 1面 28000×15000 コーナー	O
8	バレー	バレー	3面	サイン 2面 18000×9000 6人制サイン	サイン 1面 18000×9000 コーナー	O
9	硬式テニス	硬式テニス	2面	23770×10970		O
10	バドミントン	バドミントン	2面	13400×6100 グラブル全ライン		O
11	バドミントン	バドミントン	4面	13400×6100 コーナー ポイント 20ヶ所		O
12	高台床金具	G-5-OF	1組	アンカー式完全遮蓋型 スライドロック方式 亜鉛合金ダイヤル蓋		O
13	フリクション床金具		1組	"		O
14	段差抑止床金具		1組	"		O
15	6人制床金具	G-5B-OF	1個	"		O
16	6人制床金具		2個	"		O
17	バドコート	B-12-A	2対	木製地盤新リクタニ式 フローハンドル式 プラスチック製床脚付		O
18	防球ネット	B-320-S	1張	8300×38400 両面操作式 ポリエチレン400 ² 100 ² 100 ² 100 ²		X
19		B-320-C	1張	8700×30300 両面操作式 ポリエチレン400 ² 100 ² 100 ² 100 ² 100 ²		X
20	バドコート	G-743	6台	3800×1002 4対時車輪巻上V-L式 正面/裏板付		O





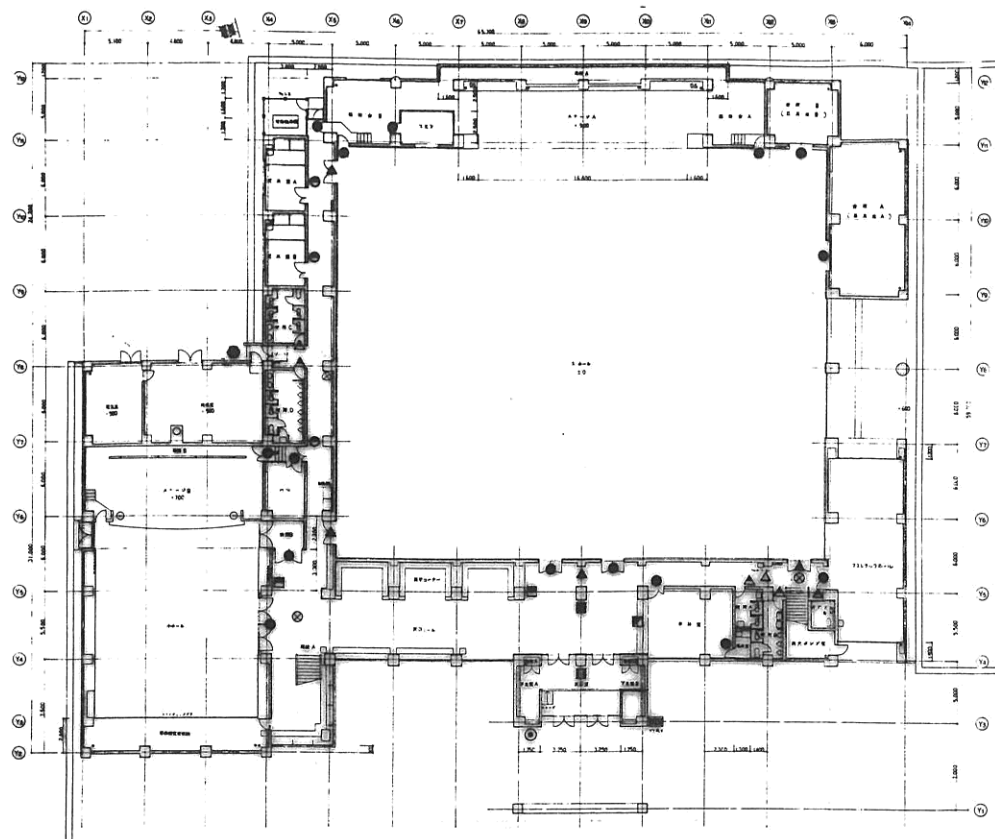
※ 体操器具は別途工事 床金具基礎は本工事。

備考	整理番号	設計年月日	全葉	No.	工事名	工事
		89-3	53	46	下田町町民交流センター(仮称)	
					図面名称	Scale
					体育器具 詳細図(2)	1/100

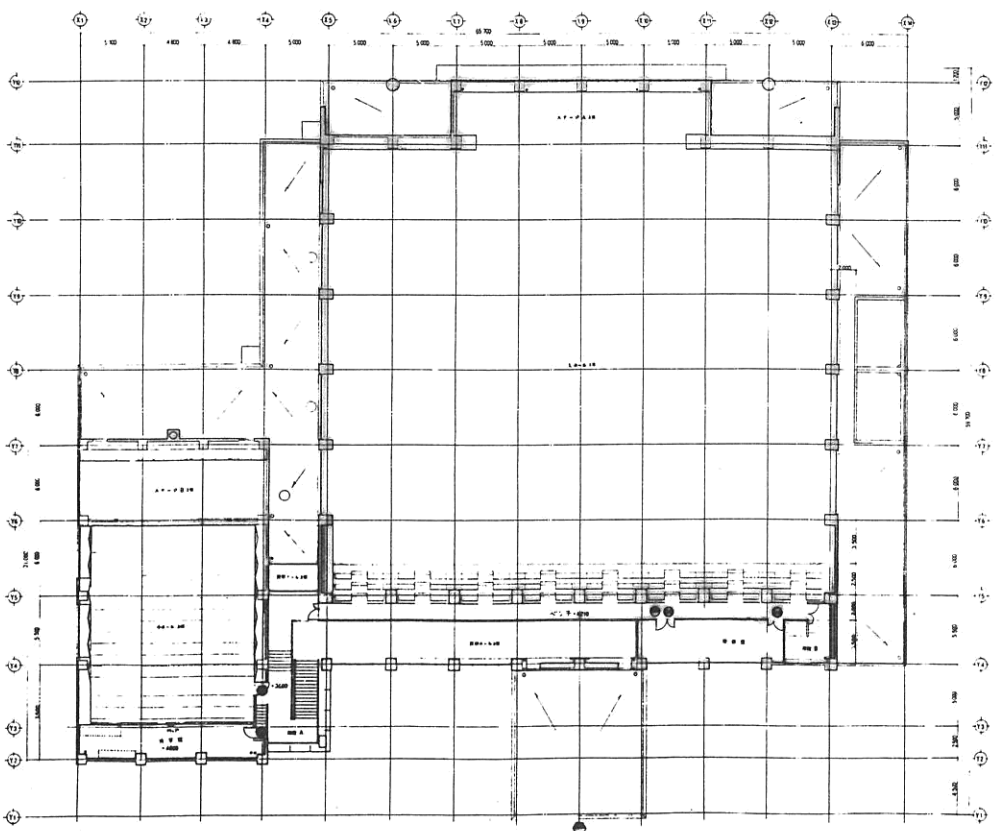


※ 防球ネットは別途工事。

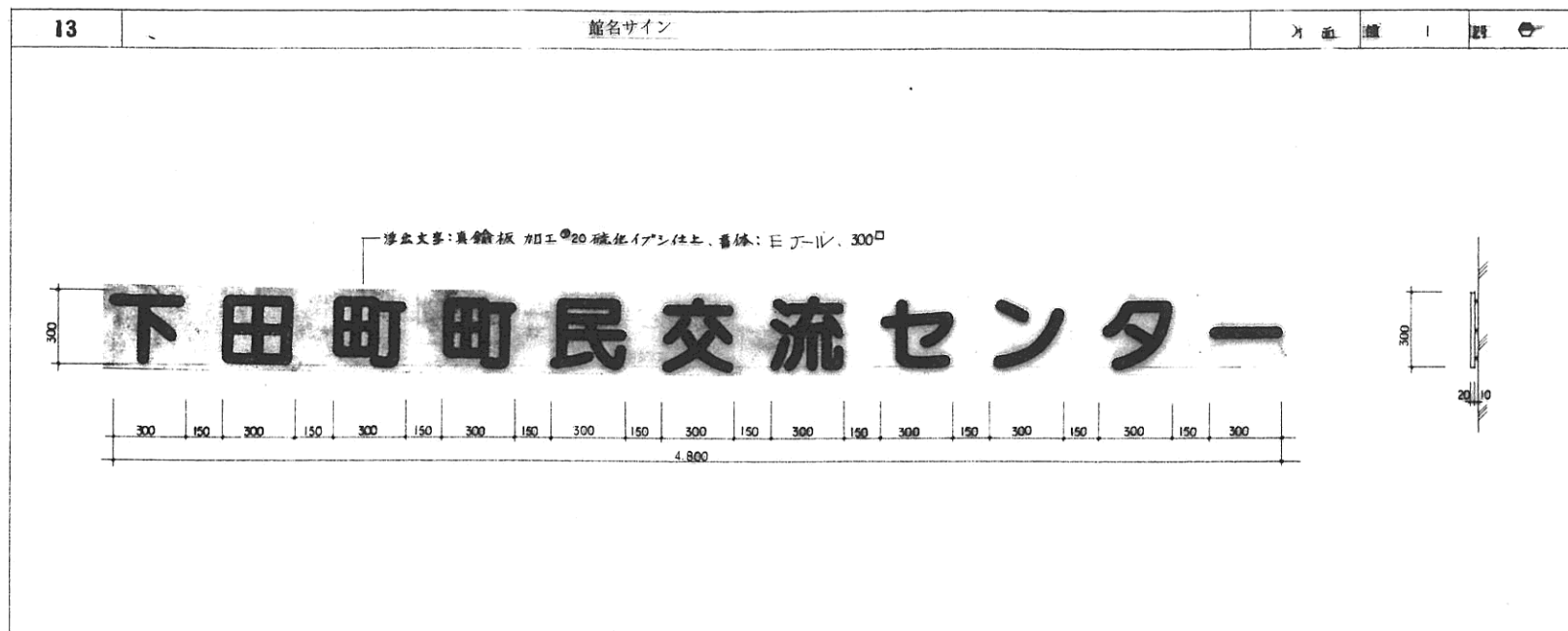
備考	整理番号	設計年月日 89.3	全葉 53	No. 48	工事名 下田町民交流センター(仮称)	工事 図面名称 体育館 詳細図(4)	Scale 1/100	1/30
----	------	---------------	----------	-----------	-----------------------	--------------------------	----------------	------



1階 サインキープラン 1/300

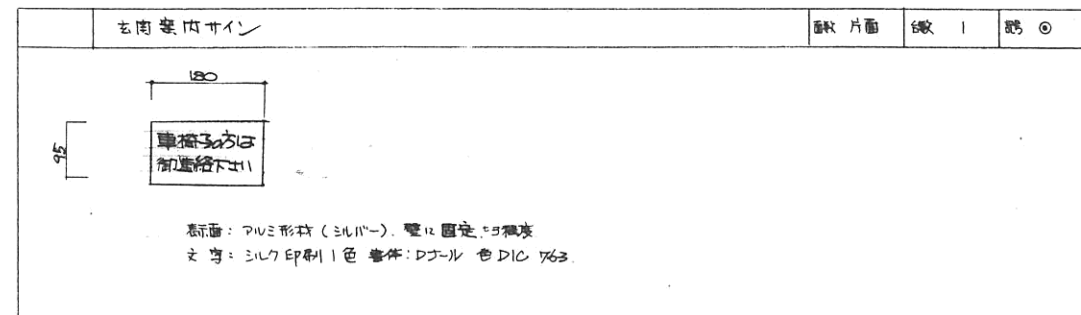


2階 サインキープラン 1/300



サインリスト

記号	名称	記号	名称
1	受付カウンターサイン	8	産物案内サイン(B)
2	産物サイン(奥並)	9	総合案内サイン
3	産物サイン(奥付)	10	読書サイン(用下付)
4	研修室サイン	11	産物案内入口サイン
5	ピクトサイン(用下付)	12	産物案内サイン
6	ピクトサイン(奥付)	13	産物サイン
7	産物案内サイン(A)	14	玄関案内サイン



備考

整理番号

設計年月日 全業
89.3 53

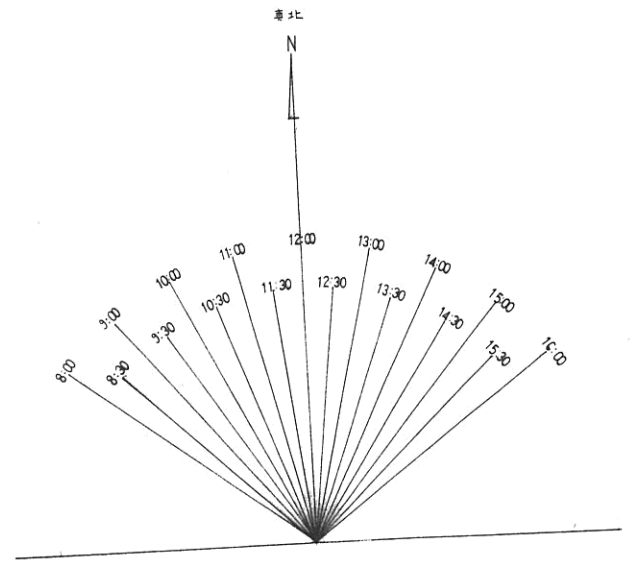
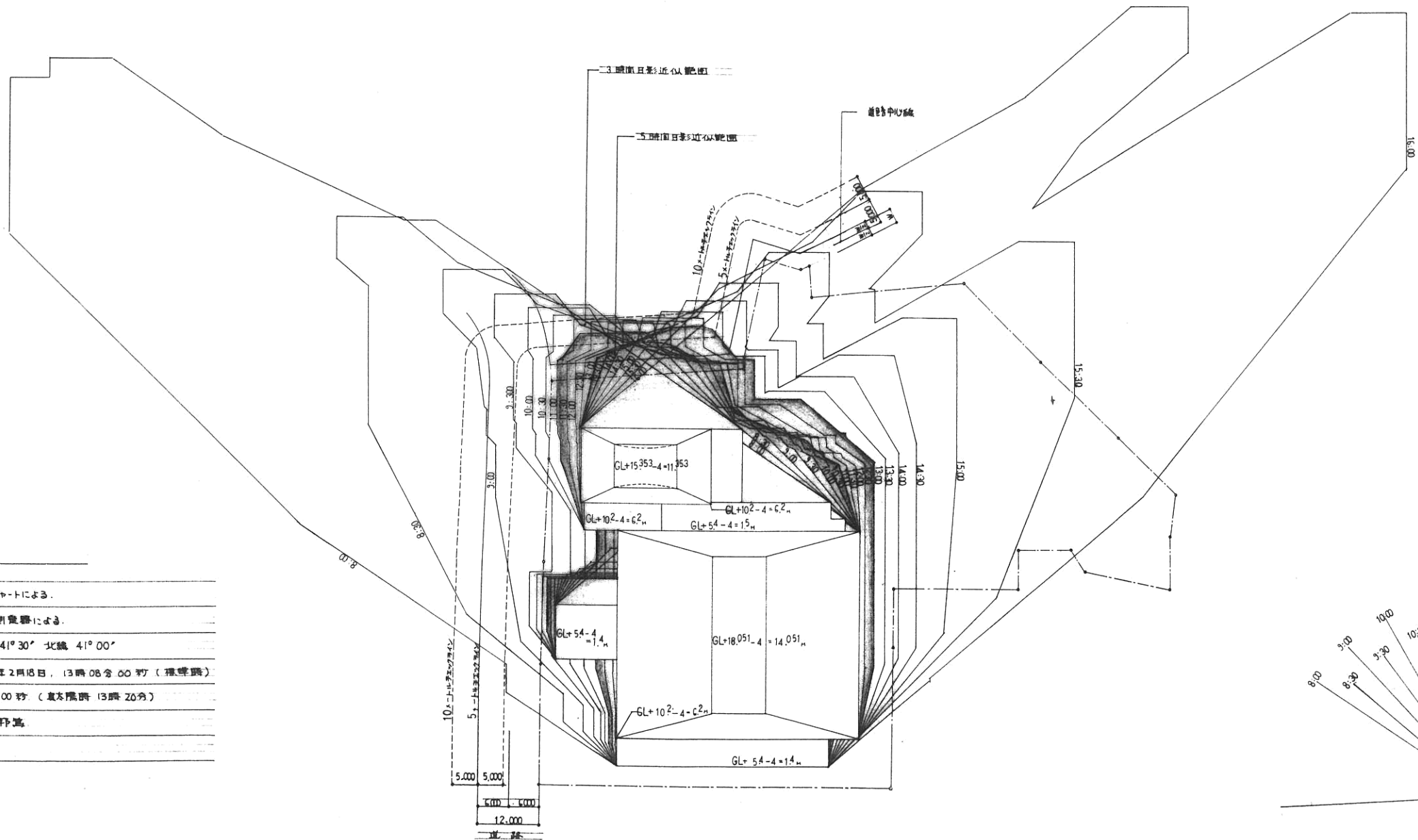
No. 49

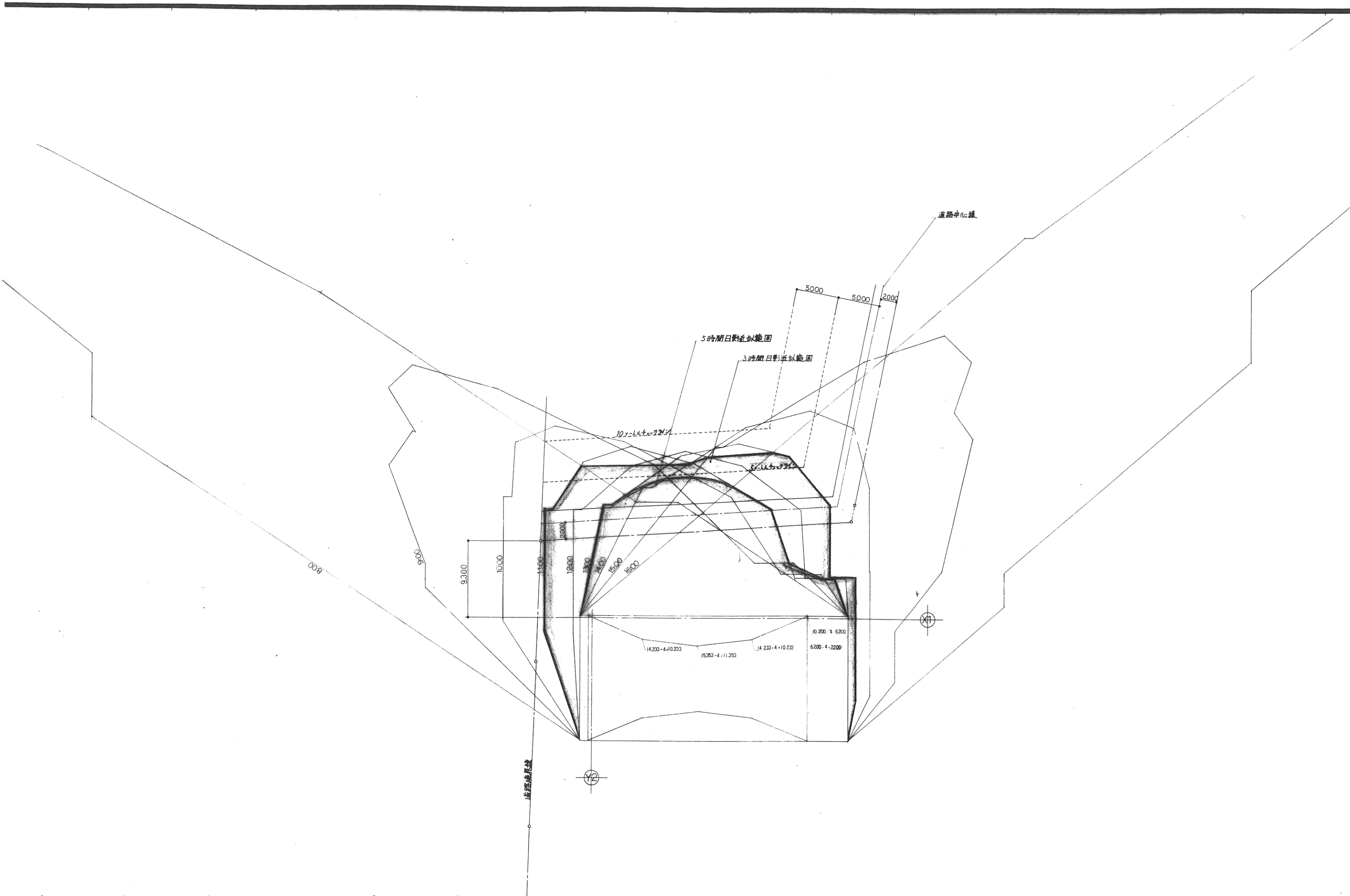
工事名 下田町町民交流センター(仮称)
図面名称 サインキープラン

工事

Scale 1/1

日影図作成	日影ソフトによる。
方位測定	真北測定器による。
位置	東経 141° 30' 北緯 41° 00'
測定日時	1989年2月16日、13時08分00秒(標準時)
推算時差	12分00秒(真太陽時 13時20分)
測定者	根元 祥寛



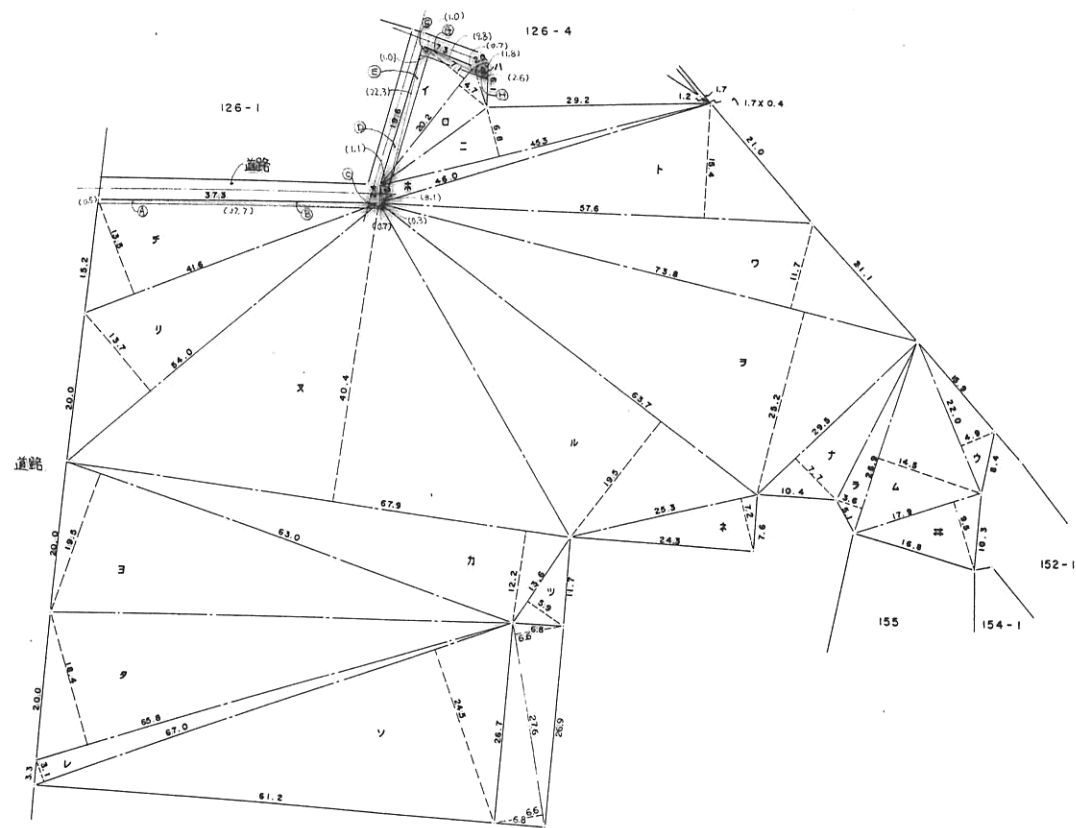


備考	整理番号	設計年月日	全葉	No.	工事名
		89.3	53	52'	下田町町民交流センター(仮称)
					図面名称
					日影圖
					Scale 1/200



求積図

S=1:500



面積計算書

符号	底辺	高さ	積面積
イ	20.2	7.1	143.42
ロ	20.2	4.7	94.94
ハ	6.1	1.9	11.59
ニ	45.3	6.8	308.04
ホ	46.0	2.1	96.60
ヘ	1.7	0.4	0.68
ト	57.6	15.4	887.04
チ	41.6	13.5	561.60
リ	54.0	13.7	739.80
ス	67.9	40.4	2743.16
セ	63.7	19.2	1242.12
ソ	73.8	29.2	1899.76
タ	73.8	11.7	863.46
テ	67.9	12.2	828.38
ト	63.0	19.5	1228.50
ナ	65.8	18.4	1210.72
レ	67.0	3.1	207.70
ロ	67.0	24.5	1641.50
ワ	13.6	5.9	80.24
カ	26.3	7.2	189.16
キ	29.5	7.7	227.15
ク	26.9	3.6	96.84
ケ	26.9	14.5	390.05
コ	22.0	4.9	107.80
カ	17.9	9.5	170.05
合計			19923.33
イ～ホ	面積		7561.669
イ	27.6	6.6	182.16
ロ	27.6	6.6	182.16
合計			364.32
イ～ホ	面積		182.16
敷地面積合計			8143.825
(道路除く)			

符号	底辺	高さ	積面積
A	37.7	0.5	18.85
B	37.7	0.7	26.39
C	3.1	0.3	0.93
D	22.3	1.1	24.53
E	22.3	1.0	22.30
F	9.8	1.0	9.80
G	9.8	0.7	6.86
H	2.6	1.8	4.68
合計			114.34
A～H	面積		57.17

② ①の道路部分の面積 57.17

従算基準法上の敷地面積 ①-②
8,086.655